

313
16

開館十年
紀念陳列

和漢名畫集

謝德用
全

204416-000-6

313-16

京都帝室博物館開館十周年

紀念陳列和漢名畫集

京都帝室博物館

M40

EDS-0049



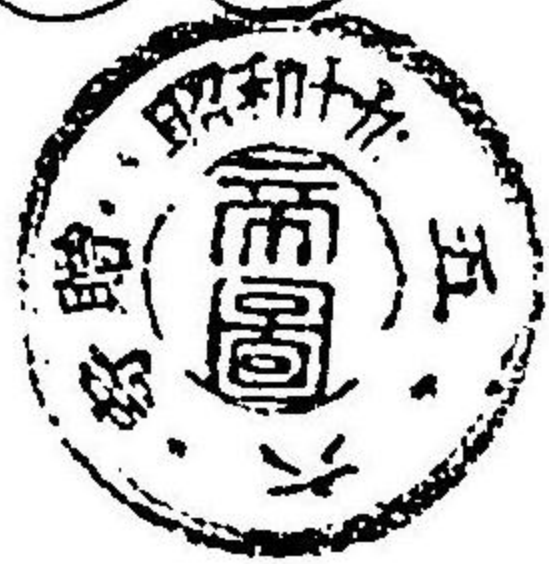
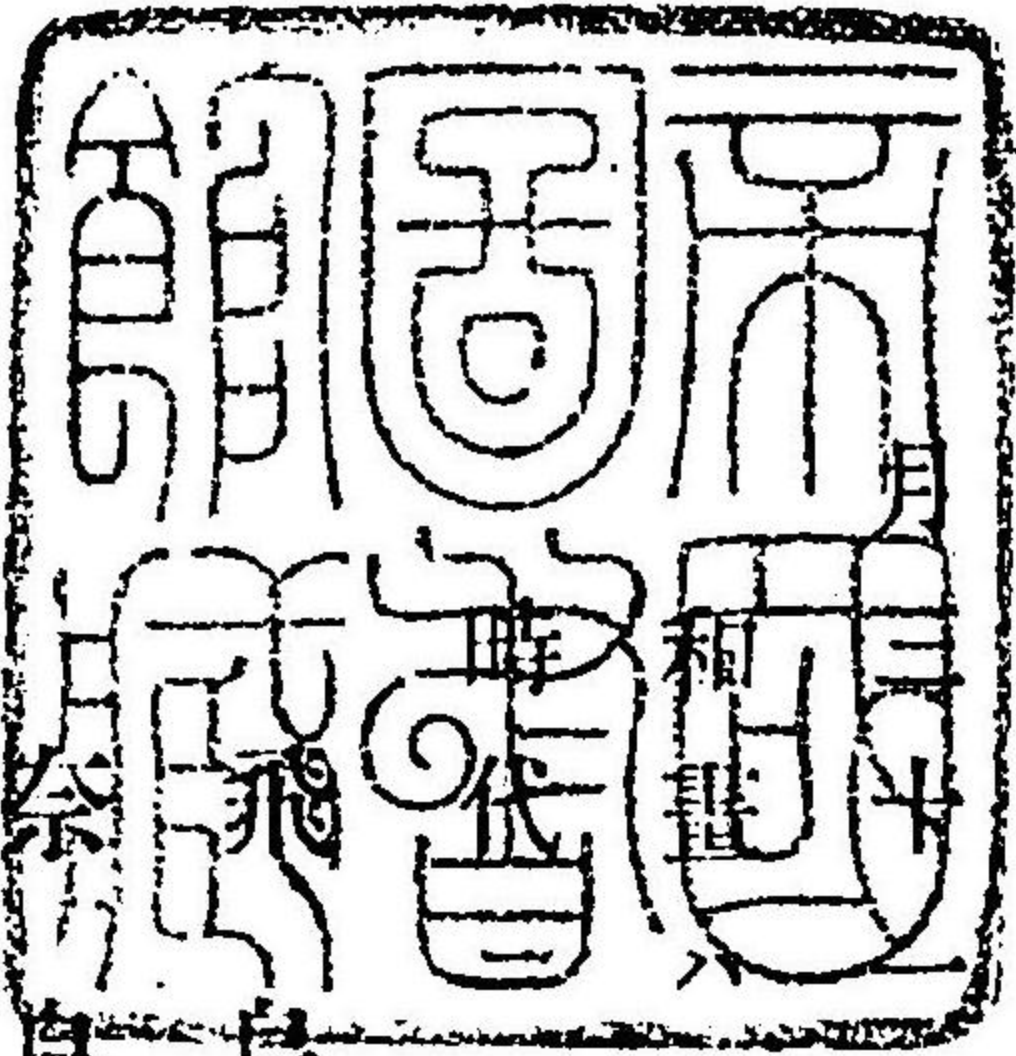
吉田待郎氏 寄贈本

緒言

今茲明治四十年五月一日ハ本館開館以來十周年ニ相當スルヲ以テ紀念ノ爲メ和漢ノ名畫ヲ蒐集シ各時代ニ分テ四月一日ヨリ五

日マテ館内六室ニ展列セリ

飛鳥、奈良、平安(初中末三期ニ分ツ)鎌倉、室町、桃山、江戸ノ七分ツ左ノ如シ



- 平安時代 自桓武天皇御代至安徳天皇御代 四百〇二年間
- 初期王朝時代 自桓武天皇延暦元年 至光孝天皇仁和三三年 百〇六年間 (自千二百二十六年前 至千〇二十一年前)
- 中期藤原時代 自宇多天皇仁和三四年 至近衛天皇久壽二年 二百六十八年間 (自千〇二十年前 至七百五十三年前)
- 末期平家時代 自後白河天皇保元元年 至安徳天皇壽永二年 二十八年間 (自七百五十二年前 至七百二十五年前)

鎌倉時代	自後鳥羽天皇元曆元年 至後醍醐天皇延元三年	百五十五年間	(自七百二十四年前 至五百七十年前)
室町時代	自後村上天皇興國元年 至正親町天皇元龜三年	二百三十四年間	(自五百六十九年前 至三百三十六年前)
桃山時代	自正親町天皇天正元年 至後陽成天皇慶長十六年	三十九年間	(自三百三十五年前 至二百九十七年前)
江戸時代	自後水尾天皇慶長十七年 至孝明天皇慶應三年	二百五十六年間	(自二百九十六年前 至四十一年前)

漢畫ハ唐、宋、元、明ノ四代ニ分ツ左ノ如シ

唐時代	自我推古天皇即位二十六年 至村上天皇天德三年	三百四十二年間	(自千二百九十年前 至九百四十九年前)
宋時代	自我村上天皇天德四年 至土御門天皇元久二年	二百四十六年間	(自九百四十八年前 至七百〇三年前)
元時代	自我土御門天皇建永元年 至後村上天皇正平二十二年	百六十二年間	(自七百〇二年前 至五百四十一年前)
明時代	自我後村上天皇正平廿三年 至後水尾天皇元和二年	二百四十九年間	(自五百四十年前 至二百九十二年前)

凡例

- 一本陳列ハ御貸下御物、本館藏品、國寶出陳、社寺寄託品及諸家出品等ヲ以テス
- 一本目錄ハ編纂ヲ急キタルヲ以テ畫題解説ハ之ヲ省畧セリ
- 一畫人ノ傳記ハ其大概ヲ記セリ
- 一物品所有者ノ宿所ハ市ハ市名其他ハ國郡名ニ止ム
- 一寫真版ヲ付セシモノハ畫題上ニ●點ヲ付シ閱覽ノ便ニ供ス

京都帝室博物館

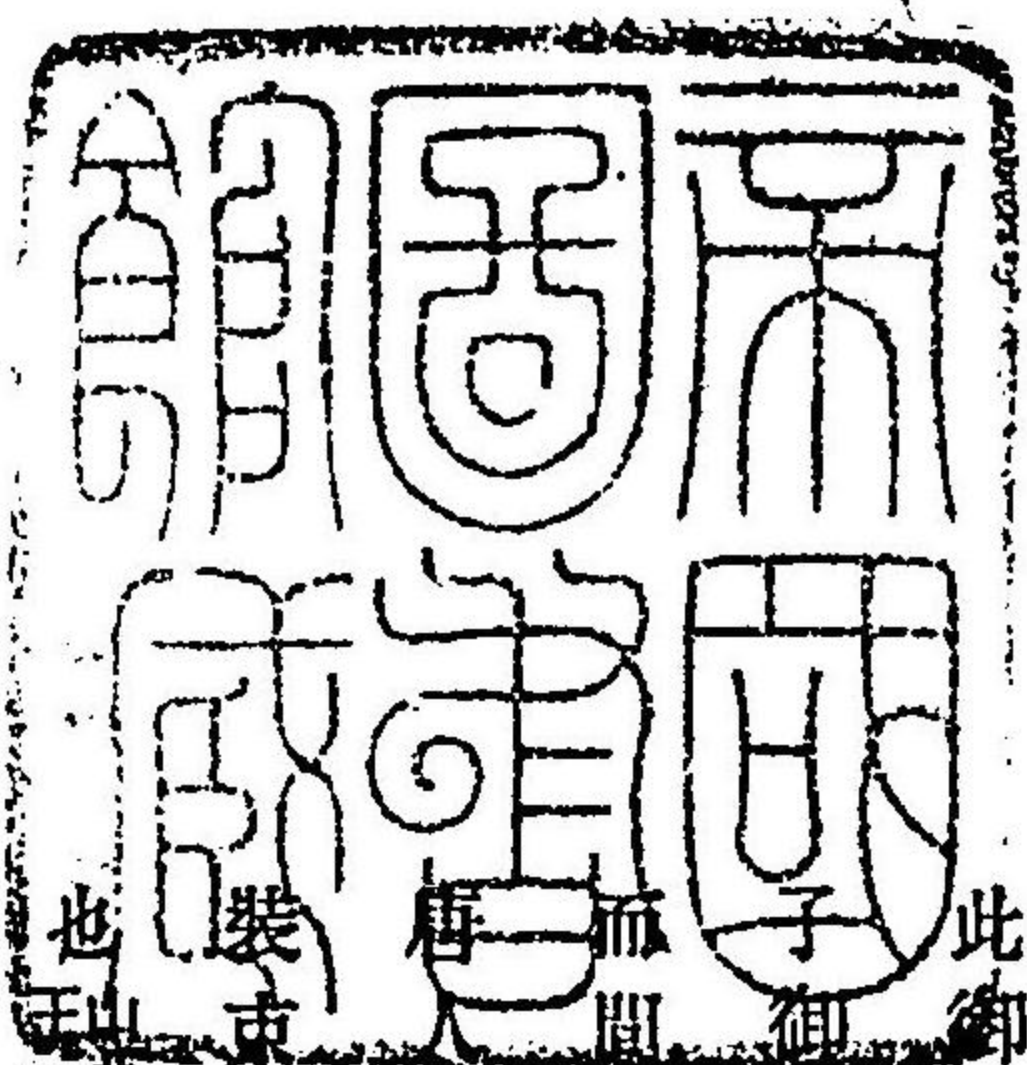
外題ハ尊圓法親王御書大手本ノ文字ヲ集メ標紙ハ御物聖德太子御畫像裝演裂ノ紋様ヲ摸ス

京都帝室博物館開館十周年紀念陳列和漢名畫集總目

○飛鳥時代

(一)●聖德太子御像 紙本着色

一幅 御物



此御像ハ元大和法隆寺ノモノタリ今聖德太子傳私記舍利殿寶物ノ條ヲ按スルニ太子御影但於此有多義當時相傳者唐本御影也唐人爲申結緣詣御前其人前爲被應現給而圖書二鋪一本留日本一本本國持歸故云唐本御影或唐人書故云唐本聖人處政山云非百濟阿佐之前現給形云云或攝政關白殿兼經嘉禎四年戊戌八月十四日近衛殿下宣更非他國之像日本人裝束其昔皆如此也故日本之樣云云御冠太刀帶給持笏立像也御長二人童子二人王子也也王冠聖王此眞實御影也トアリ此像卽子是レナリ

(二) 法隆寺金堂壁畫之内觀音菩薩像模本 紙本着色

一幅 東京帝室博物館出品

此圖法隆寺金堂壁畫ノ一部分ニシテ原畫ハ寺傳鳥佛師又ハ曇徴ノ筆ト稱スレ共ニ信スルニ足ラス其畫風前ノ聖德太子御影ニ酷似スルヲ以テ之レヲ飛鳥時代ニ屬セリ而シテ此模本ハ東京帝室博物館ノ命ヲ受ケ畫工櫻井香雲ノ摸寫セシ所ノモノナリ

○奈良時代

(三)●過去現在因果經 紙本著色

軸付紙尾(二月七日寫書生從八位)ノ文字アリ

一 卷 山城宇治郡 報恩院出陳

(四)●過去現在因果經 紙本著色

一 卷 山城愛宕郡 上品蓮臺寺出陳

跋文ニ曰 今歲予有故登醍醐寺謁報恩院前大僧正寬濟寬濟示一卷之經語曰此過去現在因果經書與畫併我弘法大師真蹟也全部四卷今散在干處處謂仁和寺當院報恩院南山之南院也恨未知一卷之所在予曰密溫納而在愚寺書庫定知與此全具於是大僧正歡并適悅曰願我一覽因茲他日携而備高覽比較彼本恰如合符節歎此本又有第二卷之上半不知下半之所在雖然叔世希有之重珍當寺無比之寶玉也後弟必守之如眼精而更莫漏散他寺矣承應三甲午禩五月二十一日 城北上品蓮臺寺住持尊宜誌

此經兩卷共ニ黃紙ナリ通卷上部ニ經文ノ意ヲ描出シ下部ニ經文ヲ書ス古來傳テ僧空海ノ筆ト稱スレモ近年ニ至リ報恩院所藏ノ卷尾軸付ニ文書アルヲ發見シ又古記錄ニ徵スルモ天平年間書寫スル所ノモノトセリ

(五)●吉祥天像 麻布地着色

一 幀 大和生駒郡 藥師寺出陳

(六)●彌勒菩薩像 絹本著色 寺傳石川年足筆

一 幅 山城葛野郡 高山寺出陳

筆者詳ナラスト雖モ奈良朝時代ノ遺品トシテ最モ珍重スヘシ裏ニ寶徳二年庚午十二月二十九日修覆之 奉行少學頭澄英四十三 常光院代物五百文爲之ノ墨書アリ

附屬兜率天經一卷 卷末ニ曰 維天平十年歲次戊寅六月戊戌朔二十九日丙寅出雲國守從五位下勳十二等石川朝臣稽首和南

石川年足ハ大紫蘇我連子ノ曾孫數官ヲ歷テ寶字元年神祇伯兵部卿ニ遷ル後中納言ニ任シ三位ニ進ム文部卿ヲ兼子勳十二等ヲ賜フ御史大夫ト爲リ天平寶字六年薨ス

○平安時代

初期王朝時代

(七)●龍猛龍智二菩薩像 (七祖像之内)絹本著色 寺傳僧空海筆 二 幅 京都市 教王護國寺出陳

(八)●十二天像 絹本著色 寺傳同上 十二幅 全 大和生駒郡 西大寺出陳

(九)●十二天像 絹本著色 寺傳同上 十二幅 全 大和生駒郡 西大寺出陳

僧空海ハ讚岐人法ヲ求メテ唐ニ入ル居ルヲ三年大同元年歸朝ス我邦眞言宗ノ開祖タリ承和二年三月寂ス諡シテ弘法大師ト云フ

(一〇)●山水圖 絹本着色

此圖筆者詳ナラスト雖モ描筆圖様等ニ徴シテ平安朝初期ノ山水人物畫ノ上乘ナルモノトス
六曲屏風一隻 京都市 教王護國寺出陳

中期藤原時代

(一一)●十二天像古屏 板面着色 寺傳巨勢金剛筆

巨勢金剛ハ有行ノ男五朝ニ歷仕シ官大納言ニ至ル繪事ヲ善クシ賢聖障子ヲ描キテ其名著ハル延喜天曆頃ノ人ナリ
二 枚 山城葛野郡 清涼寺寄託

(一二)●焰魔天像 絹本着色 寺傳會理僧都筆

會理僧都ハ東寺長者ナリ佛像ヲ描クヲ以テ名アリ承平五年十二月寂ス
一 面 京都市 觀智院出陳

(一三)●不空羂索觀音菩薩像 絹本着色 寺傳春日基光筆

春日基光ハ清隆ノ男初名ハ盛光從五位上内匠頭ニ任シ後越前守ニ遷ル南都ニ住シ春日ト稱ス繪所預タリ土佐家ノ始祖ニシテ寛弘頃ノ人ナリ
一 幀 全

(一四)●阿彌陀二十五菩薩來迎圖 絹本着色 寺傳惠心僧都筆

一 幅 全 知恩院出陳

(一五)●山越阿彌陀如來圖 絹本着色 寺傳同上

一 幅 全 禪林寺出陳

(一六)●山越阿彌陀如來地獄極樂圖 絹本着色 惠心僧都筆

二枚一組 全 金戒光明寺出陳

僧源信ハ大和人比叡山ニ登リ惠心院ニ住ス世ニ惠心僧都ト稱ス寛仁元年六月寂ス

(一七)●十一面觀音菩薩像 絹本着色 寺傳春日隆能筆

一 幀 全 觀智院出陳

春日隆能ハ清綱ノ男正五位下參河守ニ叙任シ繪所預ニ補ス天仁頃ノ人ナリ

(一八)●志貴山緣起 紙本着色 寺傳鳥羽僧正筆

三 卷 大和生駒郡 朝護孫子寺出陳

(一九)●將軍塚造營繪卷 紙本墨畫 寺傳同上

一 卷 山城葛野郡 高山寺出陳

僧覺猷ハ源隆國ノ男大僧正ニ任シ天台座主ニ補ス鳥羽ニ居ルヲ以テ世ニ鳥羽僧正ト稱ス戲畫ニ名アリ保延六年九月寂ス

(二〇)●釋迦如來再生說法圖 絹本着色

一 幅 山城乙訓郡 長法寺出陳

此圖筆者詳ナラス寺傳ニ傳教大師ノ將來ト云フモ固ヨリ唐畫ニ非ラス方今鑑識家ハ其描筆及圖中人物等ノ形相ヨリ推考シテ藤原時代ノ作トセリ

(二一)●孔雀明王像 絹本着色

一 幅 山城紀伊郡 安樂壽院出陳

(二二)●扇面古寫經下繪 紙本着色

一 帖 東京帝室博物館出品

(二三)●扇面古寫經下繪 紙本着色

一 幅 近江滋賀郡 西教寺出陳

以上三點筆者詳ナラスト雖モ此時代ニ屬スルモノト推考スルヲ以テ此ニ收ム

六

末期平家時代

(二四)●平家納經口繪 紙本著色 長寛二年九月日平清盛其他一族書寫 三十二卷内十卷 安藝佐伯郡 嚴嶋神社出陳

(二五)●文殊師利像 絹本著色 寺傳僧珍海筆 一 幀 山城宇治郡 光臺院出陳

(二六)●佛眼佛母像 絹本著色 寺傳同上 讚僧高辨 一 幅 山城葛野郡 高山寺出陳

讀ニ曰 モロトモニアハレトヲホセ御佛ヨキミヨリホカニシル人モナシ、○怒我
生生世世不暫離○母御前母御前、无耳法師之母御前也、南無母御前母御前釋迦如
來滅後遺法御愛子○○紀州山中乞者敬白

僧珍海名ハ長深出家シテ醍醐禪那院ニ入ル後淨土宗ニ皈依シ禪林寺十三代ニ住ス
永萬元年十月寂ス

(二七)●伴大納言繪詞 紙本著色 所傳春日光長筆 三 卷 東京市伯爵酒井忠道出品

(二八)●舞樂圖衝立障子 絹本著色 社傳同上 二 枚 京都市 北野神社出陳

裏書ニ曰 北野宮内陣御衝立自光明院建武四丁丑年二月二十五日八嶋龜女修破至元
祿十四辛巳年二月二十五日經三百六十餘載誠神舊寶也嗚乎惜哉壞而既不分其正因

命工再修之云、奉行法眼禪覺 嘉永元年戊申中冬修覆之 大慈坊法橋教誠謹奉行
之

春日光長其父祖詳ナラス從四位下刑部大輔ニ叙任ス永安頃ノ人ナリ

○鎌倉時代

(二九)●能惠法師繪詞 紙本著色 寺傳土佐行長筆 一 卷 山城葛野郡 廣隆寺出陳

土佐行長ハ邦隆ノ男左近將監ニ任ス建仁頃ノ人ナリ

(三〇)●清瀧權現像 絹本著色 一 幀 東京市子爵田中光顯出品

題ニ曰 元久元年四月十九日奉見夢清瀧御體也以此童女賜此草子外題云賀宇夜具
野新○之布美云云此御體持物等不違口傳仍此復殊信敬之思切也

又裏書ニ曰 弘長二年七月六日於地藏院奉(欠)入壇之時奉見夢御體也存日(欠)調卷仍
任遺訓遂供養令安(欠)永不可出(欠)權律師盛深

(三一)●平重盛源賴朝藤原光能僧文覺像 絹本 寺傳藤原隆信筆 四 幅 山城葛野郡 神護寺出陳

藤原隆信ハ爲隆ノ男正四位下右京大夫ニ叙任ス後薙髮戒心ト號ス元久二年二月卒
ス

(三二)●十二天像 絹本着色 寺傳宅磨勝賀筆

六曲屏風一雙 京都市 教王護國寺寄託

(三三)●十二天像 絹本着色 寺傳同上

六曲屏風一雙 山城葛野郡 神護寺出陳

宅磨勝賀其傳ヲ詳ニセス畫ヲ以テ法眼ニ叙ス元久頃ノ人ナリ

(三四)●北野天神緣起 紙本着色 社傳藤原信實筆

九卷 京都市 北野神社出陳

第一卷與書ニ曰 北野聖廟緣起不慮紛失不知其所在空送歲月已久于爰目代照世索求于四方得古編緣起八軸於泉南大寺之大藏中雖然欲償之不容易故謁縣令石田木作尹請遂鶴望縣令感照世志深切而文祿五稔秋遂以得令終素願不勝抃躍抱以奉備寶前也可謂合浦珠去復還矣嗚乎是亦非神靈威德之盛乎干時慶長第四曆己亥夷則七日北野寺務無品覺圓親王記之

(三五)●華嚴緣起 紙本着色 寺傳同上

六卷 山城葛野郡 高山寺出陳

裏書ニ曰 華嚴宗祖師義湘大師繪四局明惠上人繪三局元曉大師繪二局以上九局歌物繪上中下同類局二局(開田殿○○)都合十一卷本是高山寺東經藏之具也先年兵亂之時足輕共執散爲彼兵火所燒失了然坊人共拾集之間此坊取置也寺家有再興之時節可令奉納彼藏也後世留守門人可得其意不可存私仍記置之也時元龜庚午七月二十一日○僧○性○

藤原信實初名ハ隆實正四位下左京權太夫ニ叙任ス隆信ノ男後薙髮寂西ト號シ法性寺ト稱ス承久頃ノ人ナリ

(三六)●一遍上人繪卷 絹本着色 法眼圓伊筆 十二卷 京都市 歡喜光寺出陳

與書ニ曰 正安元年己亥八月二十三日西方行人聖戒記之畢畫圖法眼圓伊外題三位經尹卿筆

法眼圓伊ノ傳ハ本卷與書ノ外他書ニ見ヘス畫蹟モ亦本卷ノ外ニ存スルモノナシ

(三七)●焰魔天像 絹本着色 寺傳道玄准后筆 一幅 全 青蓮院寄託

添書ニ曰 此焰魔天者從禁裏今日拜感之冥應之至仰而可信仍則誌焉 大永三歲次

癸未年臘月念日甲辰 遍照無障尊鎮親王花押

僧道玄ハ二條良實ノ男近江延曆寺ニ住シ天台座主トナル三后ニ准スルヲ二度嘉元二年七月寂ス

(三八)●春日權現驗記 絹本着色 高階隆兼筆 二十卷內五卷 御物

冬平ノ文ニ曰 繪右近太夫將監高階隆兼繪所預詞前關白父子四人敬神之志懇切之餘爲結緣不可交他筆之由所被約諾也於篇目者覺圓法印註出之且相談阿前大僧正

慈信訖予京藤門之末葉專仰當社之擁護不耐敬神之懇志爲諸人之仰信大概類集之遂猶切瑳全可書加也凡企此懇志之後家門觸事有吉祥爰知和叶祖神之冥慮歟後輩彌可抽敬信之精誠而已延慶二年三月日左大臣藤原朝臣

高階隆兼春日ト稱ス四位ニ叙シ右近將監ニ任ス繪所預タリ延慶頃ノ人ナリ

(三九)●山水圖 絹本着色

六曲屏風一隻 山城葛野郡 神護寺出陳

(四〇)●矢田地藏緣起 紙本着色

二卷 京都市 矢田寺出陳

輿書ニ曰 地藏尊緣起共二卷爲長卷久和居士永譽慶壽信女滿譽充觀久貞居士安觀忍光受月比丘尼一切精靈等正德五乙未歲正月十五日寄附之 京都室町通二條上町施主河井久右衛門重賢同名十右衛門重三洛東朝陽山法林寺十葉良空貞然以上二點筆者詳ナラスト雖モ描筆圖樣等ニヨリ此時代ニ屬スルモノトセリ

○室町時代

(四一)●寒山拾得圖 絹本墨畫 印文可翁 替僧一筆

二幅 京都市 相國寺寄託

替ニ曰指空話空是甚舉止維善願阿猶少慚媿五臺月皎何由至 一山一寧拜題 掣風掣情據ケ甚庶背手立地看人冷破峨眉雲遠忘歸蹉 一山比丘一寧拜手

僧可翁名ハ宗然筑前人文保中元國ニ赴キ留ルヲ十年歸朝ノ後京都市南禪寺ニ住ス貞和元年四月寂ス

(四二)●楊柳觀音菩薩像 紙本墨畫 印文祥啓

一幅 京都市 子爵京極高德出品

(四三)●杜若荷葉水禽圖 紙本墨畫 印文賢江祥啓

二幅 山城愛宕郡 孤達菴寄託

僧祥啓雪溪ト號ス賢江又貧樂齋等ノ別號アリ鎌倉建長寺ニ入リテ書記トナル世ニ啓書記ト稱ス貞和元年寂ス

(四四)●山水圖 紙本墨畫 寺傳相阿彌筆

六曲屏風一隻 山城葛野郡 妙心寺寄託

真相ハ中尾氏鑑岳又松雪齋ト號ス眞藝ノ男タリ足利義政ニ仕ヘテ相阿彌ト稱ス明德頃ノ人ナリ

(四五)●石山寺緣起 紙本着色 寺傳粟田口陸光其他筆

七卷 近江滋賀郡 石山寺出陳

跋文ニ曰 石山寺緣起七卷寺記相傳第一卷至第三卷粟田口民部卿法眼陸光所畫第四卷刑部大輔光信第五卷刑部大輔光持云寬政中幕府畫員住吉廣行鑑定以首三卷爲右近太夫將監高階隆兼以第五卷爲陸光今審首三卷筆意勅健自在與春日驗記同一描法則廣行之言近是矣皆絕世之偉蹟也記則僧正果守及中納言藤原爲重卿逍遙院藤內

府所書也。至第六卷七卷獨存飛鳥井大納言藤原雅章卿所書記而圖缺焉。寺主尊賢僧正聞余愛古書畫。因求補是圖之缺。夫意想數百歲前之事。而立圖時風所尙生養所便焉。得如生其世而寫其世者爲哉。然寺主之請有不可拒者。於是取雅章卿所書記。隱度事跡。授意於谷文晁作圖補之以塞其責云。文化二年歲次乙丑十二月廿三日幕府世臣白河城主越中守源定信識

(谷文晁補圖ハ江戸時代ニ出ス)

粟田口隆光ハ土佐光顯ノ三男民部ト稱シ法眼ニ叙ス其粟田口ニ居ルヲ以テ粟田口法眼ト稱ス應永頃ノ人

(四六)・瓢鮎圖

紙本墨畫 僧如拙筆 讚僧周崇外三十筆

一幅 山城葛野郡 退藏院出陳

贊ニ曰 (高翔雲者以翔繳霄之深泳水者以網罟致之乃漁獵之常也夫以虛闊圓滑之瓢欲捺住無鱗多涎之鮎魚於泱泱泥水之中豈可復得焉乎大相公俾僧如拙畫新樣於座右小屏之間而命江湖群鴉各著一語以言其志蓋有深趣矣全愚叟周崇不揆鄙俚輒題十有六字於其首日用活手段瓢捺鮎留更欲得妙重著滑油僧如拙越溪ト號シ又蘭芳軒ト號ス明國人歸化シテ京都相國寺ニ住ス應永頃ノ人ナリ

(四七)・竹齋讀書圖

紙本墨畫

印文越溪周文 序僧雲題詩僧龍派外四筆 一幅

本館藏

竹齋讀書圖詩軸序 世外隱君子以恬憺無爲爲樂然手不釋卷胡爲乎哉瓢之歷洛者猶棄之况古人之糟粕乎一世之是非猶不願聞之况千古之得喪乎且不欲發華藻於外奚貪貯盜簡於腹耶不如手拋卷而高臥清風嘸壘竟日濯乎碧流風乎綠樹岸巾於修竹之下箕踞乎長松之陰檮筇瞻白雲之飛披衣待素月之上是皆閑中自適之趣也傳曰隱居以求其志行義以達其道志者以聖賢之志爲志也道者以聖賢之道爲道也然則黃卷赤軸前言法行者求志達道之徑路也堯讓天下於子州支父不受稱幽憂之病未治幽憂亦求志也凡隱有二焉曰真曰僞志慕伊呂者僞也志慕夷齊者真也又有潛龍而隱者有亢龍而退者有急流而勇退者且古之爲學者有格物致知誠意正心修身齊家治國平天下之次序首五者雖爲隱者不可闕焉若夫戢羽翫於書巢馳心志於雲路則仕途之捷徑也干祿之學有譏嘲之苟濫才智於內則馳聲譽於外及其鶴書赴隴騶騎臨門而竹屋夜雨之殘燭其不幾乎照蕙帳之猥鶴哉瑞龍記室果公廼東禪之高弟也介于人寄斯詩軸來索名之且序之及其展之老眼昏花不能點檢毫末有小童指點之曰竹裏有屋中有讀書人俾讀其上數詩真瞽師曰手裏殘書讀欲終松花老日掌上何書讀半殘蟬閣翁曰攤書終日獨披襟因題曰竹齋讀書

圖書斯語于其上、以為詩軸序、昔文安肆稷歲次丁卯仲夏吉辰、前南禪竺雲等連頓首拜書

僧周文字ハ等慶春育ト號シ又越溪ト號ス京都相國寺ノ都司タリ應永頃ノ人

(四八)●融通念佛緣起 紙本著色 春日行秀其他筆 二卷 山城葛野郡 清凉寺出陳

(四九)●三十六歌仙圖 紙本著色 社傳春日行秀筆 (内一葉狩野元信補欠) 一帖 京都市 北野神社寄託

春日行秀ハ行廣ノ男從四位上大藏少輔ニ叙任ス春日繪所預タリ永享頃ノ人

(五〇)●白衣觀音菩薩像 絹本著色 款明兆筆 一幅 全 相國寺寄託

(五一)●五百羅漢像 絹本著色 寺傳僧明兆筆 四十五幅内廿幅 全 東福寺出陳

(五二)●山水圖 紙本墨畫 寺傳同上 序僧眞玄題詩僧周崇外五筆 一幅 全 金地院出陳

溪陰小築詩畫序、詠梅葉於炎天者、簡齋之神妙也、畫芭蕉於雪裡者、摩詰之天機也、皆得之於心而相忘於物也、龍峰純子璞、身立禪林稠廣之際、而溪陰其名以居之、所謂門市而心水者、歟、豈不亦謂得之於心者乎、其知心之友、圖溪山之佳處而裝潢、且倡於諸公、以詩其側、將贈焉、袖卷來求余措一辭、披而覽之、乃山影參差、水光潑灑、躍游魚乎木末、迎歸鳥乎波間、

以洗可塵之心、以塵可畏之畏、彼唐逸竹隱、秦人桃源何楚越於肝膽乎、唯虞號之唇齒耳、蓋是得於心而非境於外焉、然則斯圖之作也、心之畫也、歟、千載之下、足以觀主人之清心、諸公之神妙、畫史之天機矣、獨竹隱桃源云乎哉、雪蕉炎梅云乎哉、應永癸巳夏河東眞玄序、僧明兆ハ淡路人僧トナリ東福寺南明院ニ住ス本寺ノ殿司タルヲ以テ世ニ兆殿司ト稱ス又吉山ト號シ破草鞋赤脚子等ノ別號アリ永享三年八月寂ス

(五三)●春景山水圖 紙本墨畫 所傳小栗宗丹筆 讚僧龍澤 一幅 武藏荏原郡伯爵伊達宗基出品

讚ニ曰 奚奴背笠伴翁行、無奈春天稀快晴、空翠濕衣山路遠、樓陰欲雨暮鐘聲、默雲龍澤

(五四)●王昭君朱買臣東坡圖 紙本著色 寺傳同上 讚僧小補 三幅 山城葛野郡 大心院寄託

昭君彈琵琶 胡塵吹面側花鈿、縱盡麒麟亦可憐、只有漢家天上月、斷腸淡照琵琶絃、小補

朱買臣 坐則讀書行採薪、拍肩野老與山人、若思一旦會稽守、雨笠烟蓑錦綉春

東坡笠屐圖 瓊海玉堂過卽同、天將笠屐戲吾公、爛腹五斗髮千丈、犬吠蠻村烟雨中

小栗宗丹自牧ト號ス初名ハ助重足利氏ニ仕フ後剃髮京都相國寺ニ住シ宗丹首座ト

稱ス寛正五年一月寂ス

(五五)●二王尊像 紙本墨畫 寺傳曾我蛇足筆 二幅 全 東海菴寄託

曾我蛇足名ハ宗譽通稱式部蛇足ハ其號ナリ周文ノ男越前朝倉家ニ仕テ薙髮法名ヲ夫泉ト稱シ宗丈ト號ス文明十五年十一月歿ス

(五六)●竹石白鶴圖 紙本墨畫 寺傳狩野正信筆 六曲屏風一隻 山城愛宕郡 眞珠菴出陳

狩野正信初メ四郎次郎ト稱シ後大炊助ト改ム越前守式部大輔ニ任ス足利義政ニ仕ヘテ近侍タリ後薙髮祐勢ト號シ法眼ニ叙ス長享頃ノ人ナリ

(五七)●夏景雪景山水圖 紙本墨畫 款雪舟筆 二幅全 曼殊院出陳

僧雪舟名ハ等揚一ニ備溪齋ト號ス備中赤濱人明國ニ遊ヒ歸リテ周防山口ノ雲谷菴ニ居ル永正三年二月歿ス

(五八)●補陀大士像 紙本墨畫 寺傳僧秋月筆 一幅全 孤篷菴寄託

(五九)●山水圖 紙本著色 印文入唐秋月居士 一幅 大阪市 上野理一出品

僧秋月名ハ等觀一ニ朴也ト號ス薩摩人其師雪舟ニ從フテ明國ニ遊フ永正頃ノ人ナリ

(六〇)●雲中文珠菩薩像 紙本墨畫 印文雲溪、永怡 一幅 京都市 田中音五郎出品

僧雲溪名ハ永怡永正頃ノ人ナリ

(六一)●北野天神緣起 紙本著色 土佐光信筆 三卷全 北野神社出陳

跋文ニ曰 聖廟緣起^{上中下}繪畫所預從四位下行刑部大輔藤原朝臣光信畫之詞正二位行權大納言兼侍從藤原朝臣實隆依松梅院梅壽丸命書之所謂舊本紛失之間抽懇丹之至誠施後素之新様而今叙覽之次忝揮宸筆銘于外題蓋萬代之至寶應靈神之照鑒者乎
時文龜癸亥曆二月十八日記之花押

(六二)●誓願寺緣起 絹本著色 寺傳同上(内一幅海北友松補筆) 三幅全 誓願寺出陳

(六三)●融通念佛緣起 紙本著色 寺傳同上 二卷全 禪林寺出陳

(六四)●百鬼夜行圖 紙本著色 寺傳同上 一卷 山城愛宕郡 眞珠菴出陳

土佐光信ハ廣周ノ男從四位下刑部大輔ニ叙任ス繪所預タリ大永五年五月卒ス世ニ基光光起ト並稱シテ土佐ノ三筆ト云フ

(六五)●中三笑^{右左}蓮圖 紙本墨畫 印文等楊 三幅 山城宇治郡 毘沙門堂寄託

僧拙宗名ハ等楊畫風雪舟ニ似タリ大永頃ノ人ナリ

(六六)●雪景山水圖 紙本墨畫 寺傳狩野元信筆

八幅 山城葛野郡 靈雲院出陳

一八

(六七)●蘆邊宿禽圖 紙本墨畫 寺傳同上

二幅 全

(六八)●譚山錫瓶圖 紙本墨畫 寺傳同上

一幅 全 龍安寺寄託

狩野元信ハ正信ノ長子初メ大炊助ト稱ス越前守ニ任シ繪所預ニ補ス後薙髮玉川ト號シ又永仙ト號ス法眼ニ叙シ永祿二年十月卒ス世ニ古法眼ト稱ス

(六九)●牧童圖 紙本墨畫 印文右都御史之印 (狩野玉樂筆)

二幅 京都市 中塚大二郎出品

狩野玉樂名ハ玉信殊牧ノ弟タリ畫法ヲ元信ニ學ヒ北條氏ニ仕フ永祿頃ノ人ナリ

(七〇)●松鷹圖 紙本墨畫 款雪村

二幅 山城愛宕郡 曼殊院出陳

(七一)●山間行旅圖 紙本墨畫 印文雪村

一幅 京都市 金地院寄託

僧雪村名ハ周繼如圭又鶴仙老ト號ス與州三春人周文雪舟ノ筆意ヲ學ンテ山水花鳥ヲ畫ク永祿頃ノ人ナリ

(七二)●四季耕作圖 紙本著色 寺傳狩野之信筆

襖張付八枚 山城愛宕郡 大仙院出陳

狩野之信ハ正信ノ男元信ノ弟タリ雅樂助ニ任シ朝隱ト號ス天正三年歿ス

○桃山時代

(七三)●松杉圖 紙本墨畫 印文長谷川等伯

六曲屏風一雙 京都市子爵福岡孝弟出品

長谷川等伯名ハ信吉初メ久六ト稱シ後平藏ト改ム能登七尾人京都ニ來リ狩野松榮ノ門ニ入ル慶長十五年二月歿ス

(七四)●源氏五十四帖 紙本著色 印文久翌

二帖 京都府寄付 本館藏

土佐光吉ハ光茂ノ第二子初メ源左衛門ト稱ス從五位下ニ叙ス後薙髮久翌ト號シ慶長十八年五月卒ス

(七五)●三酸寒山拾得圖 紙本著色 款友松筆

六曲屏風一雙 山城葛野郡 妙心寺出陳

海北友松名ハ昭益如切齋友景齋等ノ別號アリ近江蒲生人初メ畫ヲ狩野永徳ニ學ヒ後一家ヲナス慶長二十年六月歿ス

以上二人ノ歿年ハ江戸時代ニ相當スト雖此製作ハ本時代ノモノト推考スルヲ以テ此ニ屬ス

(七六)●柳橋水車圖 金地著色 (桃山百雙屏風之内)

六曲屏風一雙 京都府寄付 本館藏

(七七) 水邊千鳥圖 金地著色 (桃山百雙屏風之内) 六曲屏風一雙 京都市 伯爵大谷光瑞出品

(七八) 衣裳圖 金地著色 (聚樂百雙屏風之内) 世ニ雖袖屏 風ト稱ス 六曲屏風一雙 山城葛野郡 風間八左衛門出品

以上三點筆者詳ナラスト雖モ本時代ニ屬スルモノタルヲ以テ此ニ収ム

○江戸時代

(七九) 十牛圖 紙本著色 印文興以 頌僧東寔 十幅 山城葛野郡 聖澤院寄託

狩野興以名ハ定信字ハ中里下野足利人畫ヲ狩野光信ノ門ニ學ヒ法橋ニ叙ス寛永十三年七月歿ス

(八〇) 詩歌之卷下繪 紙本 泥畫 欸寛永五年九月日鷹峯山大虞巷歳七十有一 一卷 大阪市 上野理一出品

本阿彌光悅徳友齋或ハ自徳齋ト號ス本阿彌光心ノ養子タリ晩年洛北鷹峯ニ住シ大虚巷ト號ス書畫ヲ能クシ又茶事ニ通ス寛永十四年二月歿ス

(八一) 十六羅漢像 紙本墨畫 印文惺々翁 昭乘 十六幅 山城愛宕郡 龍光院出品

僧昭乘ハ南都人山城男山瀧本坊ニ住ス惺々翁ト號シ後松華堂ト號ス書畫共ニ工ミナリ寛永十六年九月歿ス

(八二) 風神雷神圖 金地著色 寺傳倭屋宗達筆 二曲屏風一雙 京都市 建仁寺出品

(八三) 舞樂圖 金地著色 欸倭屋宗達 二曲屏風一雙 山城宇治郡 醍醐寺寄託

倭屋宗達字ハ伊年對青軒ト號ス能登人初メ畫ヲ狩野永徳ニ學ヒ後自ラ一家ヲナシ法橋ニ叙セラル寛永頃ノ人ナリ

(八四) 賣馬圖 金地著色 寺傳岩佐又兵衛筆 六曲屏風一雙 全 全

岩佐又兵衛名ハ勝以荒木村重ノ男越前福井ニ住ス初メ畫ヲ土佐光信ノ門ニ學ヒ遂ニ一家ヲナス浮世繪ノ祖タリ慶安三年六月江戸ニ歿ス

(八五) 雪月水禽圖 金地著色 欸狩野山雲筆 六曲屏風一雙 京都市 細辻伊兵衛出品

狩野山雲名ハ光家縫殿助ト稱ス桃源子又蛇足軒等ノ別號アリ山樂ノ義子法橋ニ叙ス慶安四年二月歿ス

(八六) 宇治橋姬繪詞 紙本著色 印文土佐廣通 一卷 武藏豐島郡 片野邑平出品

土佐廣通ハ土佐光吉ノ第二子通稱内記住吉繪所ヲ再興シテ住吉氏ヲ稱ス剃髮シテ如慶ト號シ法眼ニ叙ス寛文十年六月歿ス

八七) ●東照宮緣起 紙本著色 狩野探幽筆

五 卷 下野日光町 東照宮出陳

末文ニ曰 神は敬によりて威をまし人は信を以て得を益す故に東照大權現因位の
徳を縁起に圖し末代に傳へ道俗是を聞して尊重のふもひを發せは靈驗ますく揭
焉ならしむ肆に忝も狩野守信蒙御下知信敬の抽丹誠朝暮數年退慢なく令書功故に
法眼繪所を下さるゝ是以御神徳也

(八八) ●四季松樹圖 金地著色 款狩野法眼探幽齋守信筆 六曲屏風一雙 山城愛宕郡 大徳寺寄託

狩野探幽名ハ守信初ノ采女ト稱ス孝信ノ男宮内卿法印ニ叙ス生明白蓮子筆峯大居
士其他數號アリ鍛冶橋狩野家ノ祖ナリ延寶二年十月歿ス

(八九) ●桐鳳圖 絹本著色 款土佐左近將監光起筆

一 幅 大津市 村田利兵衛出品

(九〇) ●粟鶉圖 絹本著色 款土佐常昭筆

一 幅 京都市 采野爲吉出品

土佐光起ハ光則ノ男從五位下左近將監ニ叙任ス後剃髮常昭ト號シ春可軒ト稱ス法
眼ニ叙シ元祿四年九月卒ス

(九一) ●洛中洛外風俗繪卷 絹本著色 所傳住吉廣澄筆

一 卷 東京帝室博物館出品

住吉廣澄又名ハ廣純通稱内記廣通ノ男タリ薙髮シテ具慶ト號シ法眼ニ叙ス寶永二
年四月歿ス

(九二) ●雙馬圖 紙本墨畫 款常信筆

六曲屏風一雙 京都市 杉浦三郎兵衛出品

狩野常信ハ尙信ノ男中務卿法印タリ養朴古川耕寛齋等ノ數號アリ正徳三年一月歿
ス

(九三) ●杜若圖 金地著色 款法橋光琳

六曲屏風一雙 全 伯爵大谷光瑞出品

緒方光琳名ハ惟富後方祝ト改ム潤聲伊亮長江軒等ノ別號アリ京都市人江戸ニ住ス畫
風一家ヲナス世ニ之ヲ光琳派ト稱ス又蒔繪ヲ以テ其名著ハル晚年薙髮シテ法橋ニ
叙シ享保元年六月歿ス

(九四) ●活達風流繪卷

絹本 款右活達風流之一卷因交友之節九月吉辰隨信書一

卷 京都市 男爵野村素介出品

卷首ニ曰 左之一卷四季日待圖者然疑英一蝶筆矣爲添予曉者也 英林隱士佐嵩之
毫

卷末ニ曰 此一卷子謫居無聊際偶弄筆者也是以自素質至施彩都出一手今也年老且
勞事如此精細自以又不能焉或既得家藏請予之一語於卷尾故云爾 干時正徳元年冬

日北窓翁英一蝶書

(九五) 牛若辨慶圖 絹本着色 款北窓翁一蝶圖

一 幅 京都市 中村半兵衛出品

英一蝶名ハ信香通稱助之進後治右衛門ト改ム朝湖北窓翁翠雙翁狩林齋其他數號アリ大阪人多賀伯港ノ男江戸ニ住ス畫法ヲ狩野安信ニ受ケテ更ニ一家ヲナス元祿十一年事ヲ以テ流謫寶永六年赦サレ享保九年一月歿ス

(九六) 西王母圖

絹本 著色

款卯觀子笠翁行年八十有二 替僧百拙 一 幅 大阪市 上野理一出品

贊ニ曰 風髻蛾眉越外粧 蟠桃華實掌中芳 飛瓊舞罷瑤池靜 節入漢宮朝武皇 海雲百拙山人贊

小川破笠名ハ尙行又名ハ觀通稱平助卯觀子夢中菴等ノ別號アリ畫圖ヲ能クシ描金ヲ以テ名アリ世ニ之ヲ破笠細工ト稱ス晚年津輕侯ニ仕テ延亨四年六月歿ス

(九七) 士女風俗繪卷

紙本着色

款日本繪宮川長春圖

一 卷

東京帝室博物館出品

宮川長春通稱長左衛門後喜平次ト改ム自ラ大和繪師ト稱シ春旭堂ト號ス能ク風俗世態ヲ寫シテ其名著ハル寶曆二年十一月歿ス

(九八) 水邊花鳥圖

紙本 著色

款大徳寺院内入水鷗圖倣古法眼筆意墨玉繪齋

六曲屏風一雙

京都市

六島復兵衛出品

望月玉蟾名ハ重勝又名ハ玄字ハ守靜京都人畫風一家ヲナス寶曆五年八月歿ス

(九九) 東方朔花果小禽圖

絹本着色 款洪園

三 幅 全

伯爵大谷光瑞出品

(一〇〇) 牡丹孔雀圖

絹本着色

款洪園主人畫於村和玉種徳堂

一 幅

播磨龍野町

原田宗兵衛出品

柳澤洪園名ハ里恭字ハ公美通稱權太夫玉桂竹溪等ノ別號アリ大和郡山藩ノ士元明ノ古蹟ヲ學ンテ花鳥ヲ畫キ殊ニ設色ニ工ミナリ寶曆八年九月歿ス

(一〇一) 楓林停車圖

紙本着色 題詩

一 幅

武藏北豐島郡吉田丹次郎出品

遠上寒山石徑斜 白雲深處有人家 停車坐愛楓林晚 霜葉紅於二月花 九霞山樵寫

(一〇二) 武陵桃源圖

絹本 著色

款安永癸巳正月宮平安池無名 錢謙益題記文一篇

一 幅

駿河島田町

秋野雅太郎出品

池無名字ハ貸成通稱嘉右衛門後秋平ト改ム京都人大雅堂ト號ス霞樵三岳道者袖龜堂其他數號アリ明清ノ畫風ヲ學ンテ一家ヲナス本邦南宗畫ノ始祖タリ安永五年四月歿ス

(一〇三) 野馬圖

紙本着色

款東成謝長庚於碧雲洞中

六曲屏風一隻

京都市藤原忠一郎寄付

本館藏

(一〇四) 梅溪訪友圖

絹本着色

款東成謝寅 替中井竹山

一 幅

大阪市

生島嘉藏出品

替ニ曰 樹竹蒙密、嶂巒峻、層臨溪下、築高、蹤可徵、寒梅幾株、繁在屋稜、誰度、北橋山路、登登、若非琴伴、定是詩朋、辛丑之秋、竹山居士題

(一〇五) 採芝圖 絹本着色 款呂恭大行山中採芝圖謝春星 一幅 京都市 柏原孫左衛門出品

謝蕪村名ハ長庚後寅ト改ム字ハ春星三葉堂、四明、碧雲洞、其他數號アリ、攝津人京都ニ住ス、元明ノ古蹟ヲ學ンテ自ラ一家ヲナス、又俳句ヲ能クス、天明三年十二月歿ス

(一〇六) 寒山拾得圖 紙本 墨畫 款蛇足軒蕭白筆 曾我次郎輝雄筆 二幅 全 興聖寺出品

曾我備白名ハ輝雄又名ハ輝鷹字ハ師龍如、鬼蛇足軒、鬼神齋等ノ別號アリ、伊勢人京都ニ住シ、天明三年歿ス

(一〇七) 源氏物語圖 絹本着色 款法眼月岡雪鼎 一幅 全 柏原孫左衛門出品

月岡雪鼎名ハ昌信通稱丹下信天翁ト號ス、近江人大阪ニ住ス、畫ヲ以テ法眼ニ叙ス、天明六年十二月歿ス

(一〇八) 四季草花圖 金地著色 款石田法橋幽汀筆 六曲屏風一隻 全 三時智恩寺寄託

石田幽汀名ハ守直字ハ叔明、京都人、法橋ニ叙ス、天明六年五月歿ス

(一〇九) 人物圖 絹本着色 印文宮常之印、吉夫 一幅 名古屋市 關戸守彦出品

(一一〇) 枯木白鷹圖 絹本着色 印文同上 一幅 全

(一一一) 柘榴獼猴圖 絹本着色 款雲樵寫 一幅 全

山田宮常字ハ吉夫、雲樵ト號ス、尾州名古屋人、初メ畫ヲ宋紫石ニ學ヒ、後變格ス、寛政五年十二月歿ス

(一一二) 鯉魚水禽圖 絹本着色 款安永乙未季冬寫應舉 十二幅 武藏荏原郡 侯爵伊達宗陳出品

(一一三) 雪中老松圖 絹本墨畫 款應舉 六曲屏風一隻 京都市 男爵三井八郎右衛門出品

圓山應舉初名ハ氏字ハ仲均、後仲選ト改ム、通稱主水、夏雲雪汀、星聚館、洛陽山人、其他數號アリ、丹波入京都ニ住ス、初メ畫ヲ石田幽汀ノ門ニ學ヒ、遂ニ一家ヲナス之レヲ圓山派ト稱ス、寛政七年七月歿ス

(一一四) 猛虎圖 絹本着色 款猛虎一聲、駐兩龍、畫雪 一幅 全 伯爵大谷光瑞出品

長澤蘆雪名ハ政勝、又名ハ魚字ハ氷計、引禰山人ト號ス、山城淀藩ノ士、應舉門下十哲ノ一タリ、寛政十一年六月歿ス

(一一五) 公家武家町家三婦人圖 絹本着色 款勝春章畫 三幅 大阪市 村山龍平出品

勝川春章通稱祐助旭朗并西爾齋等ノ別號アリ江戸人畫ヲ宮川春水ノ門ニ學ンテ浮世繪ヲ能クス寛政十二年四月歿ス

(二六)●花鳥圖 (群雞、紫陽花双雞、旭松白鳳) 絹本着色 三十幅内三幅 御物

款寶曆己卯秋平安錦街居士若冲造

伊藤若冲名ハ春教後如鈞ト改ム字ハ景和一ニ斗米翁ト號ス初メ狩野派ヲ學ヒ後自ラ宋元ノ畫蹟ヲ探求シ遂ニ一家ヲナス京都人晚年深草石峯寺ニ住シ寛政十二年九月歿ス

(二七)●春景山水圖 紙本着色 款庚申夏仲寫餘夙夜 替歐桑 一幅 京都市 中村半兵衛出品

贊ニ曰 連峰澗淡翠嵐浮瀾底喬松蔭亂流笋箴期來賓未致春風花氣襲山樓 歐桑

青木夙夜姓ハ餘名ハ俊明通稱莊右衛門春塘又八岳ト號ス畫ヲ池無名ニ學フ二世大雅堂ノ稱アリ寛政頃ノ人

(二八)●山林群猿圖 絹本着色 款寛政戊午季冬寛祖仙 一幅 神戸市 光村利藻出品

(二九)●柳下猴鹿圖 絹本着色 款狙仙筆 一幅 大阪市 住友吉左衛門出品

森祖仙後狙仙ト改ム名ハ守象字ハ叔牙如寒齋靈明菴等ノ別號アリ長崎人大阪ニ住

ス文化四年七月歿ス

(三〇)●雨中飛鷺圖 絹本着色 款吳春寫 一幅 京都市 岡村嘉太郎出品

(三一)●老松孔雀圖 絹本着色 款吳春寫 一幅 全 柏原孫左衛門出品

吳春ハ松村氏字ハ伯望存白又允白ト云フ通稱嘉右衛門月溪三葉堂等ノ別號アリ京都人初メ畫法ヲ蕪村ニ受ケ後應舉ニ學ブ更ニ自ラ一家ノ風ヲナシ之レヲ四條派ト稱ス文化八年七月歿ス

(三二)●月下秋草圖 絹本着色 款文鳴 贊輿道逸 一幅 全 采野爲吉出品

贊ニ曰 凄風雲脚斷片月獨深幽恰寫悲哉思稠於野草稠 劣齋基題

輿文鳴名ハ貞章字ハ伯熙又字ハ萬禊通稱順藏栖霞又陸沉齋ト號ス京都人畫ヲ圓山應舉ノ門ニ學ブ文化十年十月歿ス

(三三)●蘭亭修禊圖 絹本着色 款訥言 丹羽勗錄蘭亭之記 一幅 名古屋市 伊藤由太郎出品

田中訥言名ハ敏又名ハ擬字ハ虎頭大孝齋過不及子等ノ別號アリ尾張人京都ニ住ス畫ヲ以テ法橋ニ叙シ文政六年三月歿ス

(三四)●三十六歌仙圖 絹本着色 款抱一筆 一幅 全

(二五) 四季花鳥圖 絹本着色 款抱一暉真

一卷

東京帝室博物館出品

酒井抱一名ハ忠因姫路藩主酒井忠以ノ弟タリ剃髮シテ文如上人ノ門ニ入り文詮暉真ト名ツケ等覺院ト稱ス權大僧都ニ任ス性畫ヲ好ミ諸家ニ出入シ終ニ光琳派ノ畫ヲ能クス庭柏子屠龍齋村雨華菴等ハ皆其別號ナリ文政十一年十一月歿ス

(二六) 春秋山水圖 絹本着色 題 詩

二幅 京都市 柏原孫左衛門出品

春景幅 幾家茅屋水邊村花落春潮夕到門溪上數峯青似染居人說是武陵溪 趙勉詩
第五隆寫

秋景幅 青山千仞聳高秋山北山南水亂流欲訪川源無路入釣魚人在碧溪頭 除穎詩
第五隆

野呂介石名ハ隆年字ハ松齡後ニ第五隆ト改ム十友矮梅四君其他數號アリ紀州和歌山藩ノ士山水花鳥ヲ能クス文政十一年歿ス

(二七) 雲泉岳圖 紙本淡彩 田能村竹田筆

一卷 神戶市 光村利藻出品

過天草洋有憶山陽賴兄天草洋險天下無東博鳴門不敢輸崖崩石出急潮怒盤渦旋起舞天吳々々視人如土直折檣碎柁笑擲揄維時十月歲將暮海氣蕭條雲滿樹阿肥野曠夕陽

沉路遙村遠少人住洛陽才子曾過此手數青錢買舟去舟到雲仙山下聞畫師雲仙生于此矣賦以追憶吹笛咏詩黃太癡董北苑後真畫師維我東方受衣鉢雲僊子外更爲誰阿婆灣東阿肥際曉買瓜皮來鼓棹便自雲仙山下過冬霽却淨於秋霽山鐘秀氣碧屏顏大石小石坡陀間疎林幽草夕陽澹分明一幅見虞山憶子此裏獨嘯起煙雲翳澗洽骨髓赤脚提壺天下行不把王侯置眼裡萍踪流轉酒樽前西海濱生北海死如今十里蛋烟寒幾叢蟹舍擁村市居民說山有雲仙不知邑有雲仙子客冬十月從崎陽回抵島原舟中作憶雲仙山陽二君之詩記所觸目之情況今茲夏屏處於竹田郵養病多暇偶閱孫逸山水卷遂仿其筆作此圖併錄二詩寄贈徵人吉人高兄吉人平居論畫則推雲仙詩則崇賴山陽其外諸子不敢挂眼角也吉人索余畫數年而不成丙戌秋游畿晨夕往來然亦復不成臨別面有愠色而口不敢吐蓋余不敢畫筆者墨但有興未到而意未會耳偶獲孫無逸卷閱此興到意會即作斯圖吉人或不棄斥之扯裂之供以石菖蒲一盆兔道茶一甌安之齋頭欣然一顧則竹田生之受賜也多矣 文政戊子晚夏

橋兄元吉家藏谷文晁山水長卷蓋谷壯年作筆法墨法傅彩三者善美兼盡我輩非所企及但論筆墨內無半點匠氣則覺斯卷差優一等也橋兄固善鑒爲一商焉此卷末後除山陽賴兄外不容他人之著一語也 十六日竹田生再識 時卷成後五日

竹田此卷一掃而成、如不經意而有萬里遠勢、自稱無匠氣、非誇語也、余每謂作長卷、峰巒向背、溪澗隱現、種々皆有脈理、如灰線草蛇、然後為妙、是不在於筆墨、而在於氣、氣足以運全卷、則下筆便可了、否則補填架漏、帶視空缺、筆雜而脈不清、驟觀可喜、諦視迄無意趣、何取於長卷哉、曰氣何以得然、曰讀萬卷、書行萬里、路是已、憶吾西遊、舟過雲泉山下、見雲罩其巔、俄而風起、潏潏下碇、天草洋中、質明、纔達鴈原、投魚戶宿、燒魚下飯、鯨燈照枕、不知此圖中何家是邪、已丑冬十一月再觀此卷於吉人齋頭、遂題 山陽外史賴襄

雲僊與余異、幽明異所業、而有同焉者、不合時宜四字是已、君彝有見於此、故於此卷、扭捏二人、為一、可謂知已矣、但所謂孫逸畫卷、為其粉本、蓋在荷所獲、余在鎮西、視釋如泰卷、欲獲不獲、此粉本意、有過無不及、君彝袖手取得、可妬々々、襄走筆題

田能村竹田名ハ孝憲字ハ君彝行藏ト稱ス九重仙史雪月堂花竹幽窓主人等ノ別號アリ豊後岡藩ノ士山水人物ヲ能クシ兼テ詩文ニ長ス天保六年八月大阪ニ歿ス

(二二八)●半多迦尊者像 紙本著色 欸庚辰季秋既望黃華山寫 一幅 京都市 中山吉兵衛出品

横山華山名ハ一章字ハ舜明京都人初メ畫ヲ岸駒ノ門ニ學ヒ後變格ス天保八年三月歿ス

(二二九)●孔雀圖 絹本著色 欸雅樂助岸駒寫 一幅 全 西村總左衛門出品

岸駒名ハ昌明字ハ貞然雅樂助ト稱ス從五位下越前守ニ叙任ス可觀堂同功館天開窟等ハ皆其別號ナリ加賀人京都ニ住ス宋元ノ畫蹟ヲ學ヒ諸家ノ畫格ヲ取捨シテ一家ヲナス之レヲ岸派ト稱ス天保九年十二月卒ス

(二三〇)●秋景山水圖 紙本淡彩 欸丁酉春抄做戴文進意武熊漫仕立原任 一幅 京都市 吉田丹左衛門出品

立原杏所名ハ任字ハ遠卿通稱甚太郎東軒玉環舍其他數號アリ常陸水戸人江戸ニ住ス天保十一年五月歿ス

(三三一)●石山寺緣起 紙本著色 谷文晁筆 七卷内二卷 近江滋賀郡 石山寺出陳

(三三二)●山水樓閣圖 絹本著色 欸文晁 二幅 京都市 伯爵德川達孝出品

(三三三)●秋景山水圖 絹本著色 欸溪山墨峯乙卯冬日寫於寫山樓中文晁 一幅 全 吉田丹左衛門出品

(三三四)●山水圖 絹本著色 欸文化辛未季秋寫于水雲軒文晁 一幅 神戶市 河合浩藏出品

谷文晁初名ハ文朝師陵ト號ス通稱文伍寫山樓畫學齋其他數號アリ江戸人汎ク諸家ノ畫法ヲ咀嚼シテ遂ニ一家ヲナス山水花鳥ハ其特ニ長スル所ナリ後薙髮文阿彌ト

號シ法眼ニ叙ス天保十一年十二月歿ス

(一三五) 清溪煎茶圖 紙本著色

一 幅 駿河島田町 森 淑 出品
款乙未八月朔六日顯齋兄臨發索畫座客雜沓中匆々揮洒應之書譜云乖意之時也兄勿以之責乎登

(一三六) 山水圖 絹本墨畫 題 詩

一 卷 神戸市 河合浩藏出品
晴雲纔去雨雲來米山色渾無定寫於全樂堂邊登丁亥夏六月朔睡起作此題詩第二句誤脫家字傍人笑曰睡未全覺又識

渡邊華山名ハ定靜字ハ子安通稱登全樂堂昨非居士等ノ別號アリ參河田原藩ノ士ナリ畫法ヲ谷文晁ニ問フテ山水花鳥ヲ能クス天保十二年十月事ヲ以テ自又ス

(一三七) 岩上孔雀圖 絹本著色 款微山

一 幅 大阪市 上野理 一 出品
森徹山名ハ守眞字ハ子玄狙仙ノ義子畫法ヲ父ニ受ケテ花鳥ヲ能クス天保十二年歿ス

(一三八) 郭子儀圖 絹本著色 款文政九年平安紀廣成

一 幅 京都市 藤林忠太郎出品
紀廣成字ハ子憲著提東暉卷等ノ數號アリ京都市人初メ畫ヲ吳春ニ學ヒ後變格ス能ク

佛像ヲ描ク天保十三年八月歿ス

(一三九) 紅梅黃鳥圖 絹本著色 款景文

一 幅 全 柏原孫左衛門出品

(一四〇) 枇杷小禽圖 絹本著色 款景文

一 幅 大津市 村田利兵衛出品

松村景文字ハ士藻通稱要人一ニ華溪ト號ス京都人吳春ノ弟タリ畫法ヲ兄ニ受ケテ花卉翎毛ニ長ス天保十四年四月歿ス

(一四一) 睡猫圖 絹本著色 款在明

一 幅 京都市 中塚大二郎出品

原在明字ハ子德寫照ト號ス京都人在中ノ男ナリ弘化元年六月歿ス

(一四二) 松濤鶴龜圖 金地著色 款豐彦

六曲屏風一雙 全 塚本與三次出品
二曲屏風一隻

岡本豐彦字ハ子彦通稱司馬茲村澄神齋等ノ別號アリ備中人京都ニ住ス畫ヲ吳春ノ門ニ學ヒ山水花鳥ヲ能クス弘化二年七月歿ス

(一四三) 住吉眞景圖 紙本著色

二 卷 大阪市 上野理 一 出品

款欲寫墨江新樹有年逢饑年携家耕廟之海濱三季於茲慨然呼行硯處寫景終成長卷天保辛丑初夏岡田肅

序文ニ曰 寫景甚難然寫僞景多據古人粉本爲之猶易至於寫眞景直以天地萬物爲粉本非胸有雲烟手有化工者不能焉此爲最難也浪華鴻雪畫史携持兩大卷來示余曰此先

師半江翁所寫墨江真景也。願先生爲題一言。余以爲墨江之景松林而已。橋廟而已。不知半江如何著筆。不亦一大難事乎。及披覽之。首寫長街人馬往來。及雜技之場。頗有張擇端清明上河之趣。既爲可喜。其寫橋寫廟寫人物寫松竹雜樹。布置工妙。筆墨著勁。鱗有風韻。愈出愈奇。雖機杼出已。而不失倪黃矩度。豈非所謂胸有雲烟。手有化工者歟。半江舊爲我藩邸之人。多觀其畫。大抵尋常之作。不能悉其技倆。今覽如此大作。乃知其名出近世畫家絕頂。非偶然也。賞歎之餘。書其由。以還於鴻雪々々。其寶重之。庚申晚秋伊勢拙堂隱士識

(二四四) 山水圖

絹本墨畫 題 詩

一幅 神戶市 光村利藻出品

荒苔叢篠路縈回。繞澗新栽百樹梅。花落不隨流水去。鶴飛常帶白雲來。買山自得居山趣。處世渾無濟世才。半夜月明天如洗。嘯歌行上讀書臺。此詩甚似余歸耕之况。愛吟之餘。係以補畫韻。壬寅之暮春於墨江客寓半江田肅

岡田半江名ハ肅字ハ子羽通稱字右衛門別ニ寒山獨松樓ノ號アリ大坂人米山人ノ男ナリ畫法ヲ父ニ受ケテ山水花鳥ヲ能クス弘化三年二月歿ス

(二四五) 花卉果疏圖

絹本著色

一卷 京都市藤原忠一郎寄付 本館藏

欸春翠兄索余作長卷。或花卉。或菓蔬。皆不構思。隨手成焉。不復自問工拙。其中位置。偶有從無意得來者。兄應發一嘆。甲申秋八月春琴居士選

跋文ニ曰 昔人有作畫自愛惜不肯與人。又有斬其筆不浪作。是以人爲不及知吾之苦心焉而已。若有真會意。領趣如愛己之畫者乎。是乃不如與衆共之辨也。故爲知已作。往々得合作。如此卷乃是也。甲寅梅月摘芸人苞識

浦上春琴名ハ選字ハ十千別ニ睡庵ト號ス備前人玉堂男ナリ元明ノ古蹟ヲ學テ山水花卉ヲ能クス京都ニ住シ弘化三年五月歿ス

(二四六) 餅搗圖

絹本著色 欸不染居爲一筆 雜麻呂贊

一幅 大阪市 住友吉左衛門出品

贊ニ曰 若う成りし顔見る春に移るとて餅は鏡にとらせけるかな 雜麻呂
爲飾北齋幼名時太郎後鐵藏ト改ム江戸人初メ勝川春章ノ門ニ入り春朗ト號ス後自ラ一家ノ風ヲナシ風俗人物ヲ描クニ工ミナリ辰政雷斗爲一己老人畫狂人等其他數號アリ嘉永二年四月歿ス

(二四七) 拒霜鴛鴦圖

絹本著色 欸竹洞山人寫

一幅 京都市 柏原孫左衛門出品

(二四八) 蓮鷺圖 絹本墨畫 欸戊子孟秋竹洞山人成昌寫
中林竹洞名ハ成昌字ハ伯明沖澹太原菴等ノ別號アリ尾張人京都ニ住ス初メ畫ヲ宮崎筠圃ニ學ヒ後一家ヲナス嘉永六年三月歿ス

(二四九) 菊花鴉圖

絹本著色 欸辛亥仲秋寫椿山彌

一幅 武藏北豐島郡吉田丹次郎出品

(一五〇) 花卉群猫圖

絹本着色

款戊申春臨宋人之本椿獨

一幅

駿河鳴田町

森

淑出品

(一五一) 菊花小禽圖

絹本着色

款未覺秋容寂猶存晚節香椿生獨

一幅

全

秋野雅太郎出品

椿椿山名ハ彌字ハ篤甫通稱仲太琢華堂休巷等ノ別號アリ江戸人畫ヲ渡邊華山ノ門ニ學ヒ花卉鳥獸ヲ能クス安政元年九月歿ス

(一五二) 四季百花圖

絹本着色

款丙申小春寫梅逸亮

一幅

京都市

市田理八出品

(一五三) 草花胡蝶圖

絹本着色

款辛亥孟秋寫于覺水館居梅逸老人死

一幅

全

藤林忠太郎出品

山本梅逸名ハ亮字ハ明卿尾張名古屋人京都ニ住ス元明ノ畫蹟ヲ學ンテ自ラ一家ヲナス安政四年一月歿ス

(一五四) 江畔月夜圖

絹本着色

款廣重筆

一幅

京都市

本間七曹出品

安藤廣重名ハ元長通稱十右衛門後德兵衛ト改ム一立齋ト號ス德川幕府ノ同心タリ性畫ヲ好ミ歌川豐廣ノ門ニ入ル近世浮世繪ノ名手ナリ安政五年九月歿ス

(一五五) 婚怪草紙

絹本着色

箱書付三曰一蕙筆(花押)

一卷

京都市

熊谷直之出品

浮田一蕙初名ハ公信後ニ可爲ト改ム通稱内藏允京都人畫法ヲ田中訥言ニ學フ安政六年十一月歿ス

(一五六) 今昔物語大江定基圖

絹本著色

款藏人所業正六位下式部省大錄原朝臣爲恭圖之一

一幅

東京帝室博物館出品

(一五七) 大和舞圖

絹本着色

款藏人所業關白直胤從五位下行式部少丞菅原朝臣圖

一幅

京都市

清水半兵衛出品

岡田爲恭初メ冷泉三郎ト稱ス從五位下近江守ニ叙任ス土佐派ノ畫風ヲ能クシ又有職故實ニ通ス文久三年五月大和ニ於テ暗殺サル

(一五八) 芙蓉小禽圖

絹本着色

款清暉

一幅

全

中村半兵衛出品

横山清暉字ハ成文又字ハ奇文通稱主馬別ニ霞城ト號ス京都人元治元年九月歿ス

(一五九) 雨中松鷺圖

紙本着色

款芳園

一幅

大坂市

生嶋嘉藏出品

西山芳園ハ大坂人ナリ畫ヲ松材景文ニ學ヒ花卉翎毛ヲ能クス慶應三年十一月歿ス

(一六〇) 蓮鷺圖

紙本淡彩

款壬子嘉平月畫竹溪業

一幅

京都市

新宮涼亭出品

中林竹溪名ハ成業字ハ昭父竹洞ノ男畫法ヲ父ニ受ク慶應頃ノ人ナリ

(一六一) 絲毛車倭鞍圖

絹本着色

款近江介在照

一幅

全

清水半兵衛出品

原在照字ハ子寫觀瀾ト號ス在明ノ男近江介ニ任シ後内匠少允ニ任ス明治四年十二月歿ス(原在照ノ歿年明治年間ニ係ルト雖モ此畫ノ製作ハ江戸時代ニアルヲ以テ此ニ編入ス)

○ 唐 時 代

(一) 瀑 布 圖 絹本墨畫 寺傳王摩詰筆

一幅 京都市 智積院寄託

(二) 釋迦三尊像 絹本著色 寺傳吳道子筆

一幅 京都市 東福寺出陳

(三) 楊柳觀音菩薩像 絹本著色 寺傳全上

一幅 山城愛宕郡 大德寺出陳

(四) 七祖像 絹本著色 寺傳李紳筆(內龍猛龍智二幅ハ僧空海筆)

七幅 京都市 教王護國寺出陳

東寶記ニ曰 無畏金智不空惠果一行五祖ノ影像者大師請來ノ正本也 是則李真等所圖一十鋪之隨一也 龍猛龍智二祖ノ眞影者大師於本朝被圖加之弘仁十二年所被圖畫二十六鋪隨一也云云

(五) 十六羅漢像 絹本著色 寺傳禪月大師筆

十六幅內八幅 京都市 高臺寺出陳

僧禪月名ハ貫休字ハ德隱金華蘭溪ノ人ナリ 畫ヲ能クシ又詩ヲ能クス蜀ノ王衍禮シテ大師號ヲ授ク

○宋時代

(六) 秋景雪景山水人物圖 絹本著色 寺傳徽宗皇帝筆

二幅 京都市 金地院出陳

徽宗皇帝諱ハ佶神宗ノ第十一子ニシテ哲宗ノ嗣タリ在位二十六年遂ニ金ノ五國城ニ崩ス

(七) 群介圖 絹本著色 寺傳趙昌筆

一幅 京都市 本法寺寄託

(八) 牡丹圖 絹本著色 寺傳全上

一幅 山城愛宕郡 龍光院寄託

趙昌字ハ昌之北宋廣漢人善ク花果ヲ畫キテ名一時ニ重シ

(九) 蓮鷺圖 絹本著色 寺傳徐熙筆

一幅 京都市 知恩院寄託

徐熙ハ鐘陵人世々南唐ニ仕ヘテ江南ノ名族タリ素ヨリ高雅ヲ尙ヒ花卉禽魚蝶蟬蔬菓等ヲ畫ク

(一〇) 祖調心圖 紙本墨畫 欽乾德政元八月八日西蜀石恪寫三祖調心圖 二幅 山城綾喜郡 正法寺寄託

跋文ニ曰 荀卿子以人心之危道心之微故宋之高士石恪以超逸之筆形容三祖調心之跡夫是心非以無主而爲調之可也人之一心可以載萬物而不可以有一物望焉有一物衡於其中則其物物不得不調耳而况於佛氏之心空無碍者乎而更使猛獸猙獰之心亦罷而少息哉謬之甚矣此君子托物動人營營而不得休心者深意善焉但棲神導氣所以延年吾儒固不可廢也不學魯男子之不可而欲爲柳下惠之可乎三復是卷深有感於斯圖其戒慎恐懼以益其慎獨哉 邵菴虞集伯生跋

石恪字ハ子專成都郫人ナリ張南本ヲ師トシ佛像人物ヲ畫ク詔シテ書院ノ職ヲ授ク
辭シテ就カス後蜀ニ還ル

(一一)●孔雀明王像 絹本着色 寺傳張思恭筆 一幅 山城葛野郡 仁和寺出陳

(一二)●普賢菩薩像 絹本着色 寺傳全上 一幅 京都市 眞正極樂寺寄託

(一三)●不空三藏像 絹本着色 寺傳全上 一幅 山城葛野郡 高山寺出陳

張思恭ハ世ニ宋人トシ君臺觀ニ載スレトモ其傳未タ詳ナラス

(一四)●觀音菩薩像左猿鶴圖 絹本墨畫 欸蜀僧法常謹製 三幅 山城愛宕郡 大德寺出陳

(一五)●龍虎圖 絹本墨畫 欸咸淳己巳牧溪 二幅 全

僧牧溪名ハ法常南宋咸淳年間ノ人能ク龍虎猿鶴山水樹石ヲ畫ク其畫筆ニ隨フテ成
ルト云フ

(一六)●藥山李翱禪會圖 絹本着色 欸馬公顯 一幅 京都市 南禪寺寄託

馬公顯ハ興祖ノ子弟世榮ト共ニ人物花鳥ヲ能クス紹興年間畫院待詔トナリ金帶ヲ
賜フ

(一七)●猿圖 絹本着色 寺傳毛松筆 一幅 山城愛宕郡 曼殊院寄託

添狀ニ曰 就坐主御拜任令旨謹而頂戴殊繪言拜見先以目出度奉存候向後ハ田舍相

當之御用等被仰付候之様可預御取合候仍繪一幅雜令獻之候之趣宜令洩申賜候恐々
謹言 七月十九日信玄花押 廳務法眼御房

毛松ハ沛人毛益ノ父ナリ花鳥ヲ畫キテ名アリ南宋淳祐年間ノ人

(一八)●普賢菩薩像 絹本着色 寺傳馬麟筆 一幅 山城葛野郡 妙心寺寄託

馬麟ハ遠ノ子俗ニ范癩子ト稱ス家業ヲ繼キテ畫院祇候タリ然トモ父ニ及ハス

(一九)●雞頭花圖 紙本着色 題詩 一幅 京都市 本法寺寄託

昂々殷頂迎秋日前願茂葵臨無色花間擾々空爭雄鳴能一聲天下白 舜舉

(二〇)●牡丹圖 絹本着色 寺傳錢舜舉筆 一幅 全 知恩院寄託

(二一)●童子圖 絹本着色 寺傳全上 一幅 全 高臺寺寄託

錢舜舉名ハ選玉潭巽峰等ノ數號アリ雪川人依テ自ラ雪川翁ト號ス人物花鳥ヲ能ク

(二二)●十六羅漢像 絹本着色 寺傳僧育然入宋請來 十六幅 山城葛野郡 清涼寺寄託

元享釋書ニ曰 僧育然歸朝ノ日大藏經五千四十八卷及十六羅漢畫像ヲ得來ル今現

ニ清涼寺ニ在リト蓋シ此物ナルヘシ又同寺所藏本品副本ノ裏書ニ曰 嗟峨清涼寺

羅漢像十六幅入宋僧育然所携歸之物也恐年久而漫漶因今使畫人狩野常信父子臨寫

之施裝潢以爲副本庶幾遺之於後證焉 于時元祿庚辰秋九月

○元時代

(三三)●雪中柳鷺圖

絹本著色 所傳趙仲穆筆

一 幅 京都市 伯爵大谷光瑞出品

趙雍字ハ仲穆文敏ノ子ナリ董源ヲ師トシ山水ヲ畫キ又人物花鳥ヲ能クス

(三四)●蝦蟆鐵拐兩仙像

絹本著色 印文顏輝、秋月

二 幅 山城愛宕郡 知恩寺出陳

顏輝字ハ秋月江山人專ラ道釋人物ヲ畫ク筆法奇拔ニシテ生氣アリ

(三五)●錦雞白鷗圖

絹本著色 寺傳王若水筆

二 幅 京都市 相國寺寄託

(三六)●蘆花淺水圖

絹本著色 寺傳全上

一 幅 山城葛野郡 春光院寄託

王淵字ハ若水澹軒ト號ス抗州人花鳥ハ黃筌ヲ師トシ山水ハ郭熙ヲ師トス

(三七)●夏景山水人物圖

絹本著色 寺傳胡直夫筆

一 幅 甲斐南巨摩郡久遠寺出陳

胡直夫ハ元人トシ君臺觀ニ載スト雖モ其傳未タ詳ナラス

胡直夫筆夏景山水圖ノ畫樣筆致并ニ絹ノ幅員及上下ノ印章ニ至ルマテ總テ徽宗皇帝筆秋冬山水圖ト異ナル所ナシ恐クハ一手ニ出タル四季山水圖中春景ノ分ヲ欲キタルモノナラン其徽宗タリ胡直夫タル孰レカ是ナルヲ知ラスト雖モ共ニ天山ノ印アリ足利氏ノ舊物ニシテ洵ニ希世ノ珍寶タリ

(二八)●十六羅漢像

絹本著色 款慶元府車橋石板巷陸信忠筆

十六幅 京都市 相國寺出陳

陸信忠ハ君臺觀ニ載スレトモ其傳未タ詳ナラス

(二九)●羅漢像

絹本著色 寺傳西金居士筆

一 幅 全 南禪寺寄託

西金居士ハ世ニ元人トシ君臺觀ニ載スト雖モ其傳未タ詳ナラス

(三〇)●夏冬山水圖

絹本墨畫 寺傳高然暉筆

二 幅 全 金地院寄託

高然暉モ亦元人トシ君臺觀ニ載スト雖モ其傳未タ詳ナラス或ハ曰ク宋ノ高克明字

然暉乃チ是レナリト

○明時代

(三一)●風雨山水圖

絹本淡彩 款亦僧

一 幅 京都市 桑名鐵城出品

吳亦僧其傳未タ詳ナラス或ハ曰ク元末明初ノ人ナリト

(三二)●竹石圖

絹本墨畫 印文呂氏端俊

三 幅 全 伯爵大谷光瑞出品

呂端俊其傳未タ詳ナラス畫史會要ニ曰ク明國人能ク竹ヲ畫クト

(三三)●蓮鷺圖

絹本著色 寺傳邊景昭筆

一 幅 山城愛宕郡 孤蓬菴寄託

邊文進字ハ景昭明國沙縣人宣德年間武英殿待詔タリ

(三四)●雪中花鳥圖

絹本著色 印文四明呂廷振

一 幅 全

呂紀字ハ廷振樂愚ト號ス明國鄆人初ノ邊景昭ノ筆意ヲ學ヒ後唐宋ノ古蹟ヲ臨シテ一家ヲナス畫院待詔タリ

(三五)●桃李園金谷園圖 絹本着色 款仇英實父製 二幅 京都市 知恩院寄託

(三六)●雪景山水圖 絹本墨畫 印文克正 一幅 山城愛宕郡 曼殊院寄託

(三七)●夏山觀瀑圖 紙本淡彩 款七十四翁謝時臣寫景 一幅 京都市 桑名鐵城出品

(三八)●月下鳴鳳圖 絹本墨畫 款林良 謝時臣字ハ思忠穆仙ト號ス明國蘇州人山水樹石ヲ能クシ兼テ詩文ニ長ス 一幅 京都市 相國寺寄託

(三九)●花鳥圖 絹本着色 寺傳林良筆 二幅 全 高臺寺寄託

(四〇)●鳴鶴圖 絹本着色 款泉石爲士廉作 印文文正 二幅 全 相國寺寄託

(四一)●江山漁舟圖 絹本墨畫 印文三松 文正泉石ト號ス明國人其傳未タ詳ナラス 一幅 全 南禪寺寄託

(四二)●月下蘆鴈瀑邊群鷓圖 絹本着色 款子和 二幅 山城葛野郡 東海菴寄託

(四三)●水涯游禽圖 絹本墨畫 款王一清 陳子和自ラ酒仙ト號ス明國浦城人山水花鳥ヲ畫ク 一幅 京都市 小原重雄出品

(四四)●花卉菓蔬圖 紙本着色 題 王乾字ハ一清初メ藏春ト號シ後天峯ト號ス明國臨海人能ク輕墨ヲ以テ花卉鳥蟲ヲ作ル 一卷 京都市 杉浦三郎兵衛出品

(四五)●山水圖 絹本着色 題 詩 何期興發共春行多負山中筍蕨生江水蒲團無二處三吳花雨佛前聲 立夏前一日古佛 卷作齋供寫蔬菓圖送玉鉉先生之白門並題此詩 趙之璧 趙珣初名ハ之璧字ハ十五又字ハ技斯明國莆田人ナリ 一卷 全 桑名鐵城出品

(四六)●山水圖 絹本淡彩 款宿雨乍收曉烟泮題襄陽畫蘆法無法 一 幅 京都市 公爵三條公美出品

藍瑛字ハ田叔隄叟ト號ス明國浙江人蘭竹花鳥ヲ能クシ書ハ行草八分ヲ能クス

(四七)●盧山觀瀑圖 絹本墨畫 歛飛流直下三千尺疑是銀河落九天自毫毫攝圖 一 幅 武藏荏原郡侯爵池田詮政出品

張瑞圖字ハ長公ニ水又自毫毫ト號ス明國萬曆年間ノ進士書畫ヲ能クス

(四八)山水圖 絹本墨畫 歛乙酉秋日南溟汪道昆 一 幅 駿河島田町 秋野雅太郎出品

汪道昆字ハ伯玉一字ハ玉卿南溟又大函ト號ス明國萬曆年間ノ人ナリ

(四九)●觀音菩薩像 紙本著色 歛陳賢 題替僧隱元 一 帖 山城宇治郡 松隱堂寄託

陳賢字ハ希三太玄道人又碧水ト號ス明國東甌ノ人ナリ

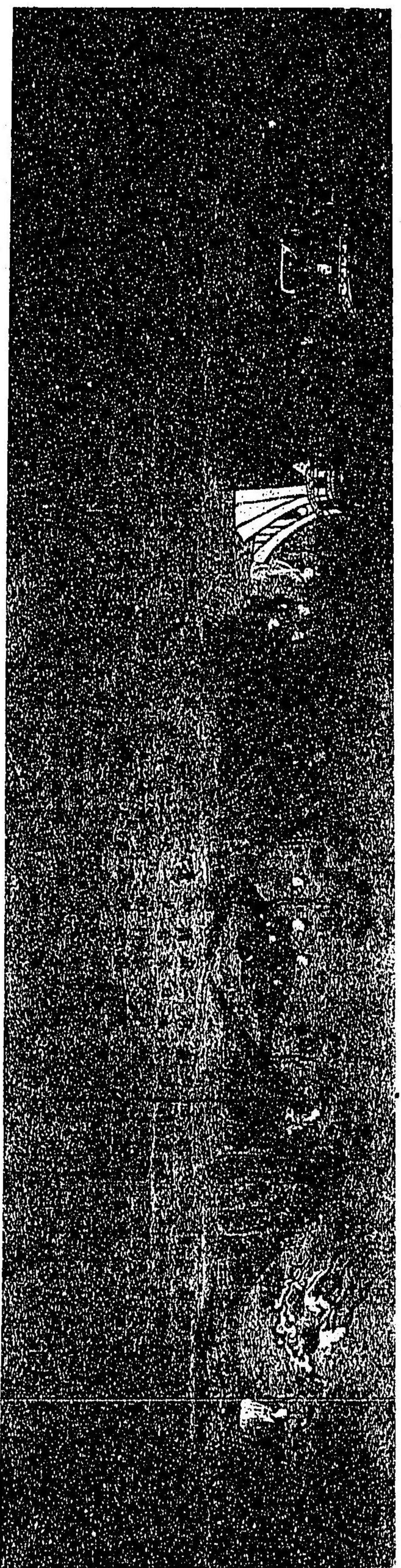
(五〇)●夏山欲雨圖 紙本墨畫 歛天啓丙寅重陽月爲夏山欲雨傲兼北苑法張宏 一 幅 京都市 建仁寺出品

張宏字ハ君度鶴澗ト號ス明國吳縣人山水ヲ畫クニ工ミナリ

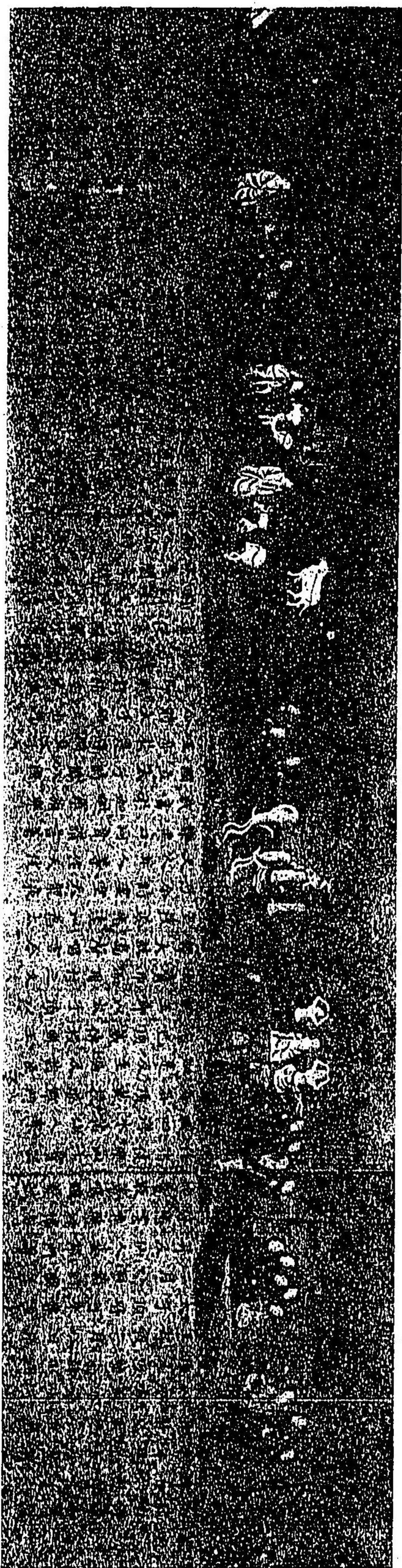


第一號 竪三尺三寸五分横一尺七寸五分

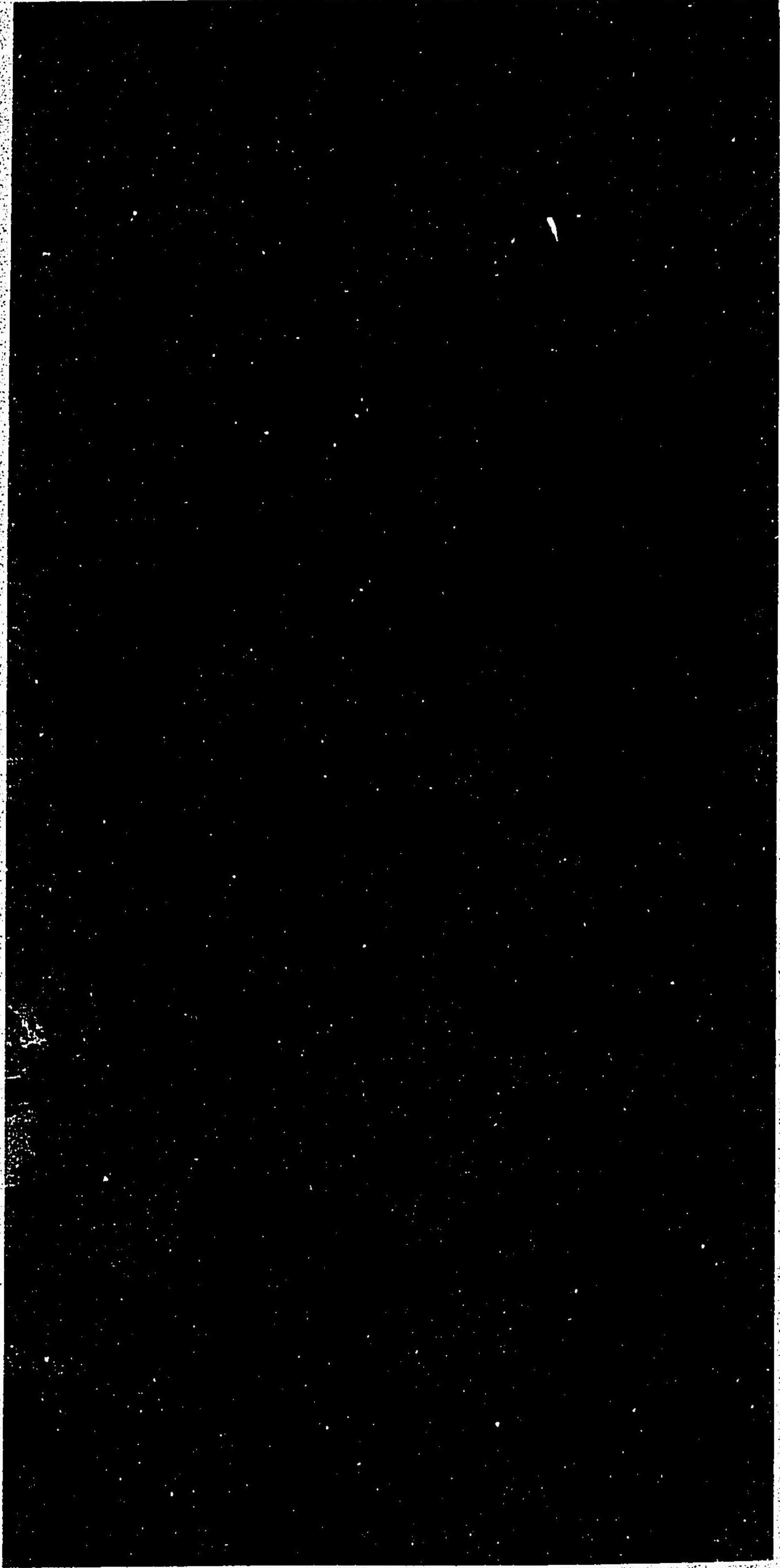
分七寸八 堅 號三第



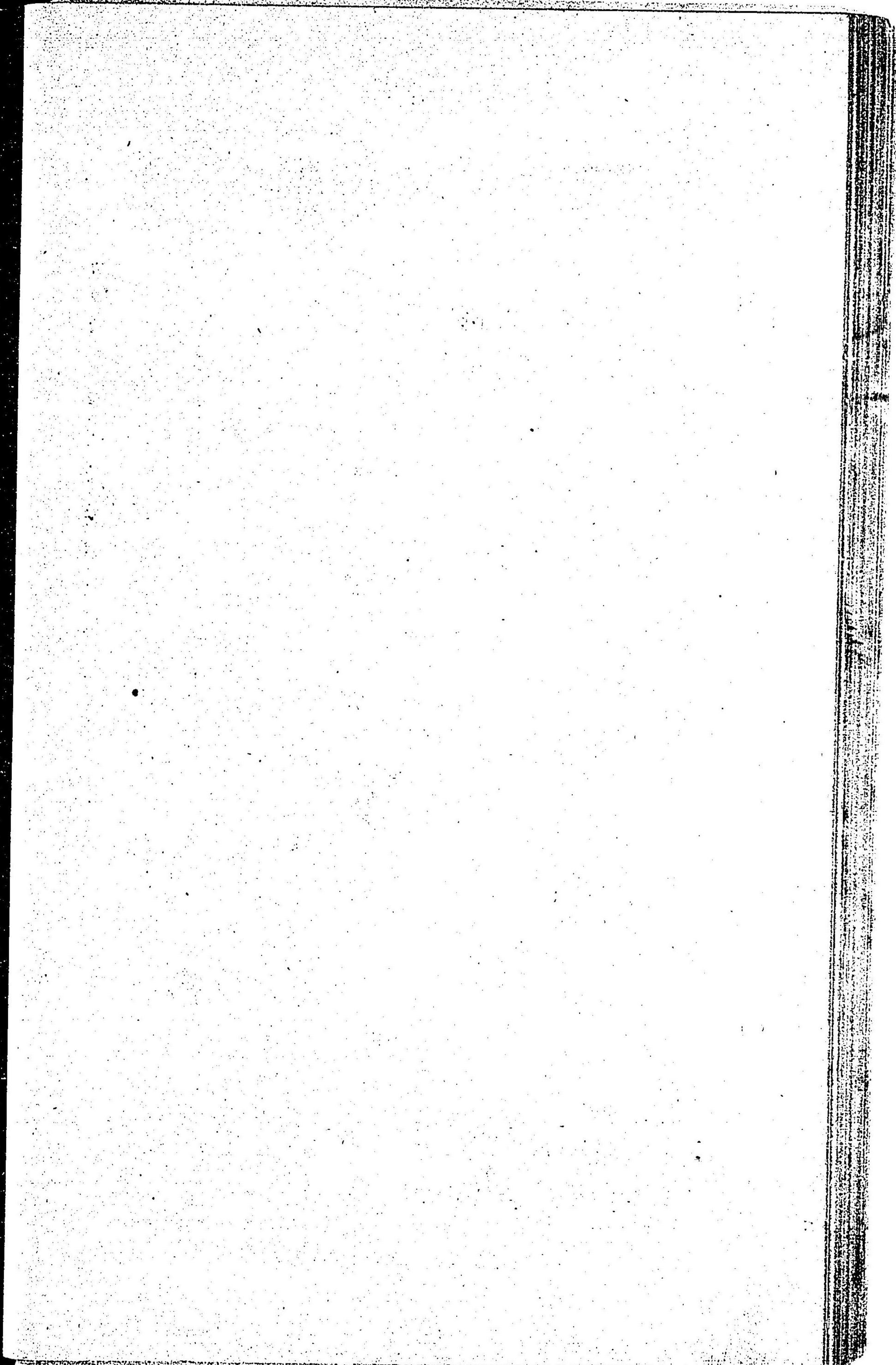
分七寸八 堅 號四第

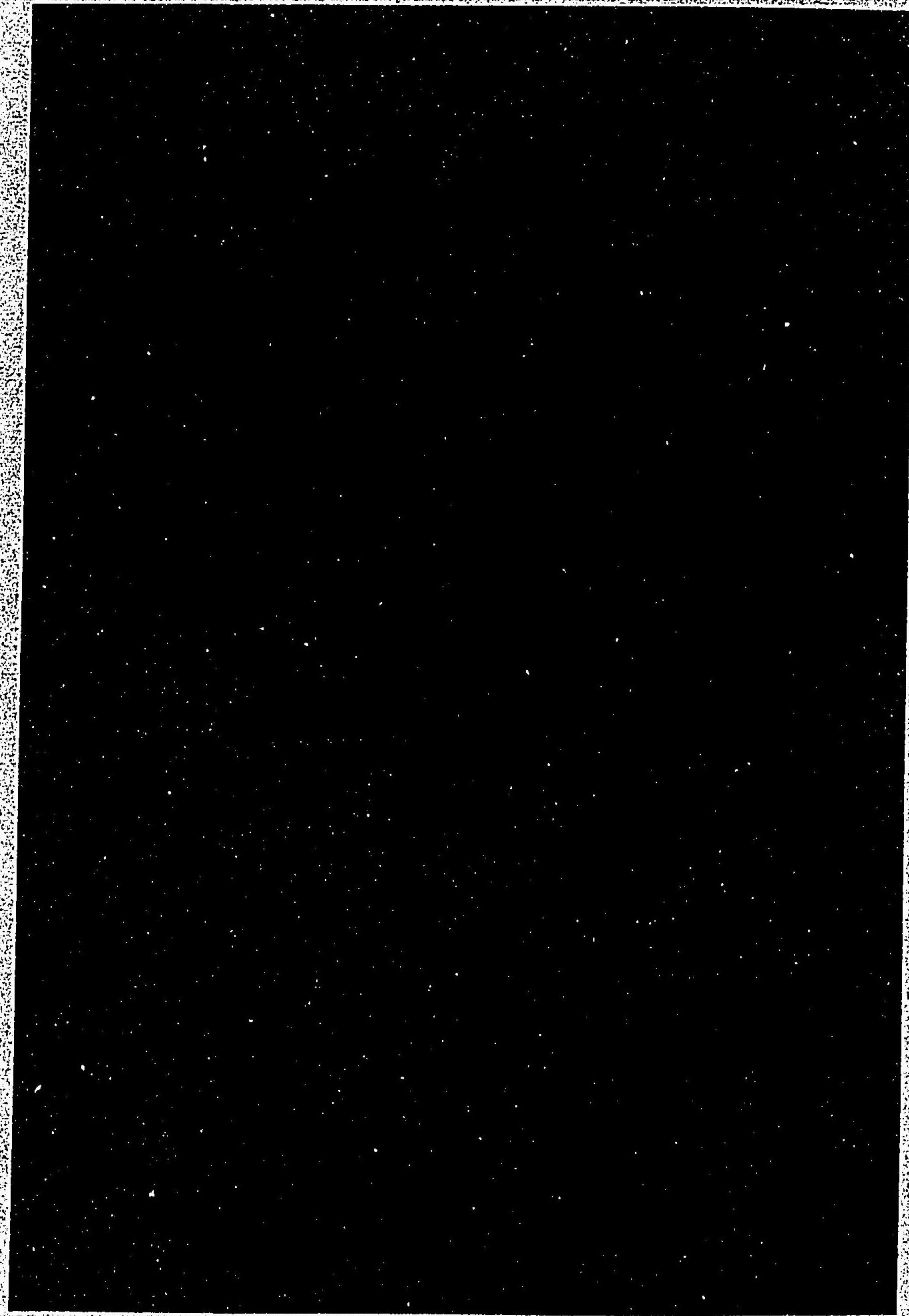


第五號 一尺七寸五分橫一尺五分



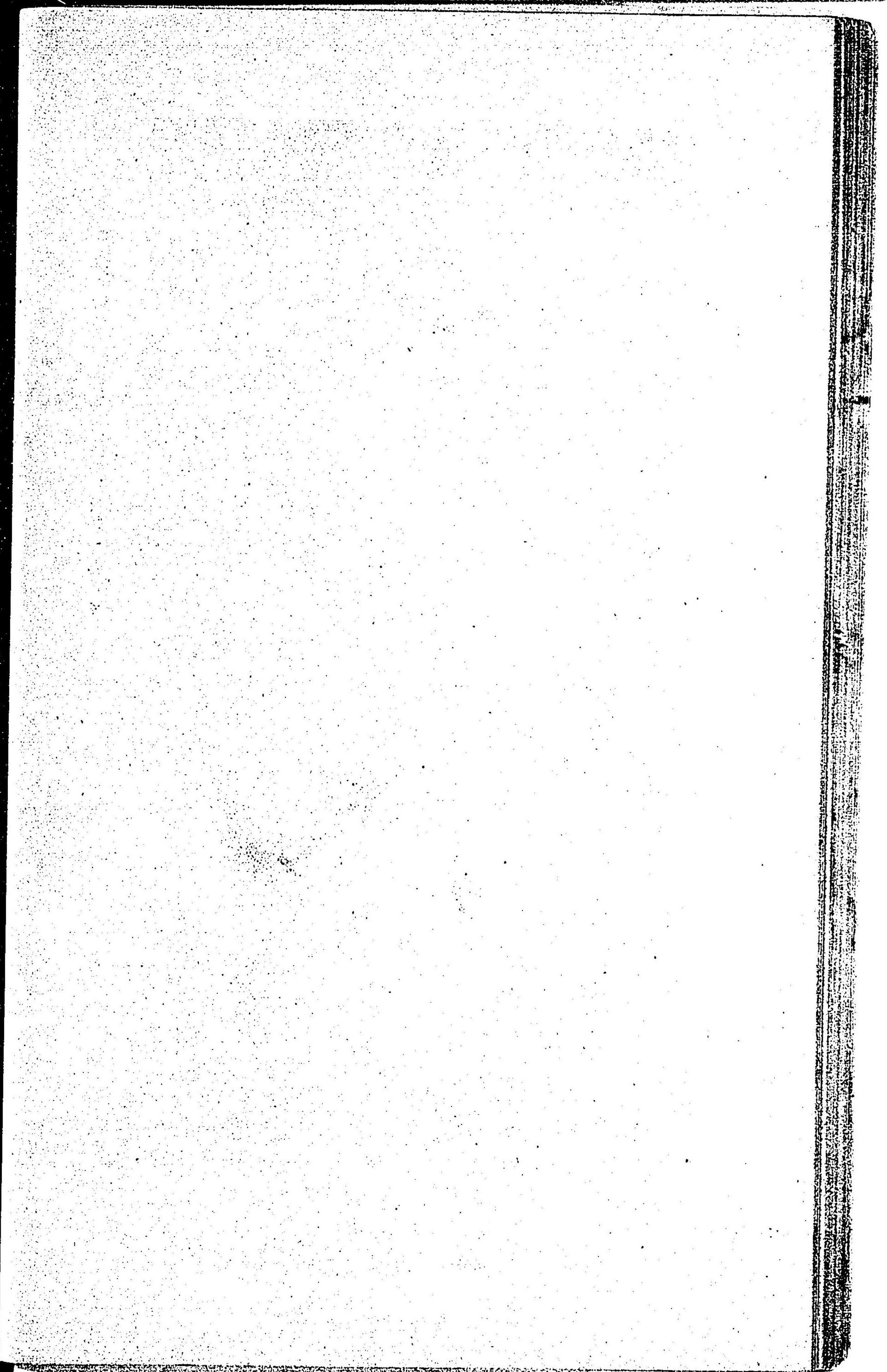
第六號 堅二尺六寸七分橫一尺四寸





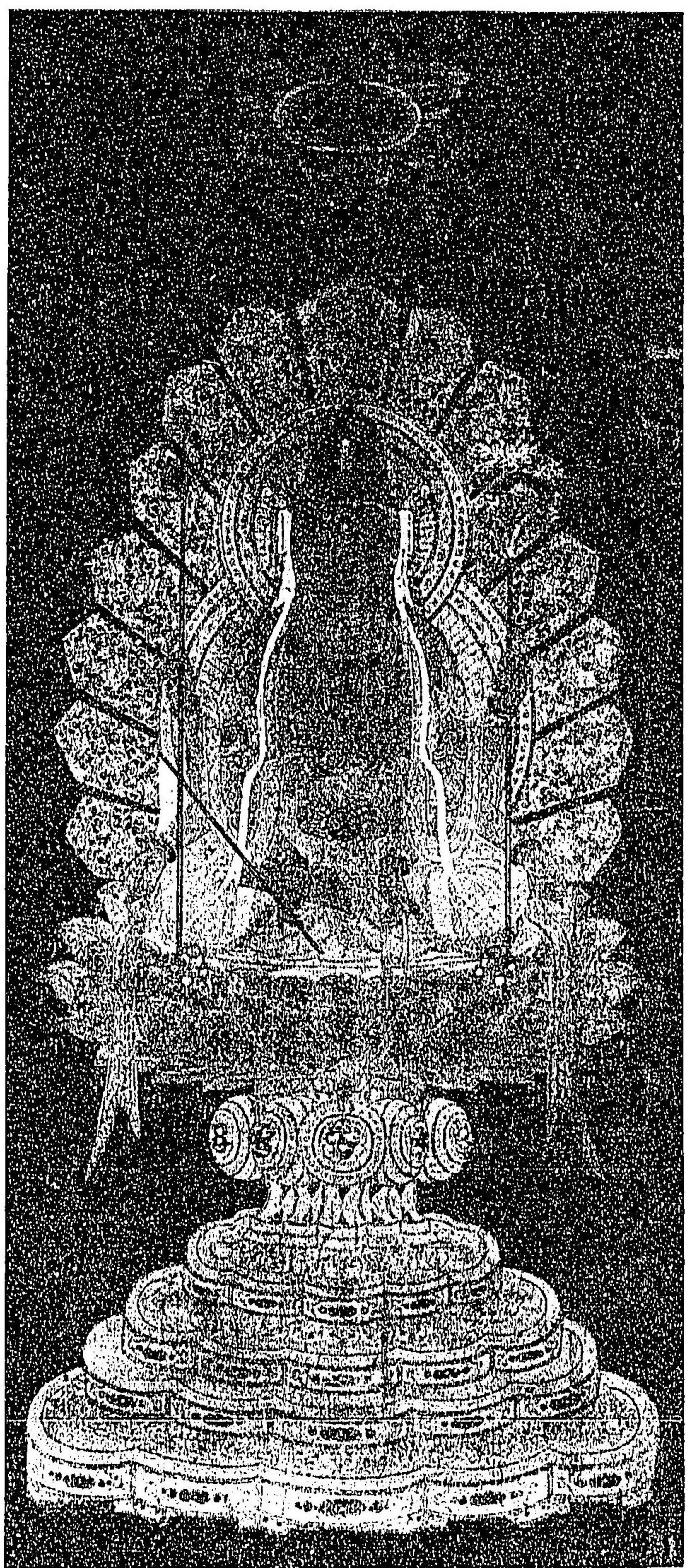
第七號二幅內

豎七尺二分橫四尺九寸八分



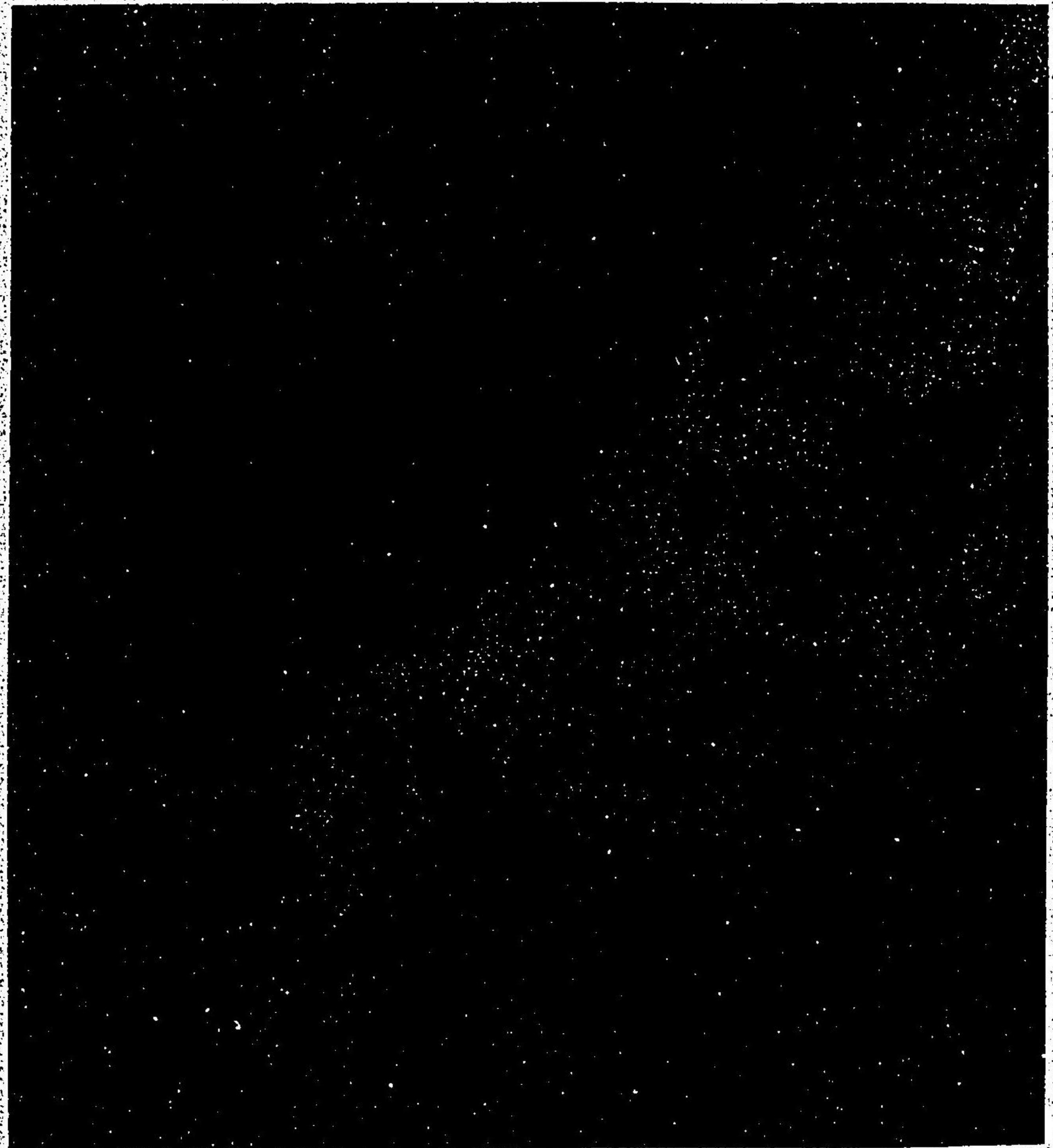
第一〇號 豎四尺八寸五分一曲橫一尺四寸一分

第一二號 豎三尺七寸三分 橫二尺八分



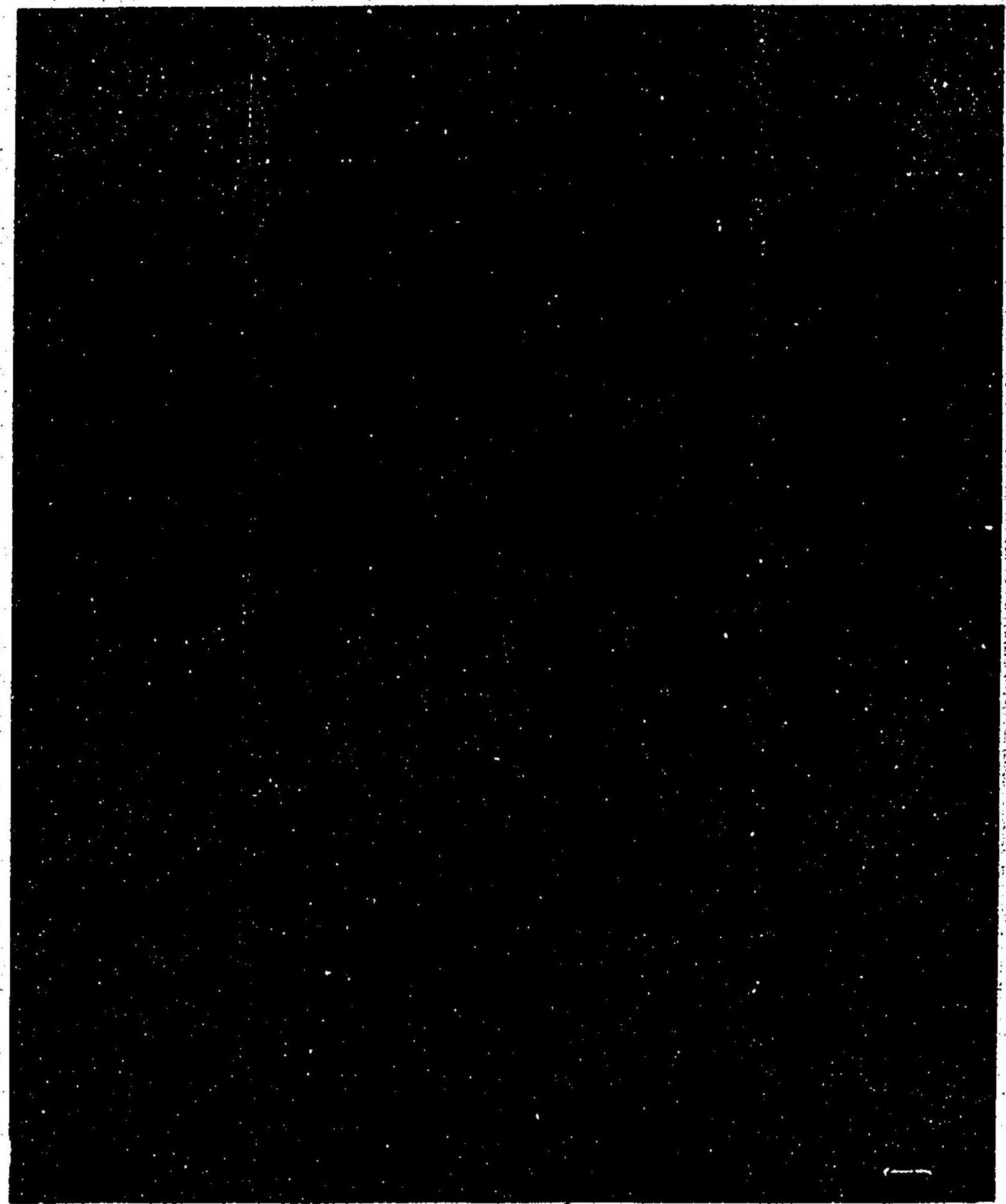
第一三號

高三尺五寸八分 橫一尺五寸七分



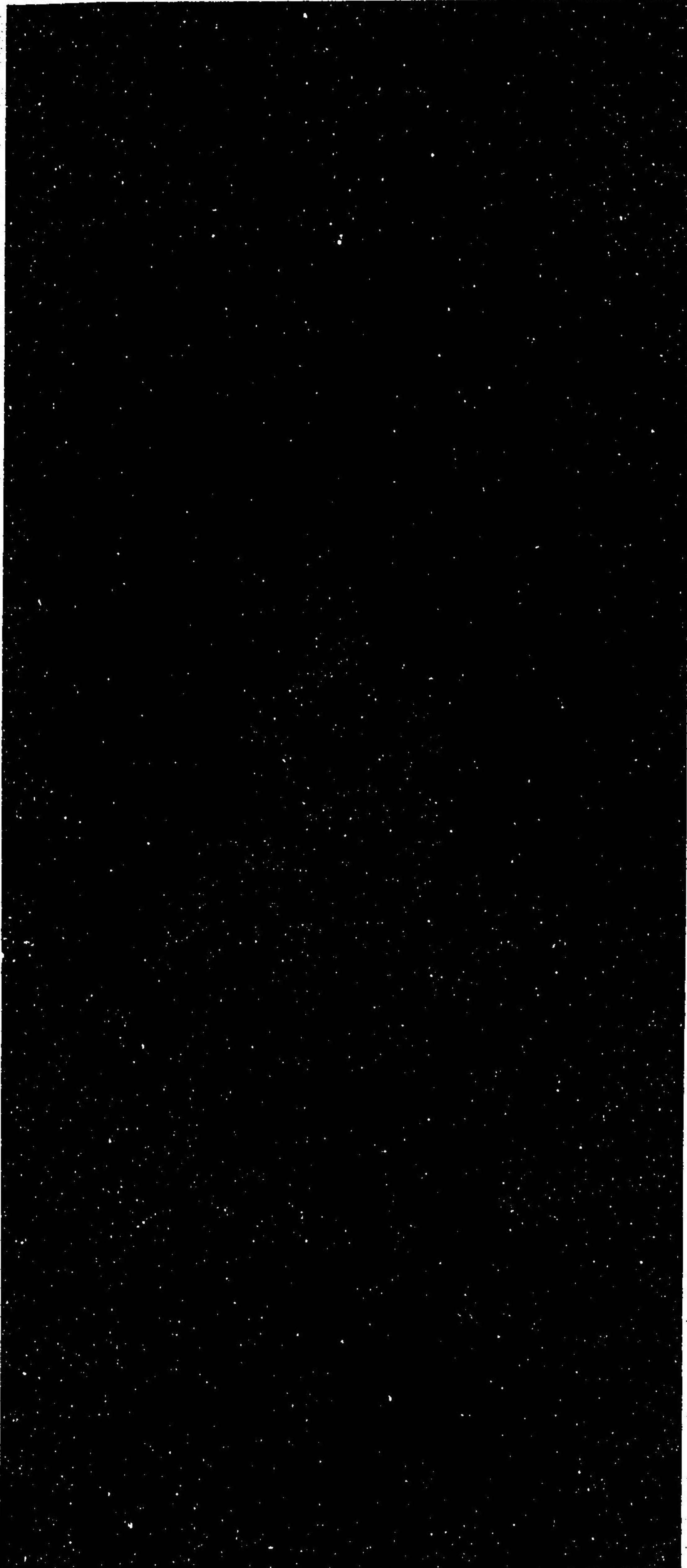
分五寸一尺五寸八尺四厘

號四一第



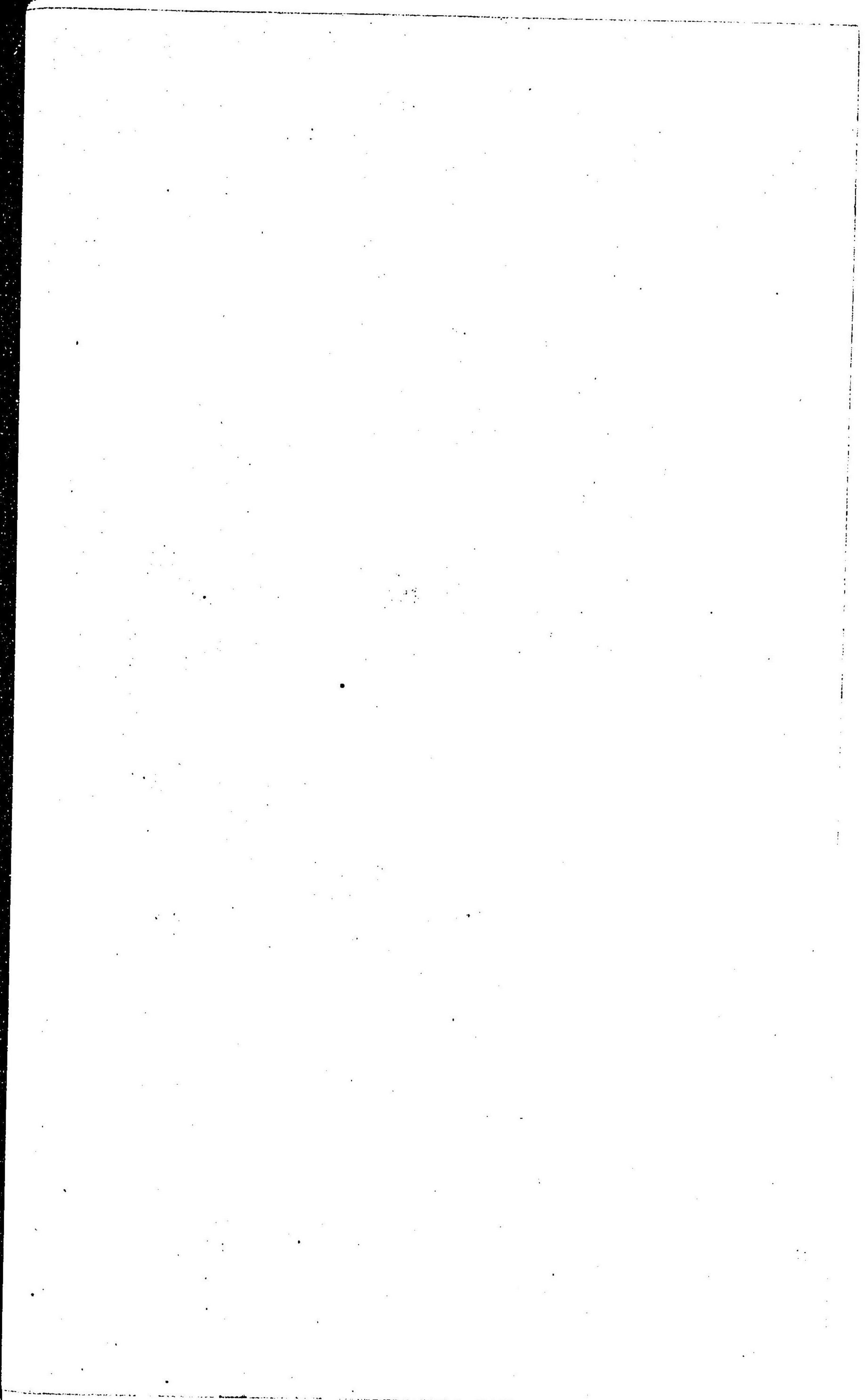
第一六號中章

堅三尺三寸橫二尺七寸三分

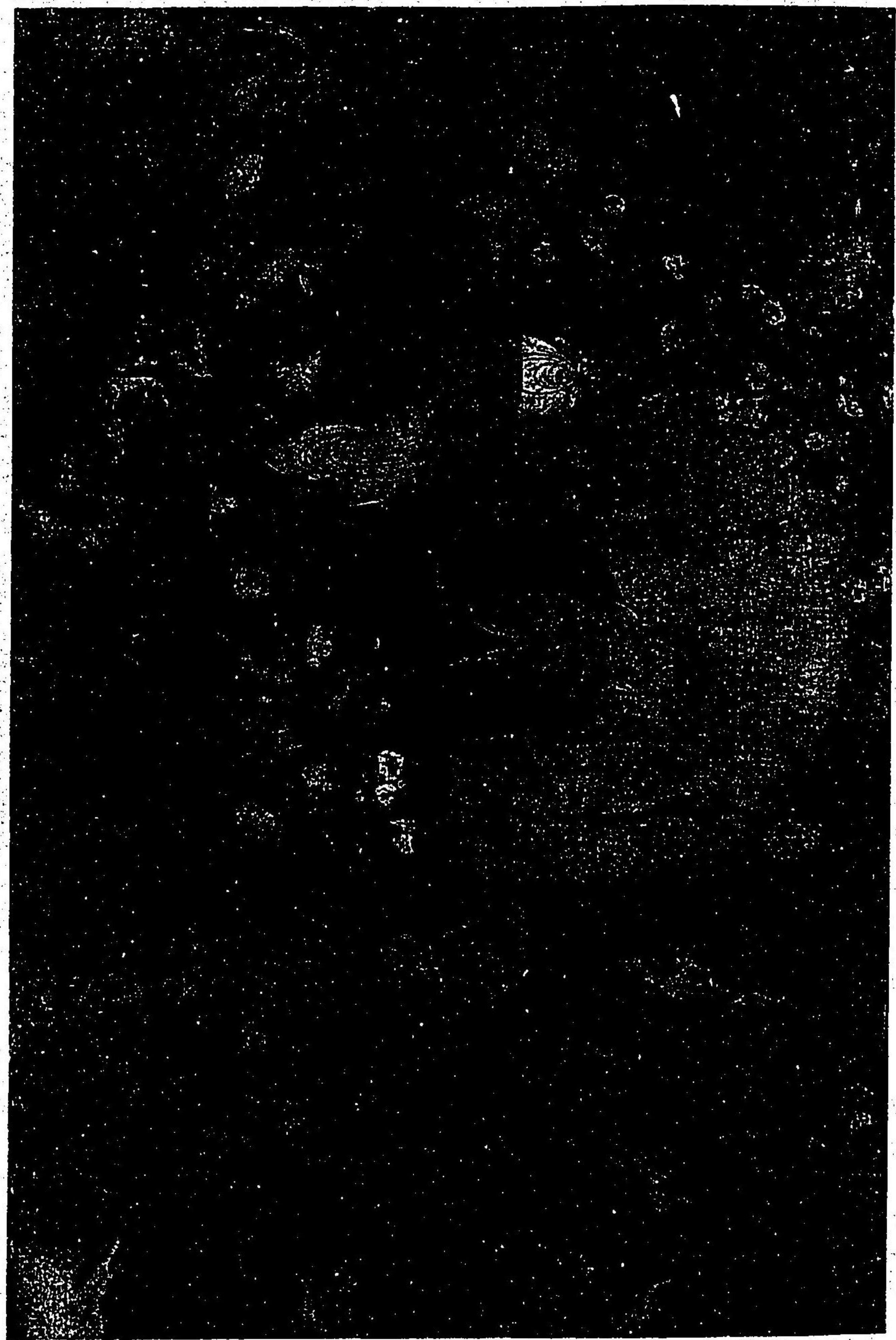


第一七號

豎二尺六寸六分橫一尺二寸四分

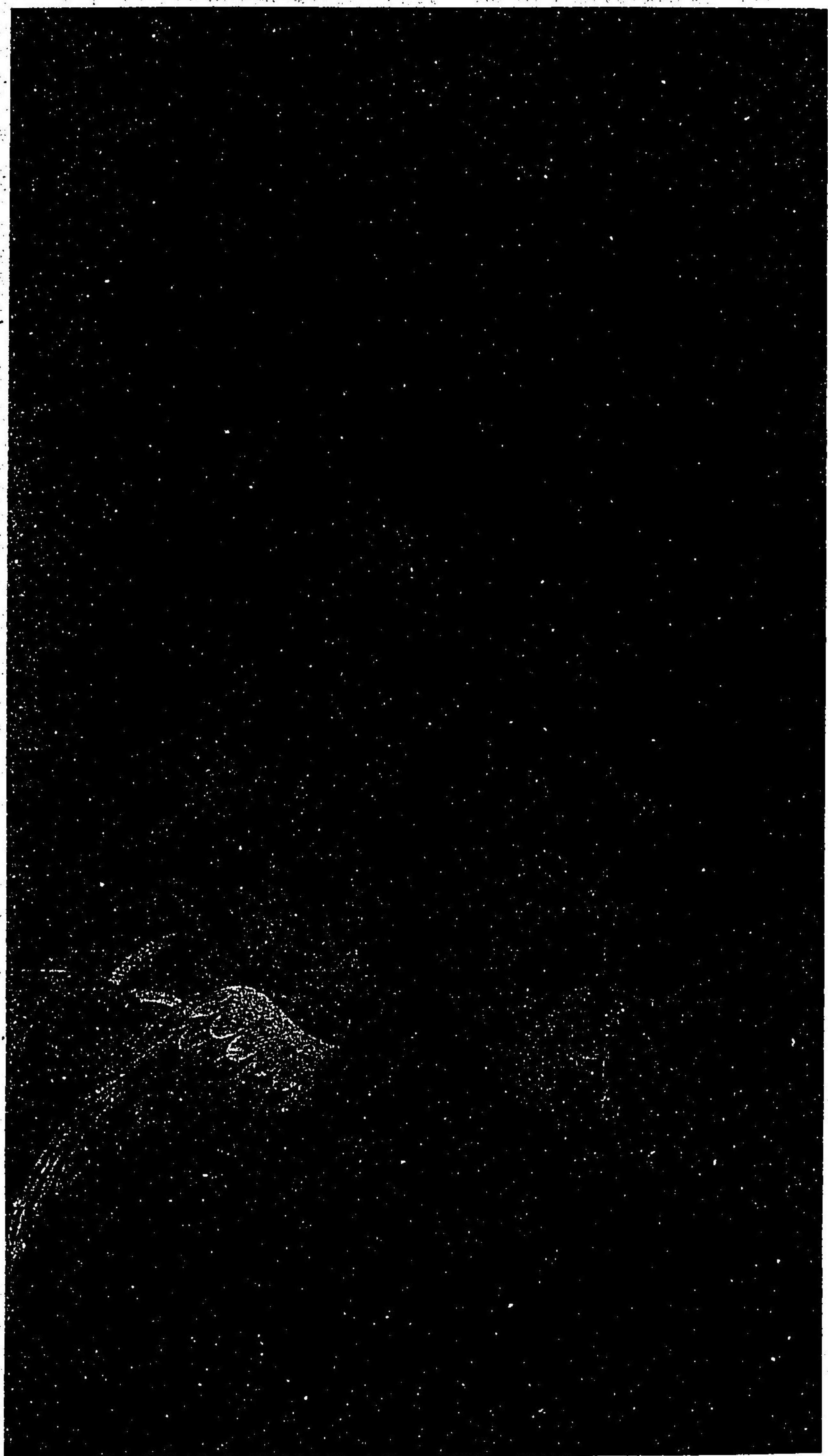


分 五 尺 一 暨 內 卷 三 號 八 一 第

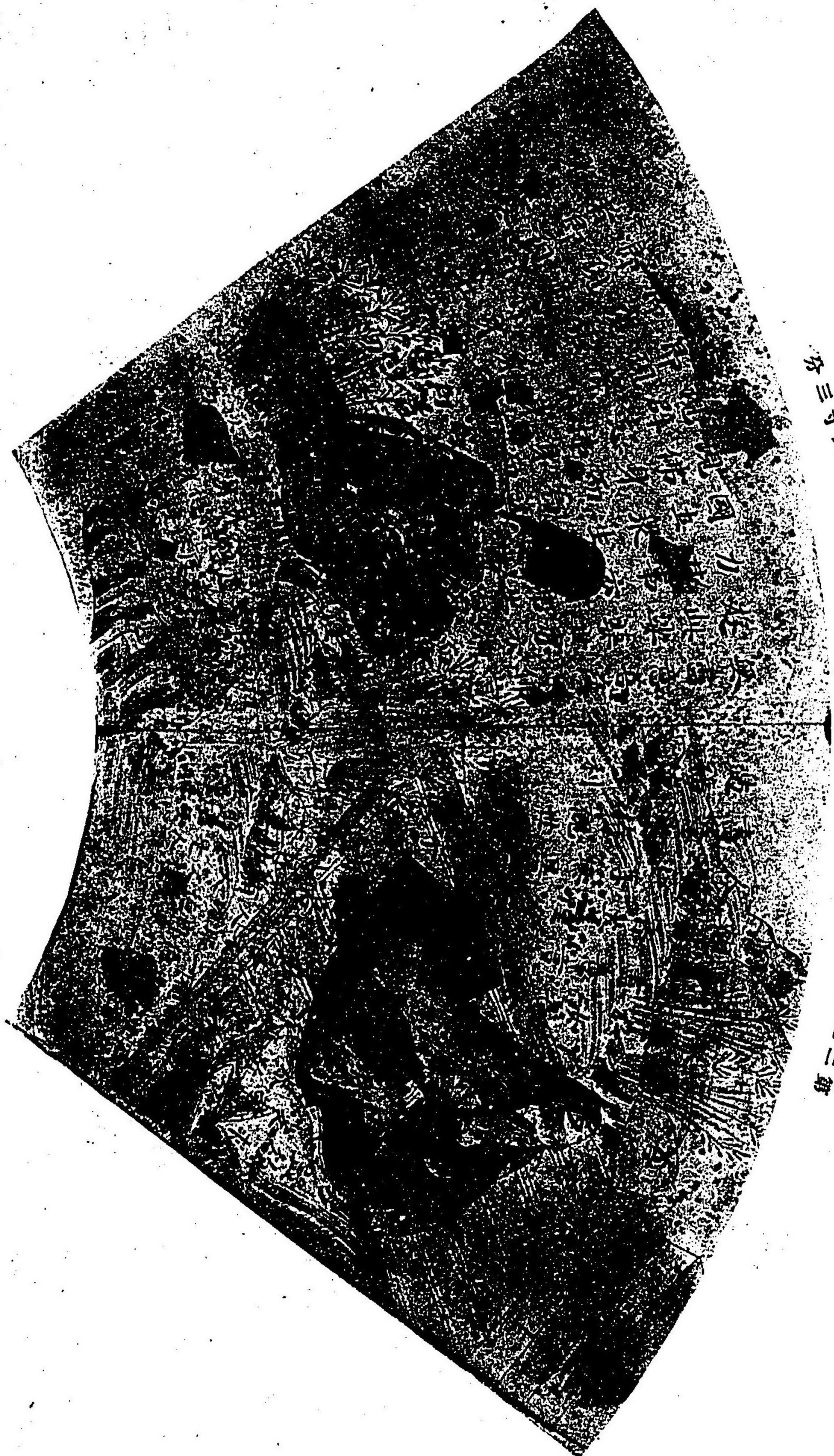


分八寸五尺七横分八寸二尺五竖

號〇二第

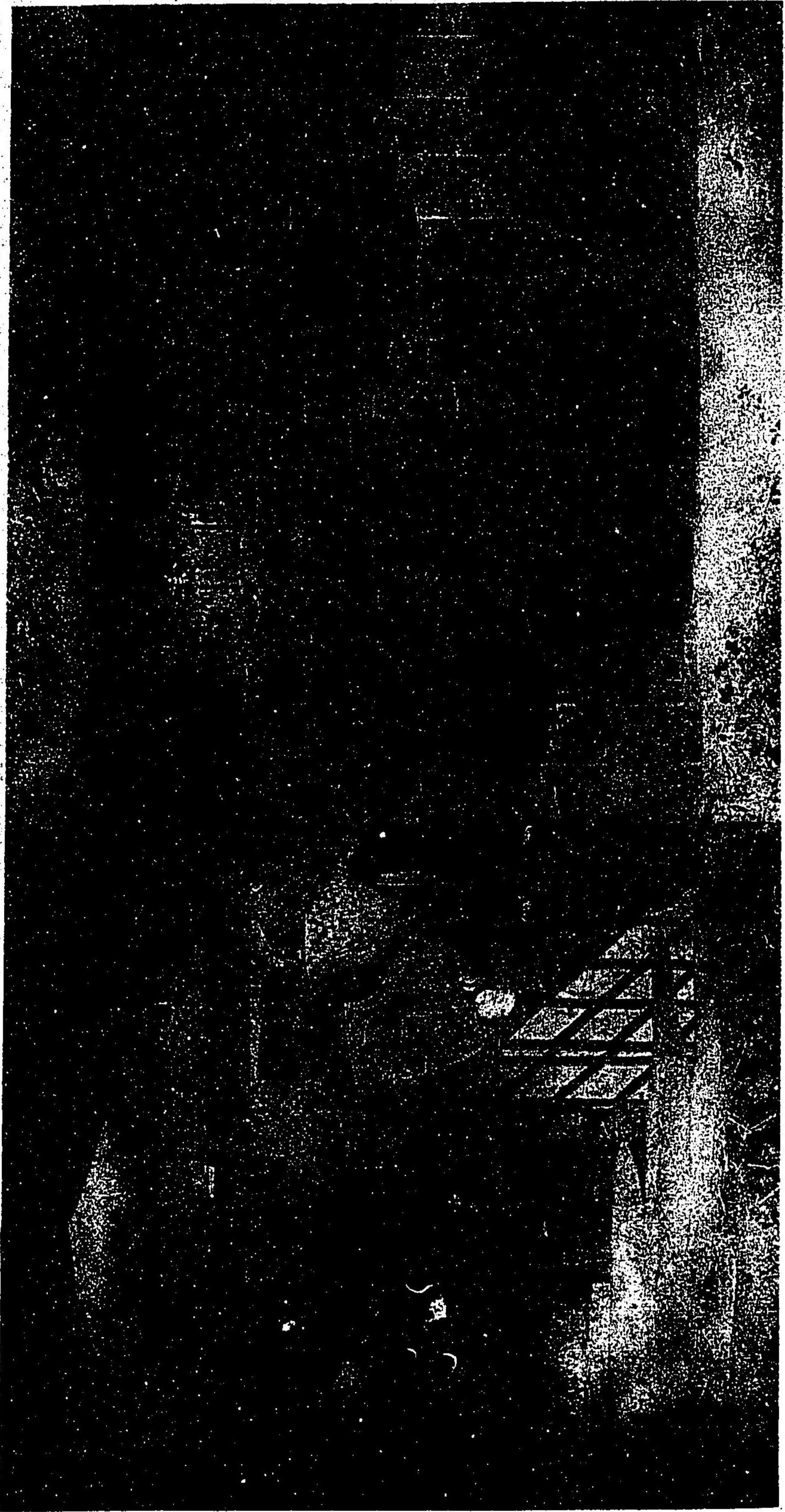


第二一號
豎三尺二寸四分橫一尺九寸五分



分三寸六一所キ区横分三寸八堅

内帖一號二二第

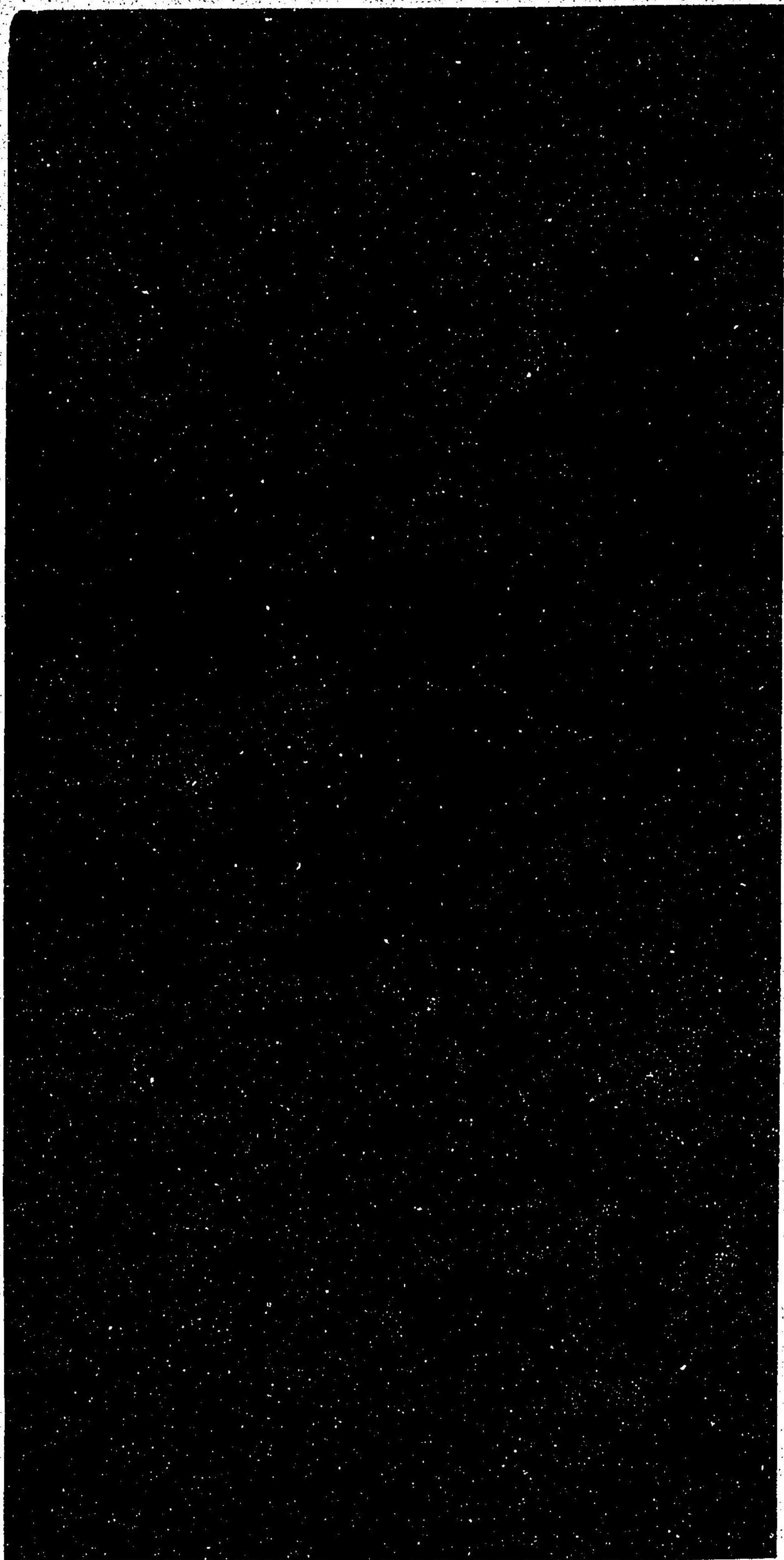


分八寸八堅 内卷十號四二第

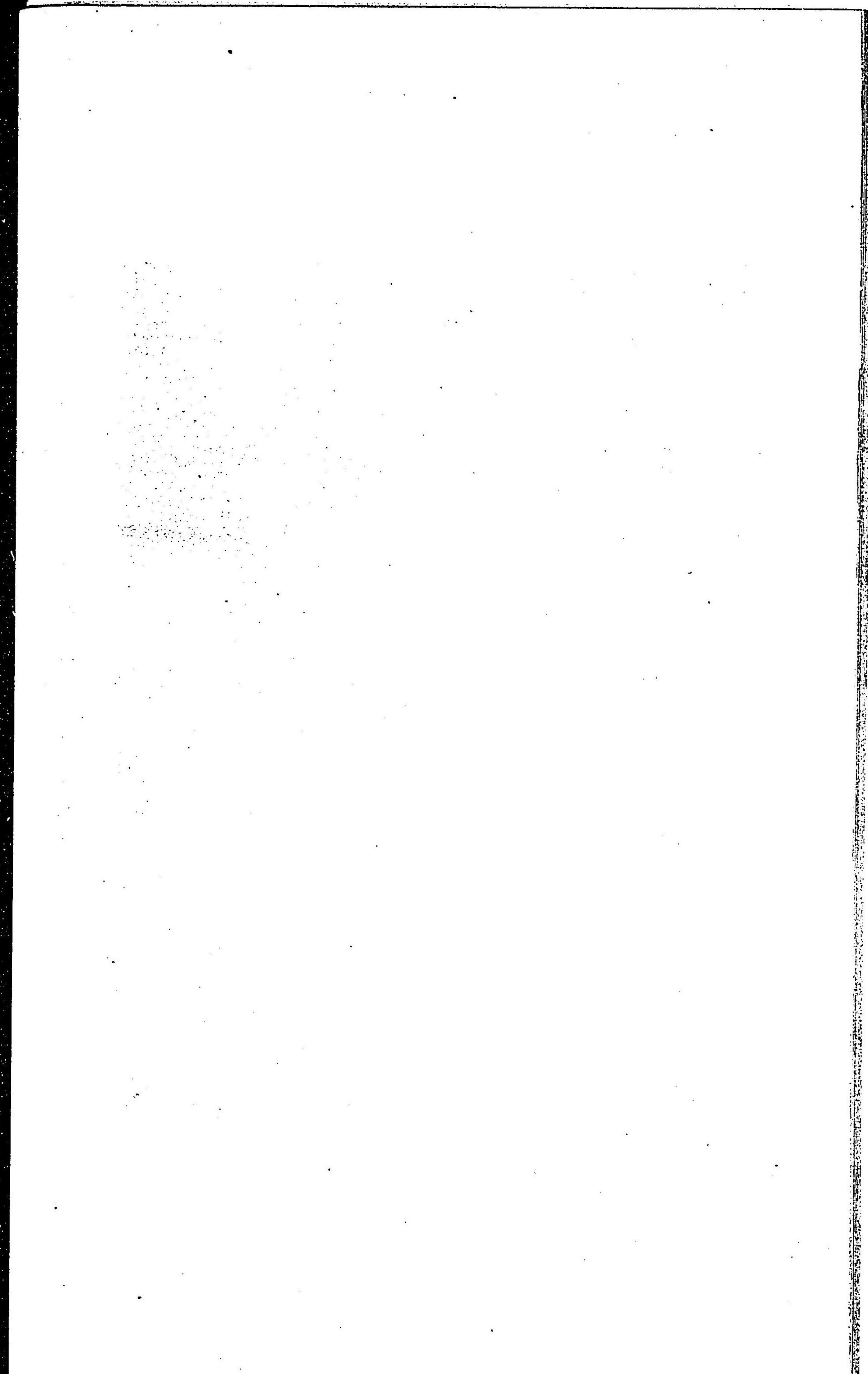


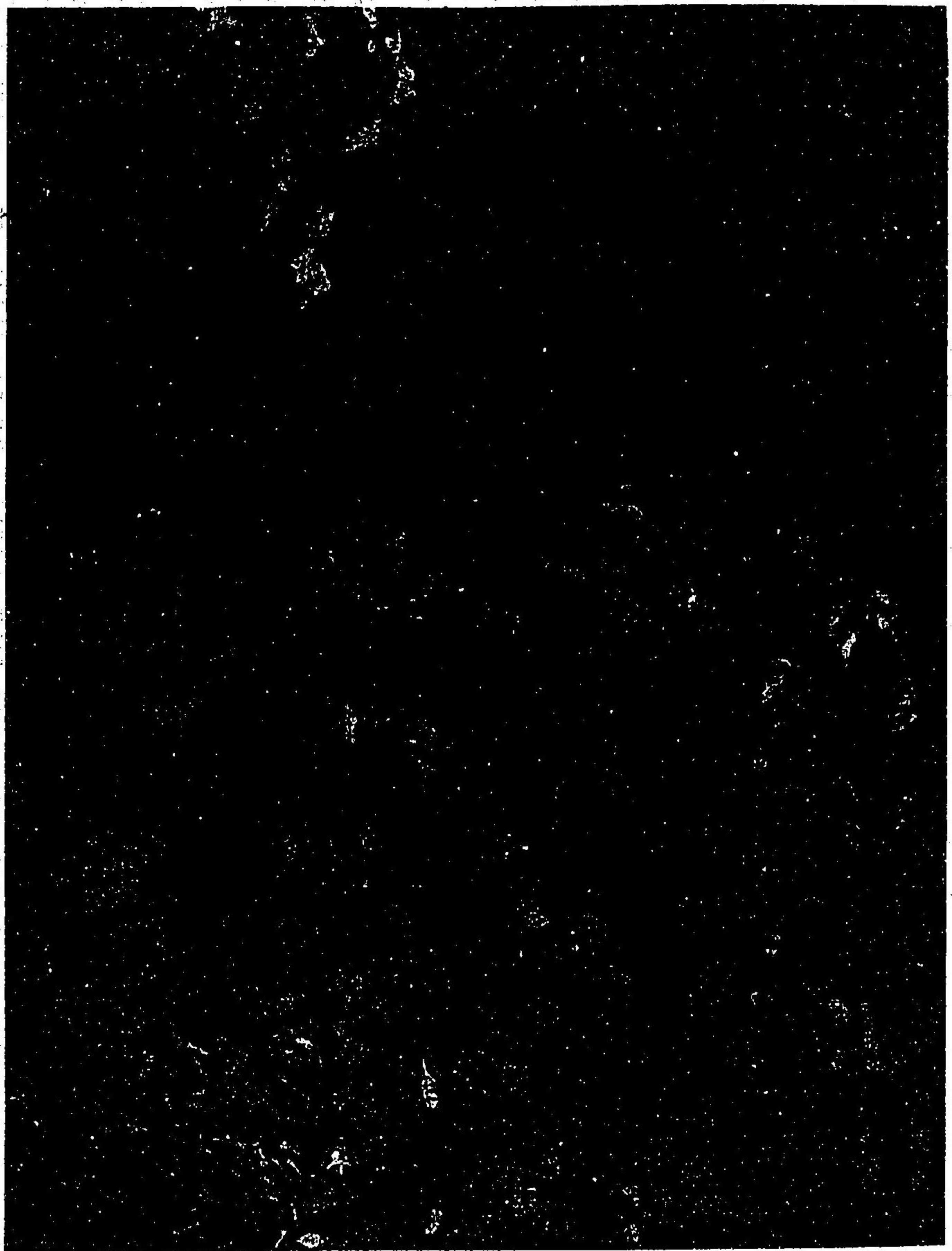
第二五號

堅四尺七寸三分橫三尺五寸三分

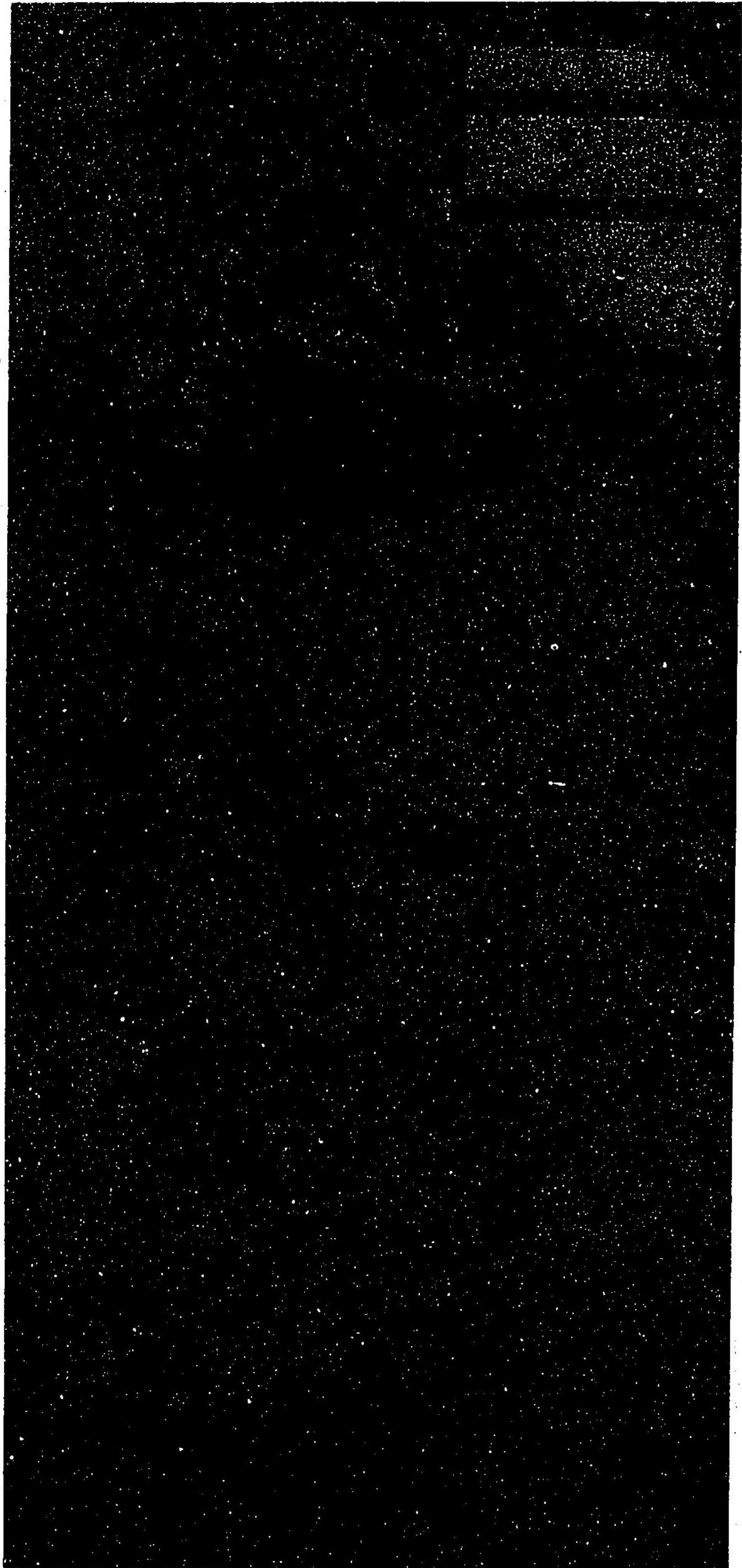


分 四 尺 一 豎 內 卷 三 號 七 二 第

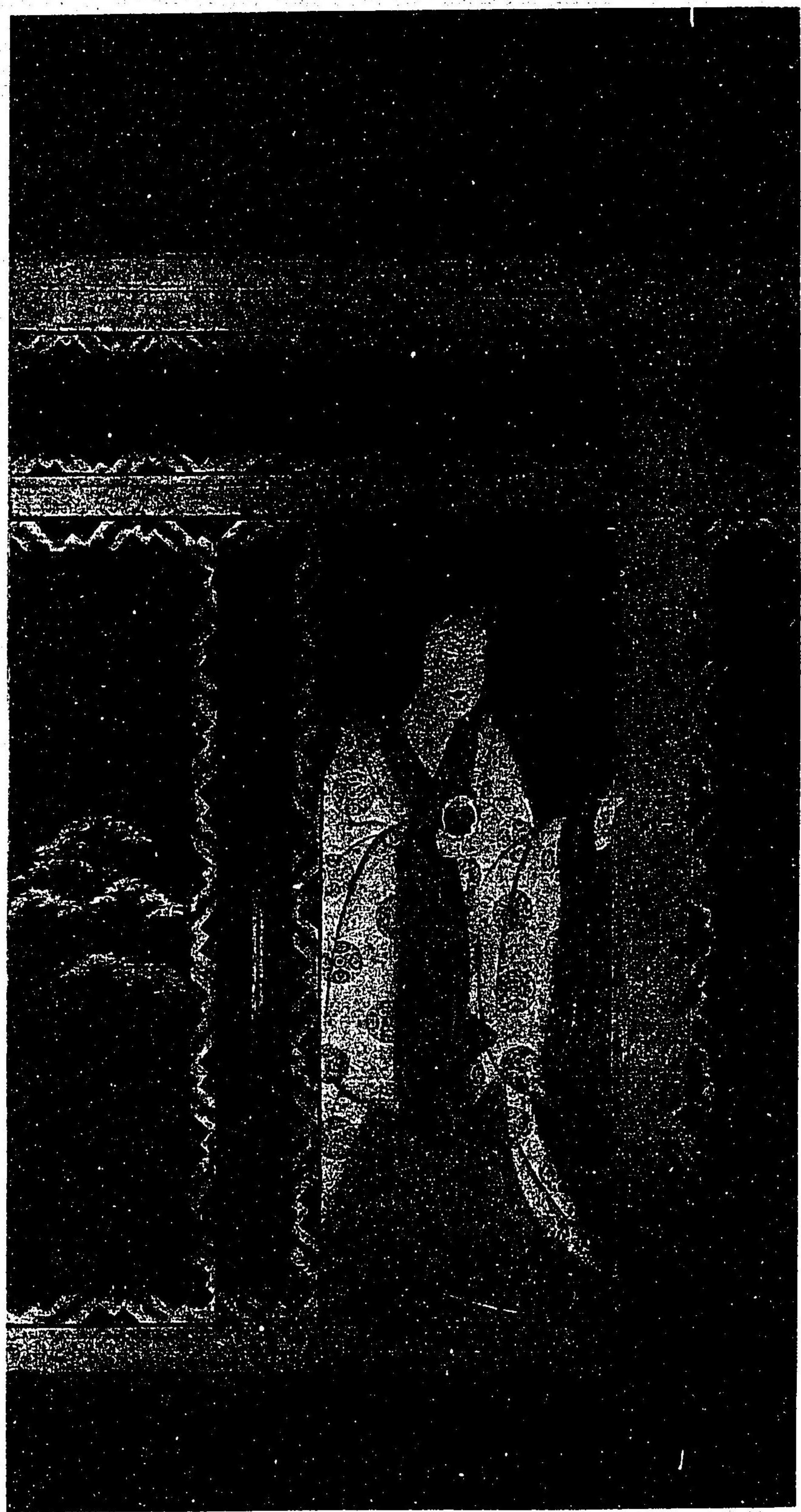




第三八號二枚內 壓三尺四寸二分橫四尺五寸一分

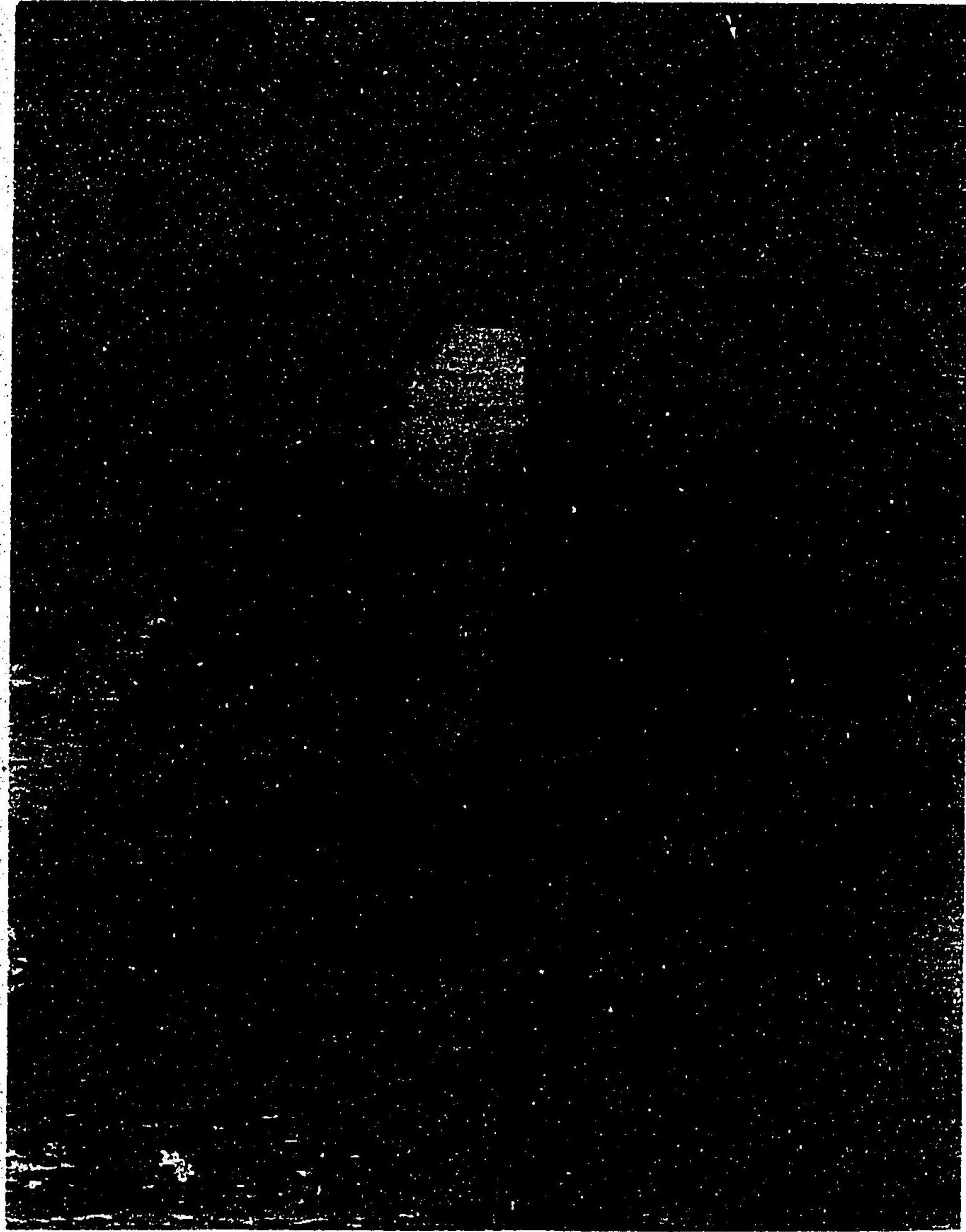


分三尺一堅 號九二第



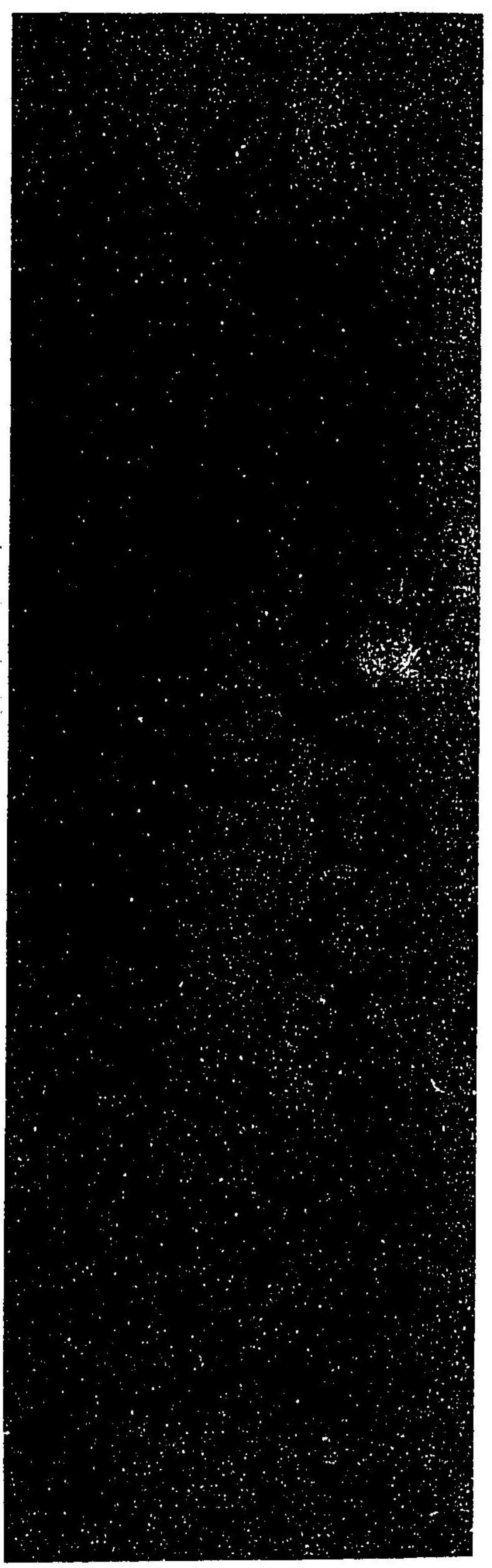
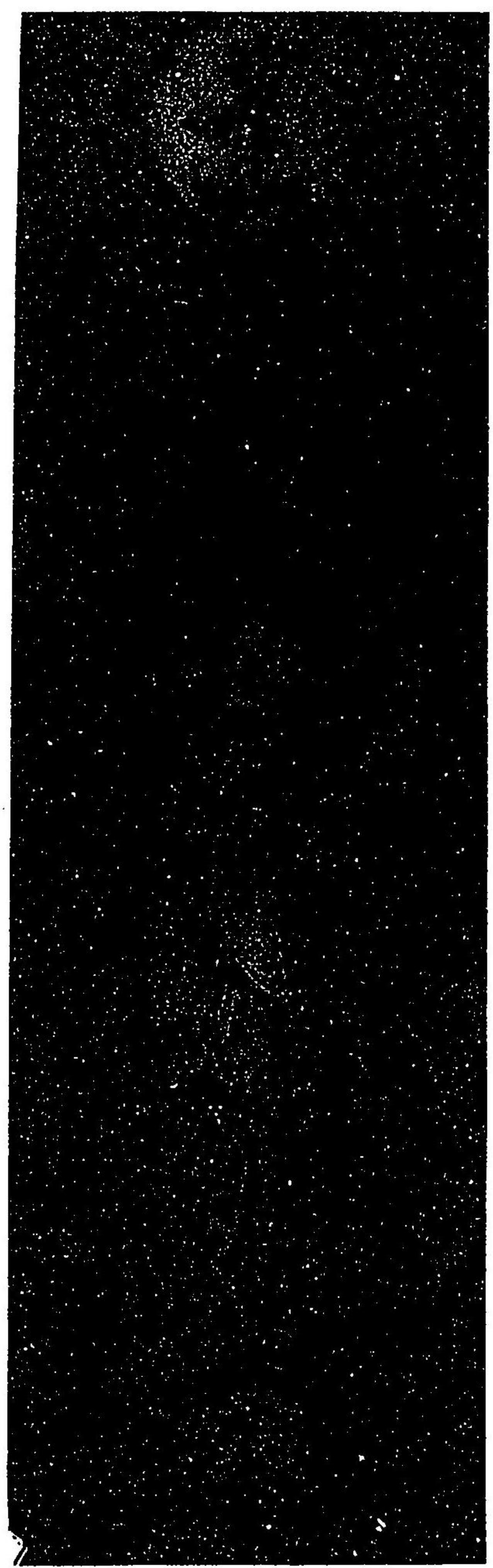
第三〇號

豎二尺七寸九分橫一尺四寸一分



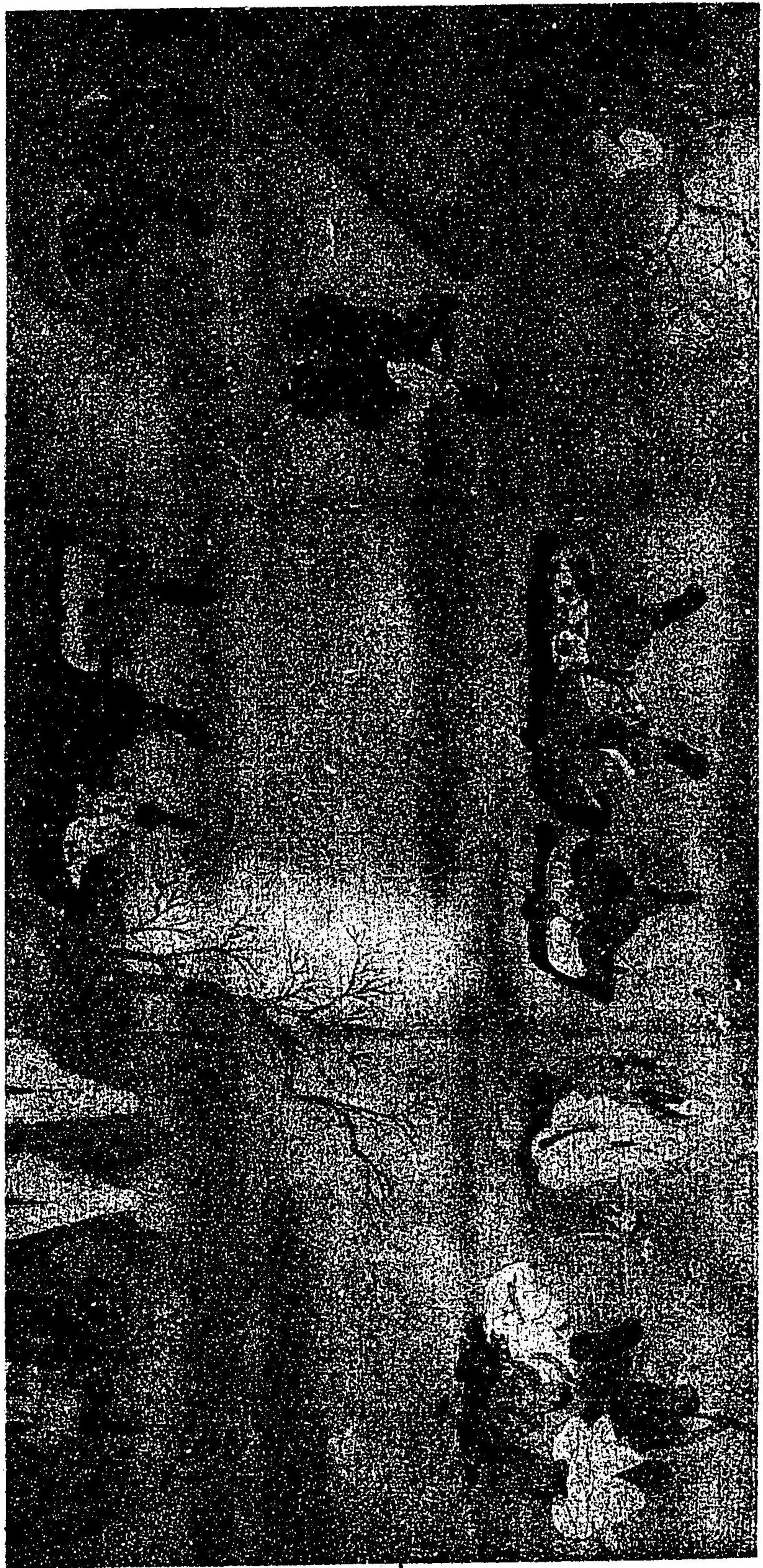
第三一號內源朝像

豎四尺六寸五分橫三尺七寸



第三二號内日天月天像

歷四尺三寸一分一曲横一尺三寸九分



寸七尺一盛

内卷九號四三第



分四尺一竖 内卷六號五三第

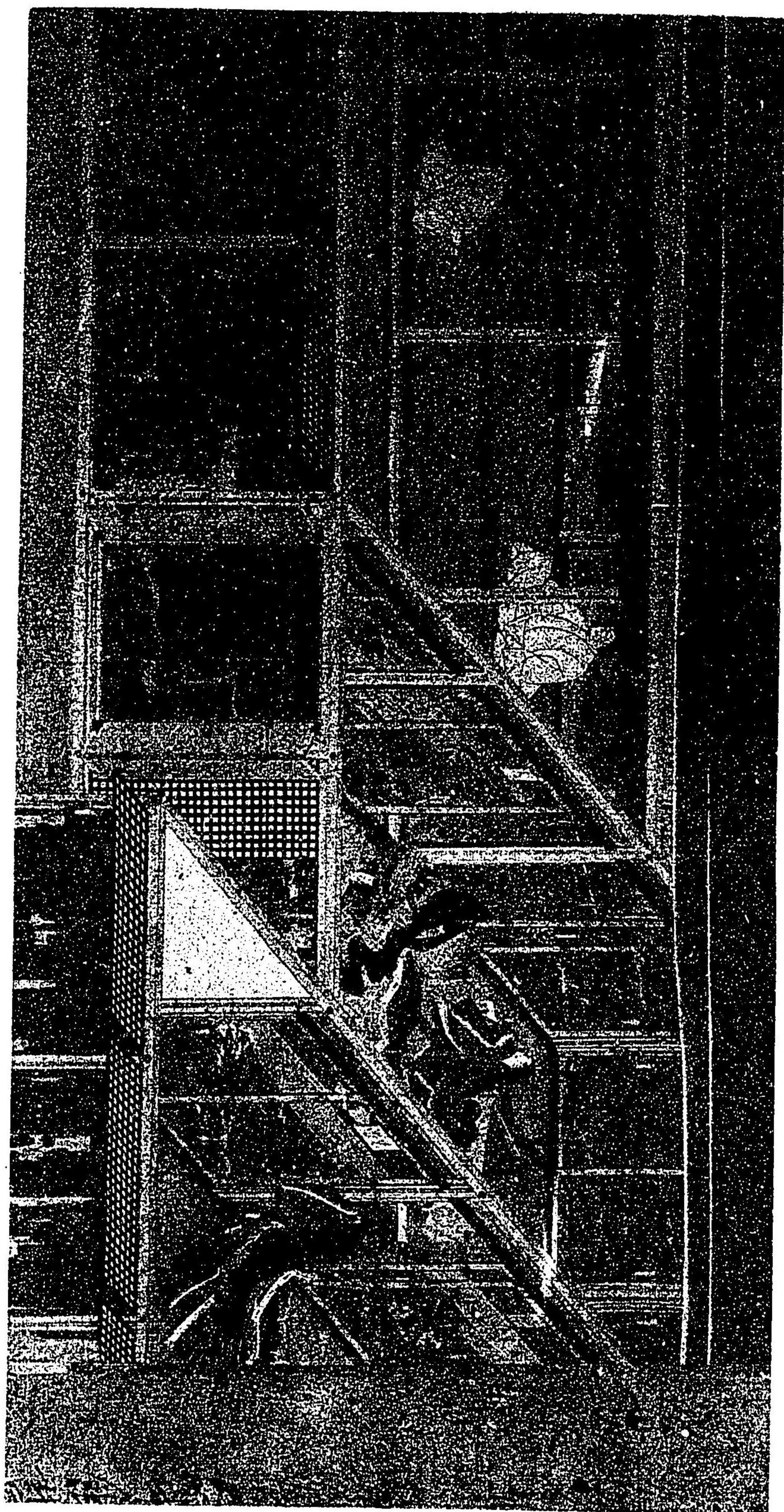


分六寸二尺一堅 内卷二十號六三第

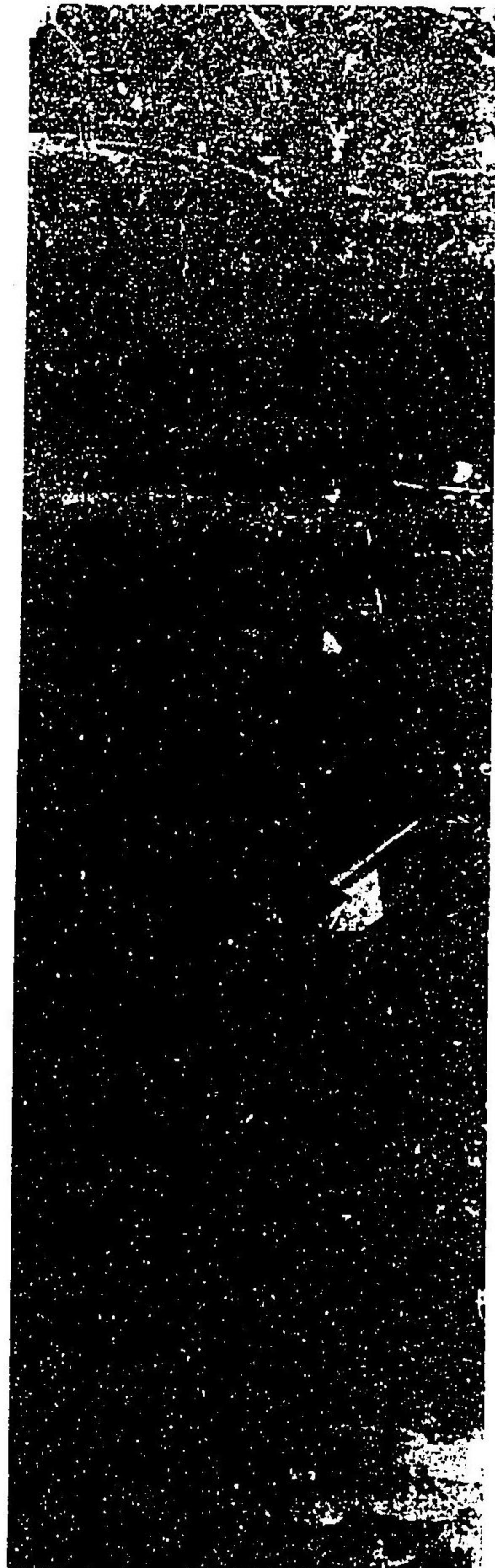
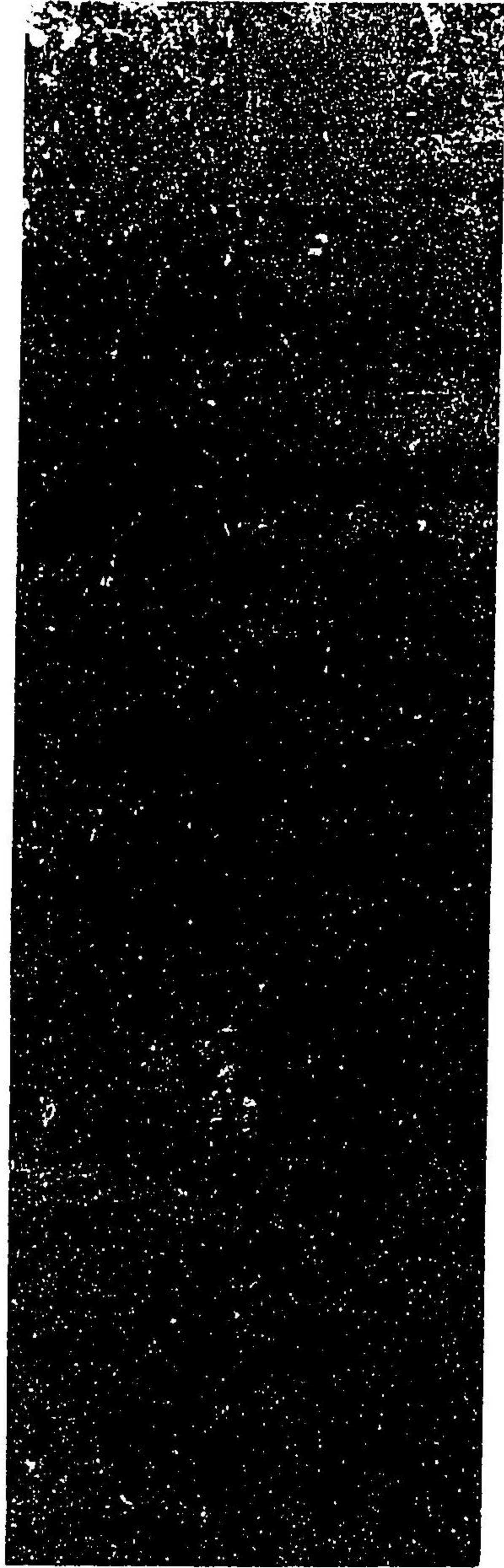


第三七號

豎六尺七寸橫三尺九寸八分



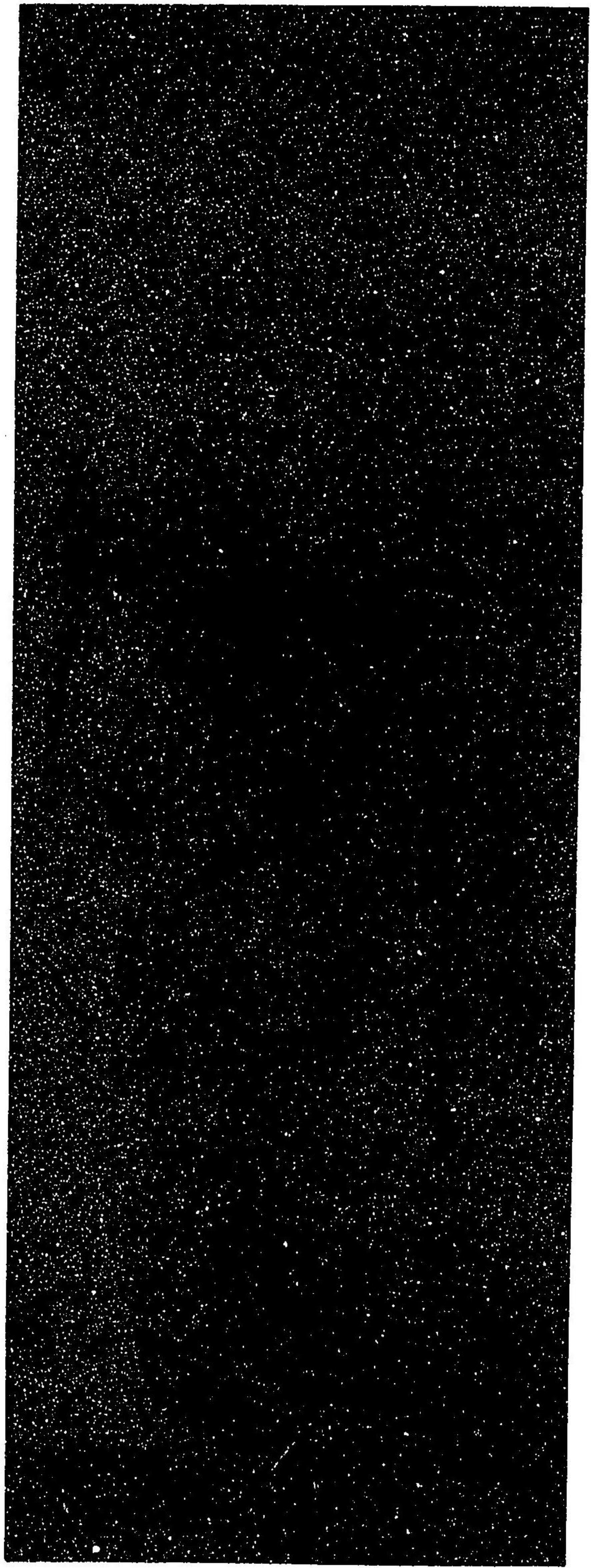
分七寸三尺一堅 內卷五號八三第



第三九號 徑三尺六寸六分一曲橫一尺二寸二分

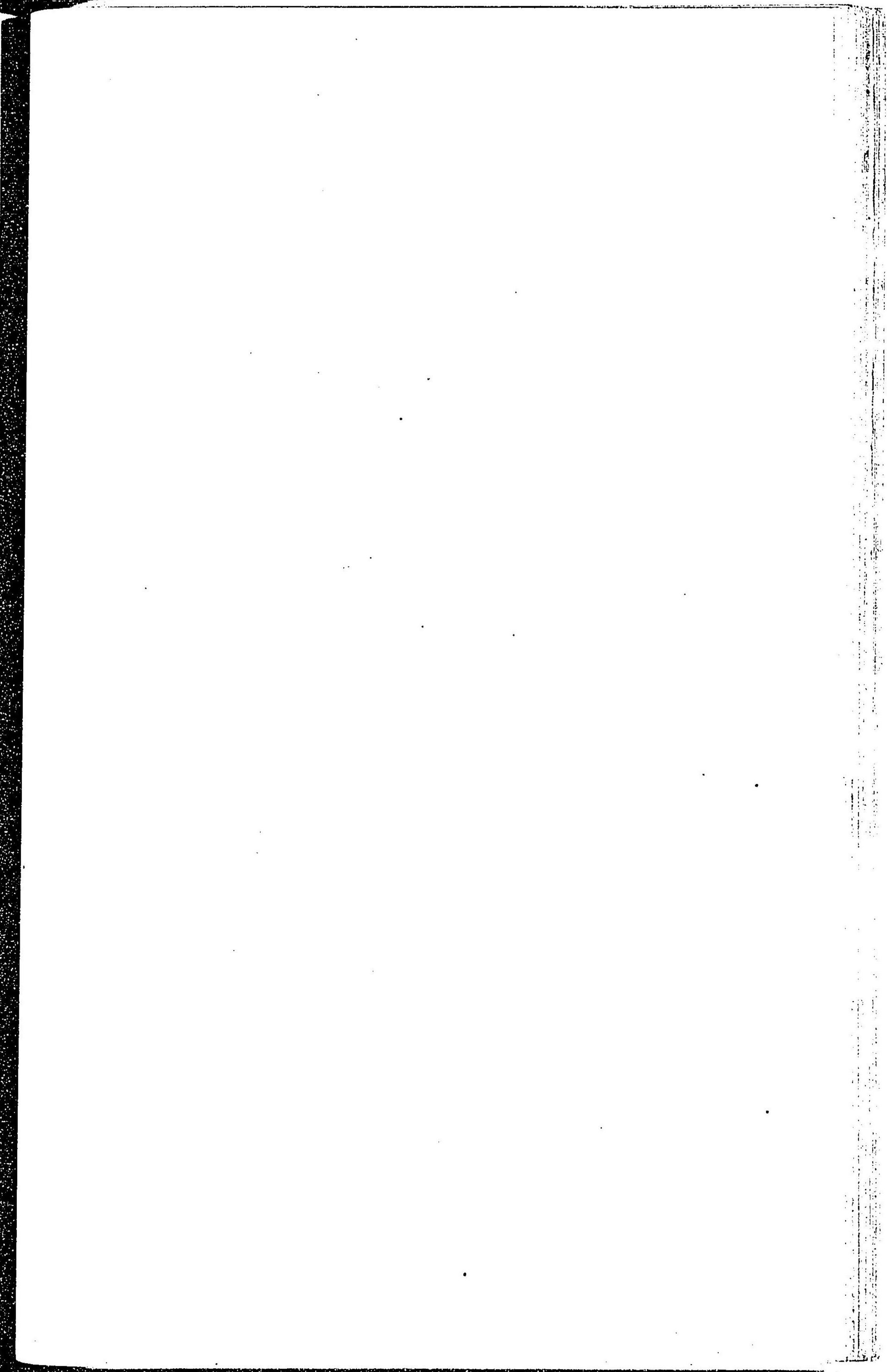


分九尺一豎 內卷二號〇四第



第四號二幅內

堅三尺六寸二分橫一尺二寸九分





第四二號

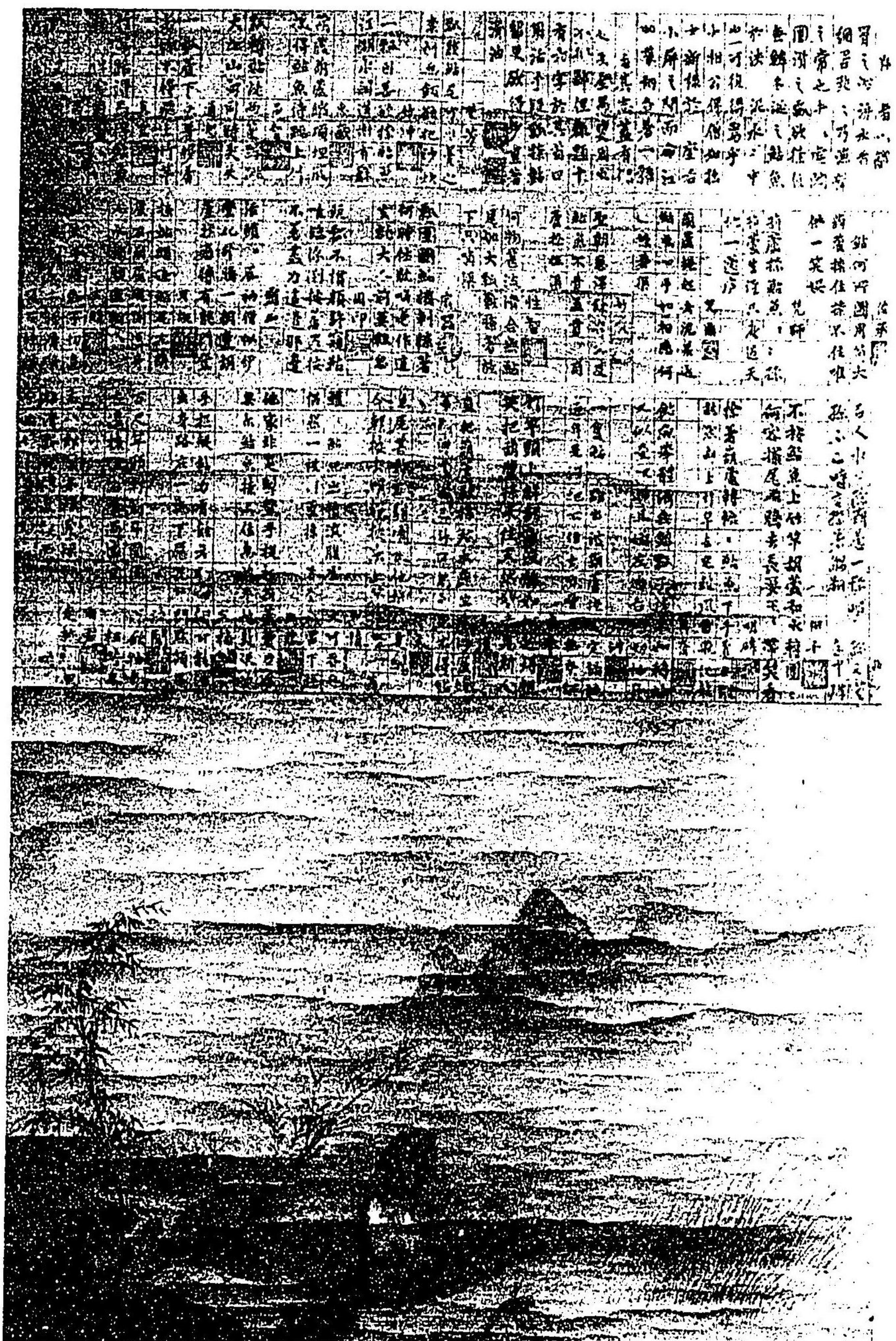
高三尺五分 橫一尺四寸八分



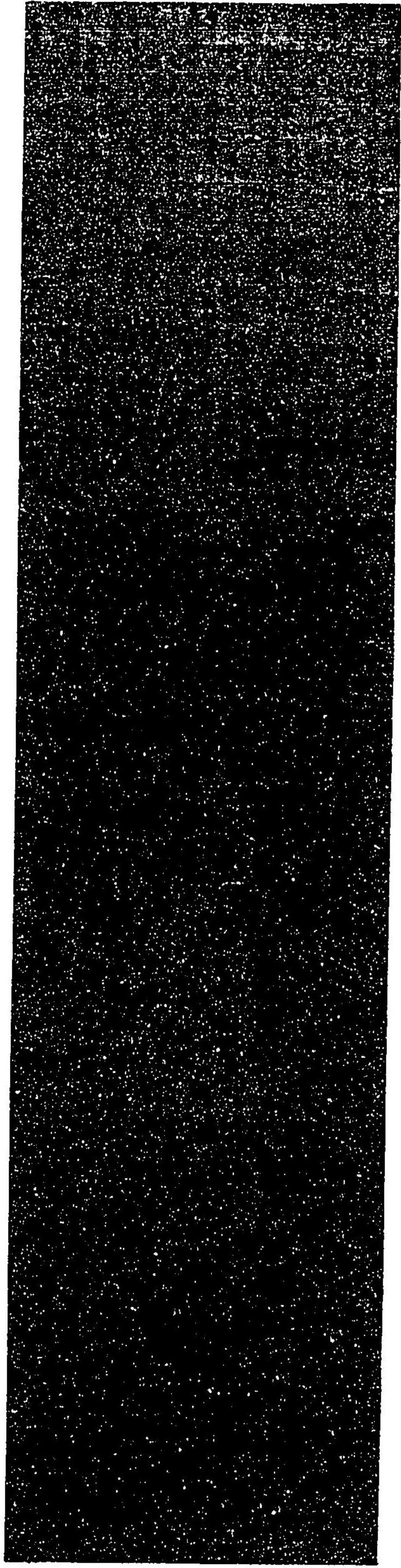
分三尺二横山一寸二尺五整 内整一號四四第



第一一尺一堅 內卷七號五四第



第四六號 豎三尺六寸八分橫二尺五寸



第四七號

豎四尺四寸六分橫一尺一寸



分五寸一尺一堅 内卷二號八四第



第四九號一帖內 豎一尺六寸五分橫一尺四分



第五一號二十幅內

豎五尺七寸橫二尺九寸六分



第五三號

豎二尺七寸四分橫一尺五分



第五六號 第一山樹二尺五分



第五七號二幅內

豎一尺五寸四分橫九寸六分



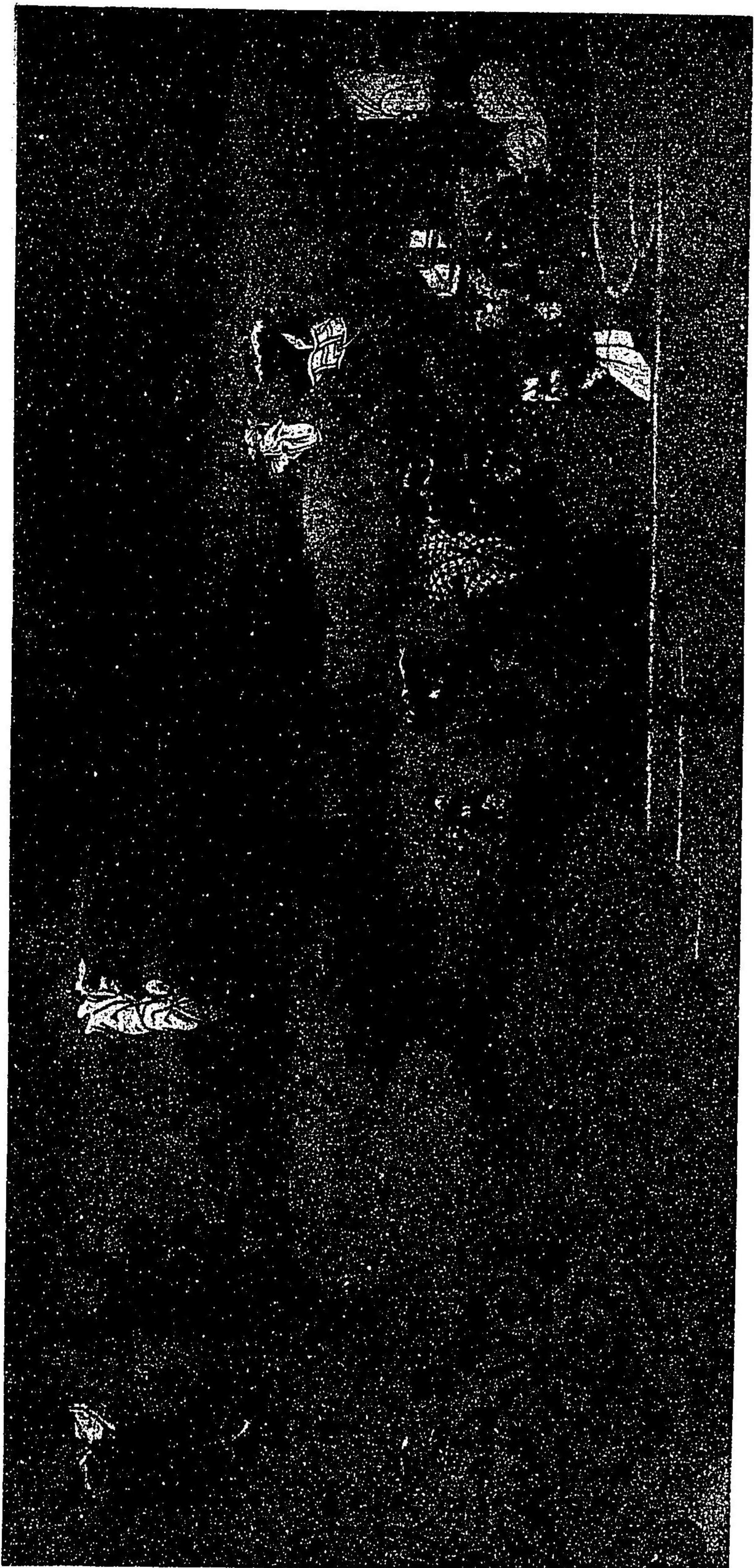
第五九號

徑二尺五寸二分橫一尺一寸五分



第六〇號

豎三尺五寸一分橫一尺五寸八分



分一寸二尺一盤 内卷二號三六第



第六五號三幅內右 堅一尺一寸橫二尺五寸三分



第六六號八幡内

鑿五尺八寸八分横三尺

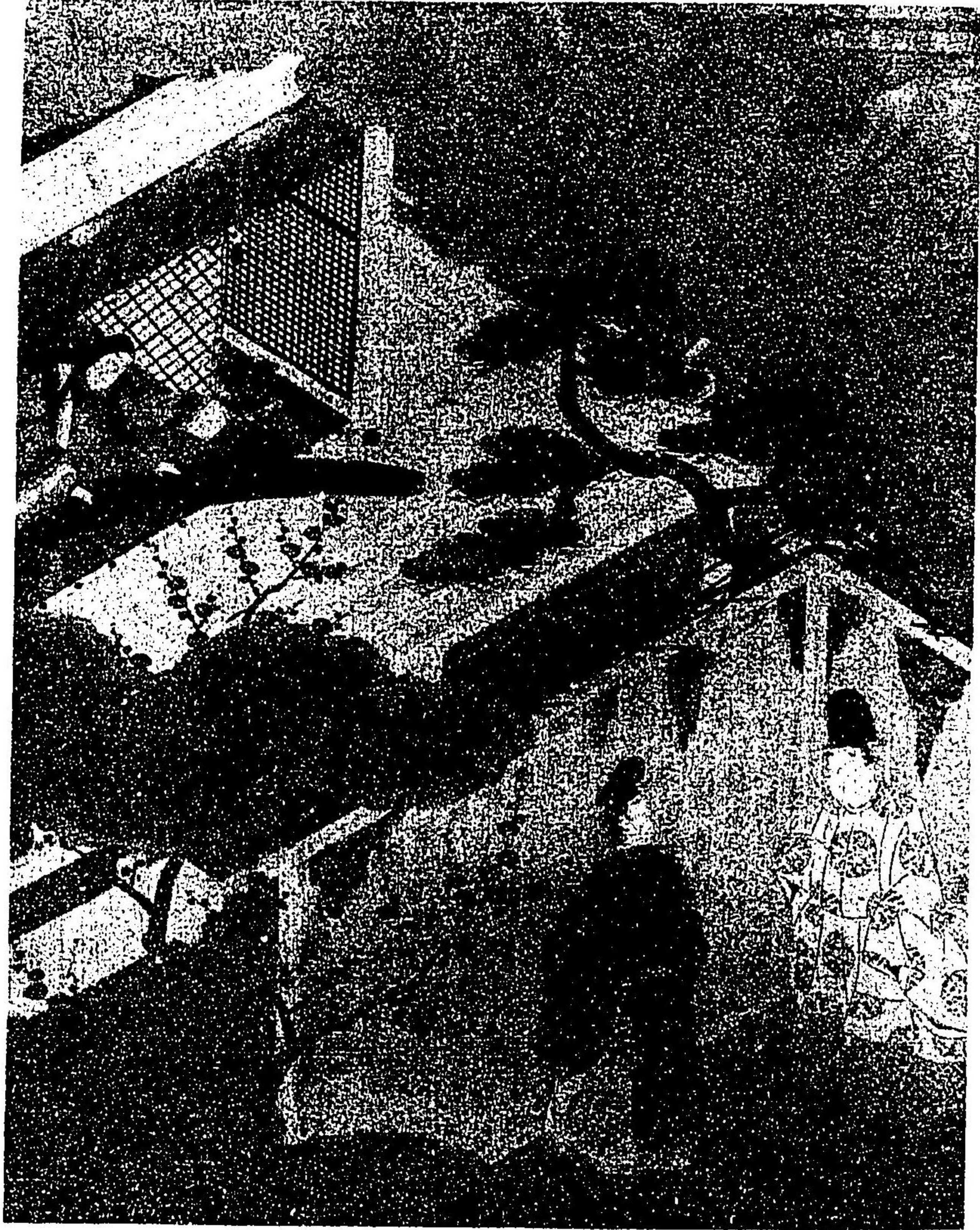


第七〇號二幅內

豎四尺一寸九分橫一尺七寸六分



分八寸九尺一横出—分五寸一尺五厘 内雙一號三七第



第七回第一幕内

四八寸五分横七寸五分



券八尺二寸 曲一寸九尺五寸 竖

左内雙一號五七第

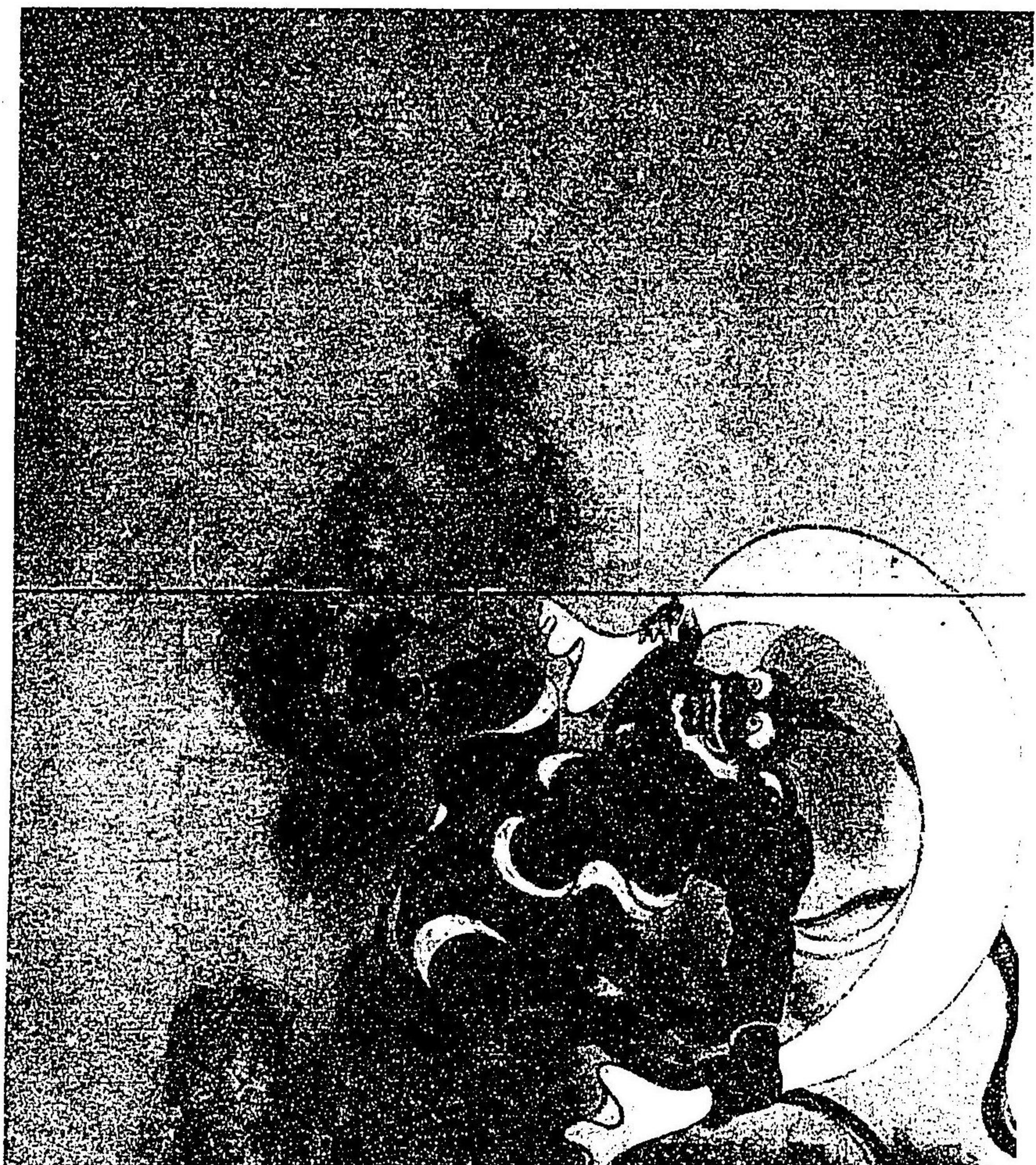


上 同 法 寸 右 内 變 一 號 五 七 第



第八一號

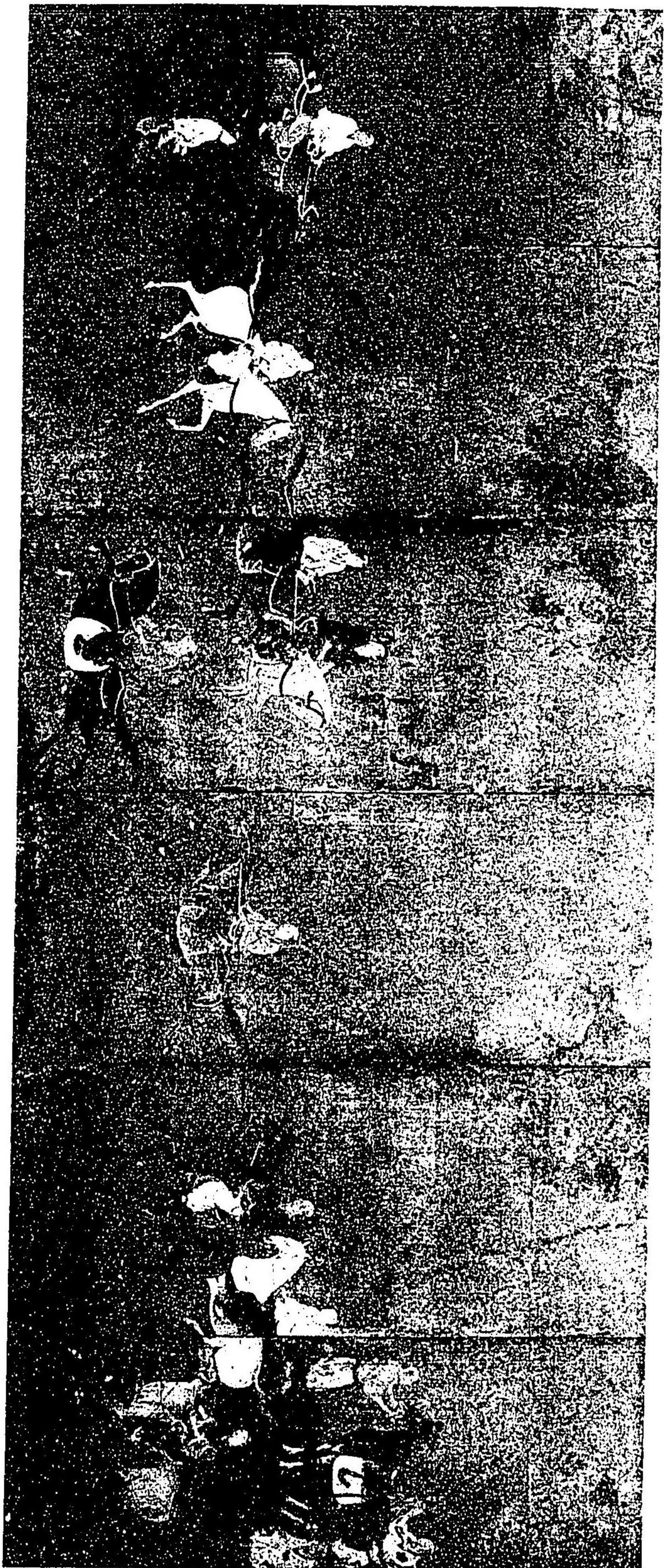
豎三尺七寸八分橫一尺七寸



第八二號一雙內左 鑿五尺二寸一分橫五尺六寸二分

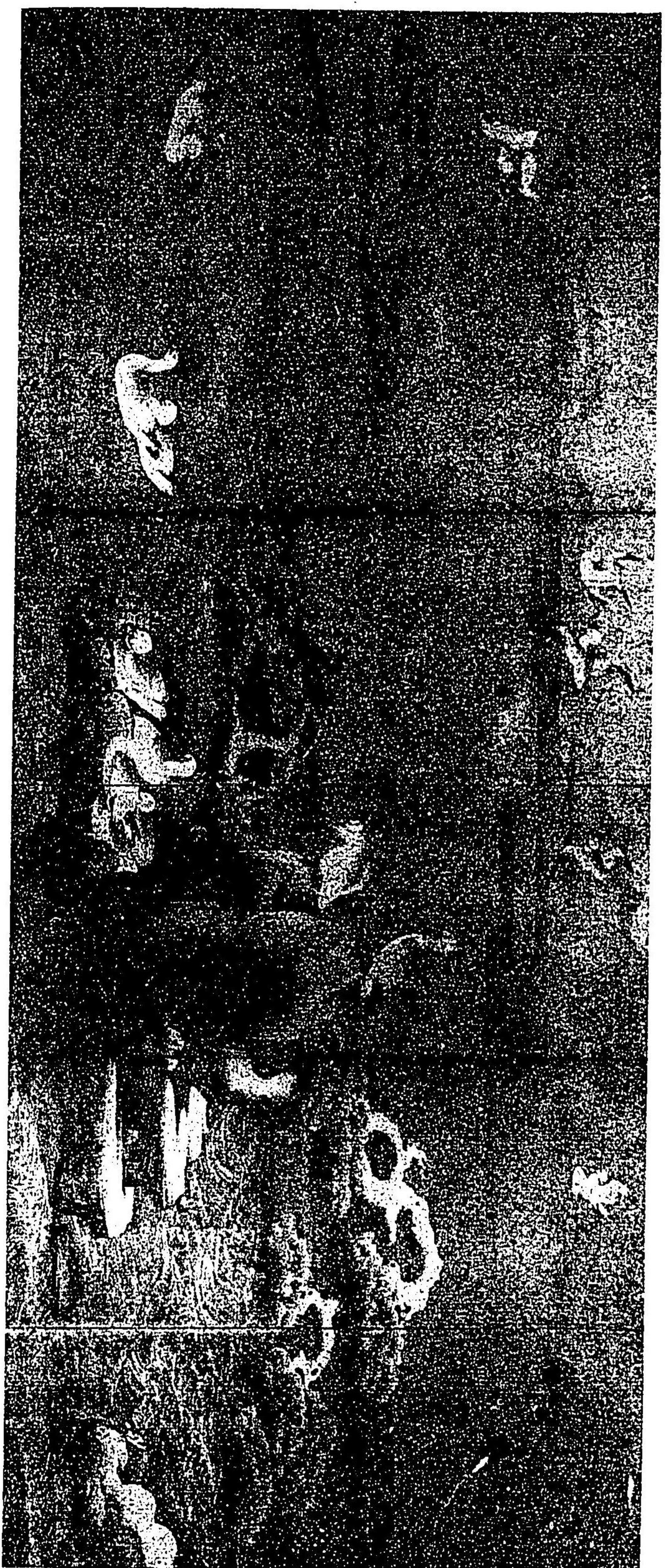


第八號一雙內右 寸法同上

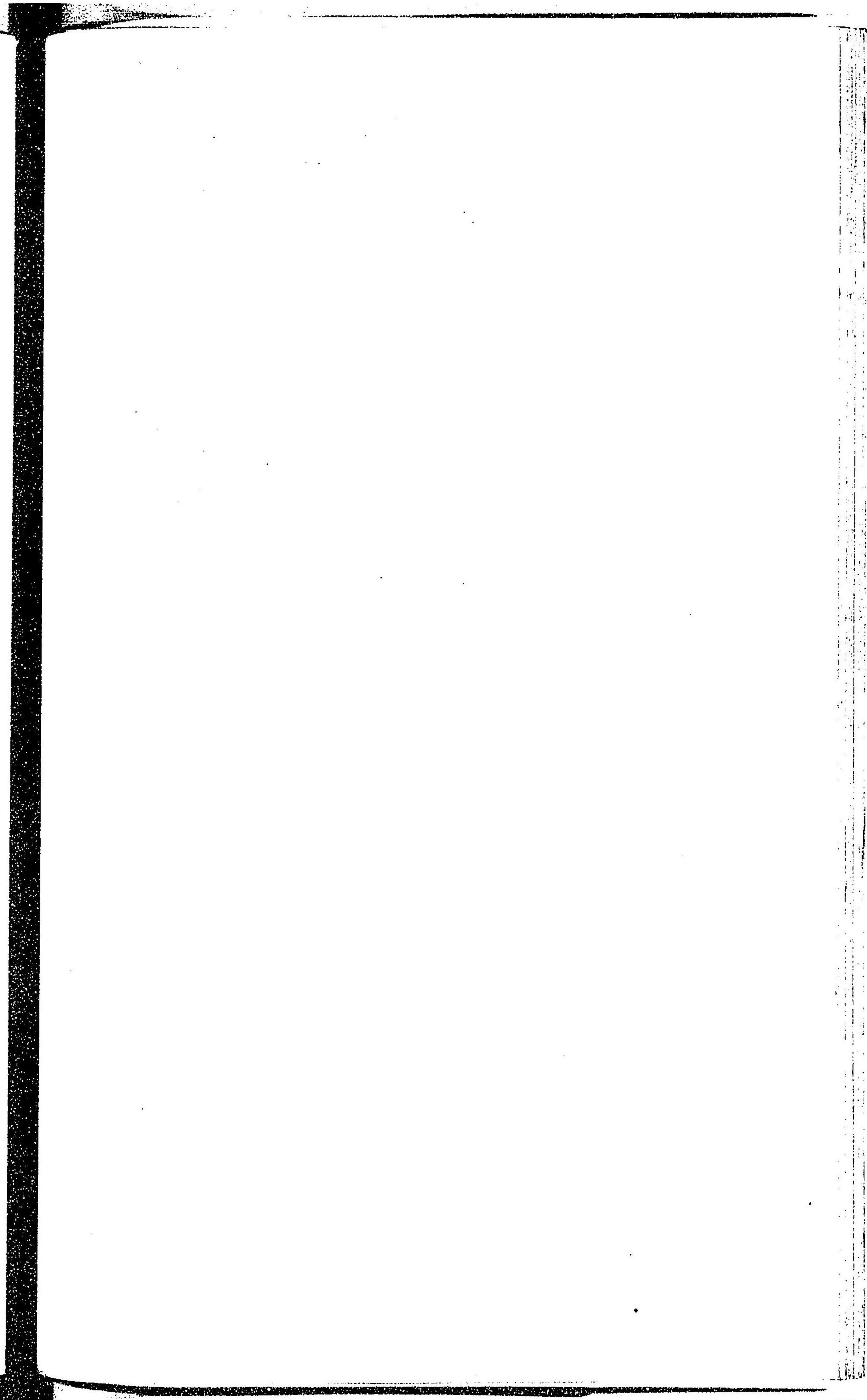


分五尺二橫曲一分八尺五堅

內雙一號四八第



第六尺二寸曲一分二寸一尺五寸 内装一號五八第





第一尺一堅 號六八第

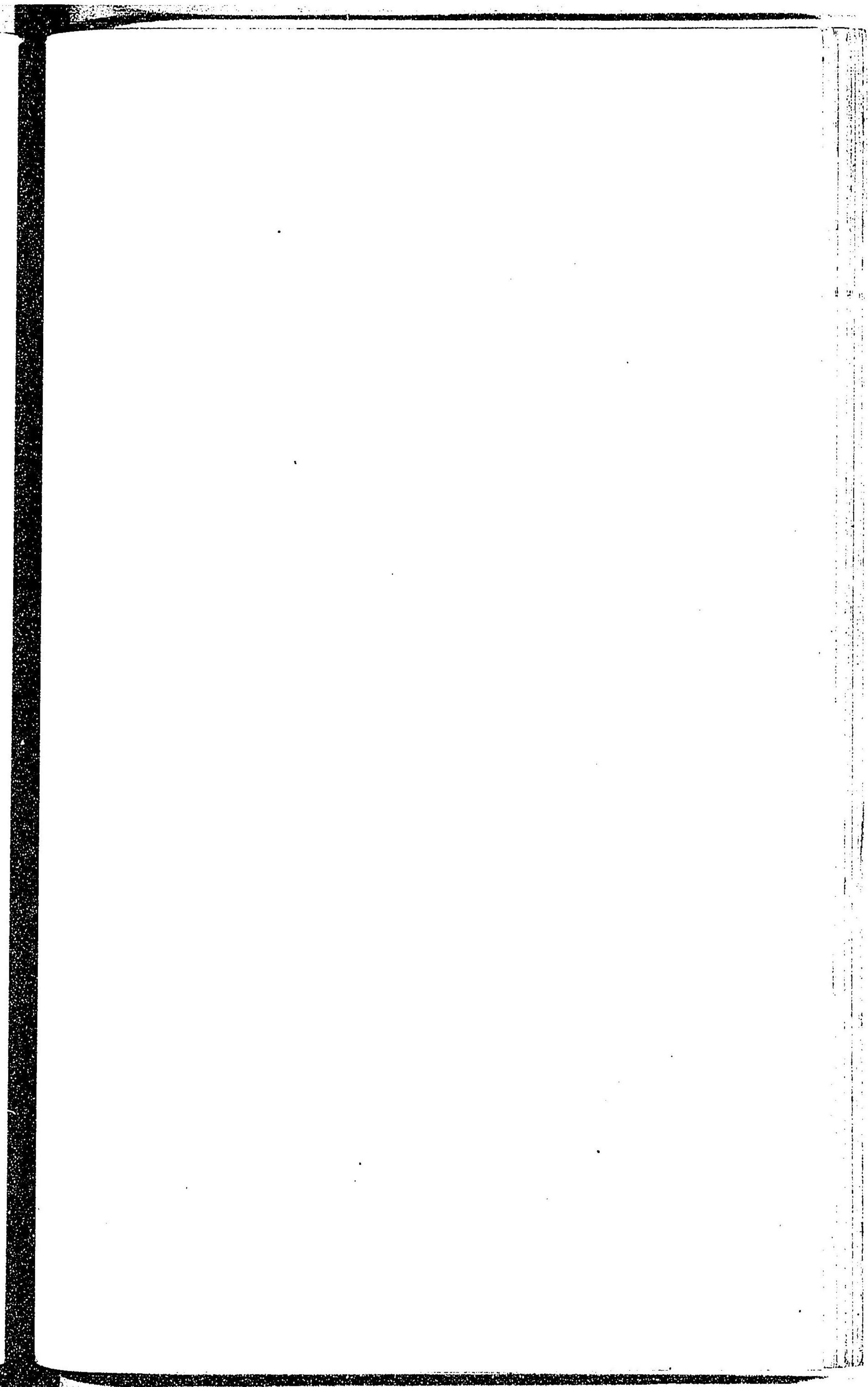


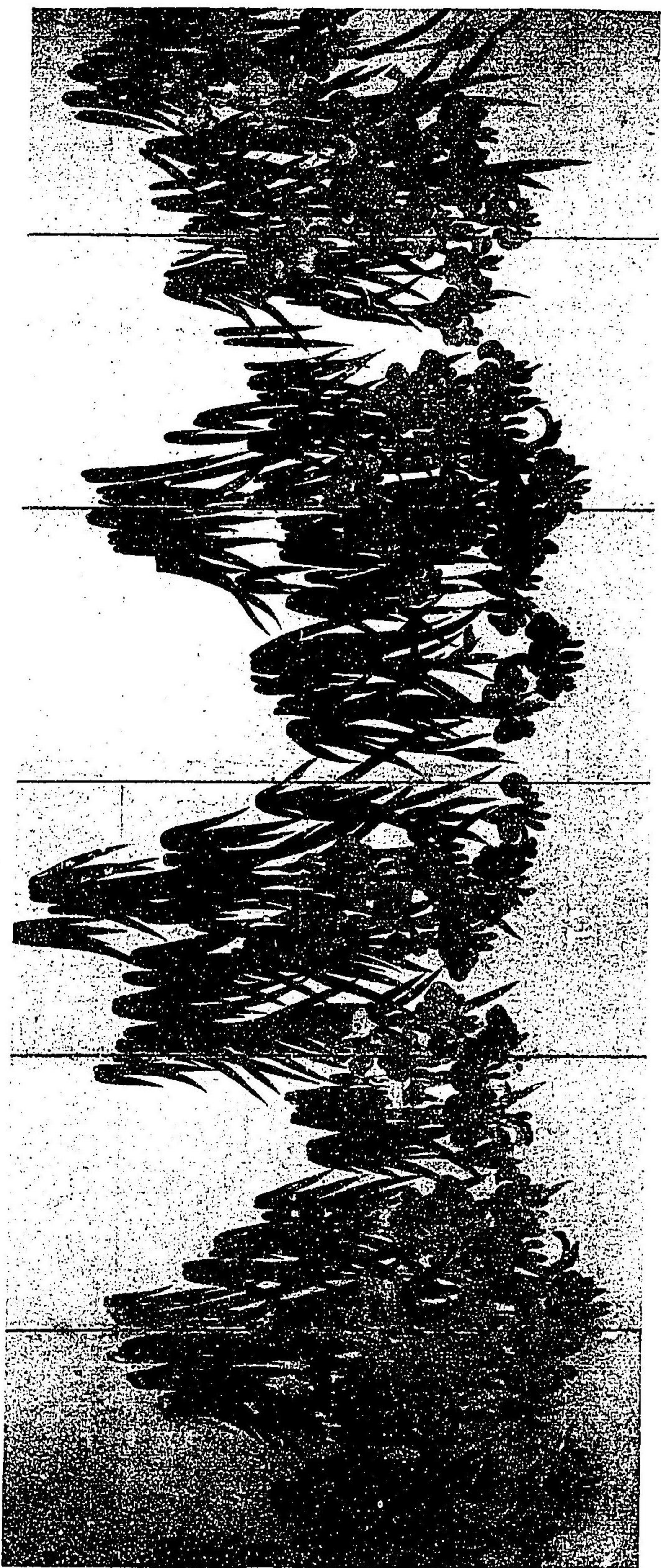
第八九號

豎三尺九寸六分橫二尺二寸九分



分五寸三尺一釐 號一九第





分五尺二寸曲一尺五寸

内雙一號三九第



第九回 第九卷



券三寸二尺一盛

號七九第



第九號內 堅三尺五寸一分 曲橫二尺八分



第一〇〇號

豎五尺三寸橫二尺八寸二分



寒山石径斜 白雲
深處有人家 停車坐
看楓林晚 霜葉紅於
二月花 霞山進寫

第一〇一號

豎四尺六寸七分 橫二尺六寸



第一〇四號 堅三尺六寸四分 橫一尺四寸六分



第一〇六號二幅内

徑五尺六寸七分橫四尺四寸



分五尺二橫山一寸五尺五豎 內雙一號八〇一第



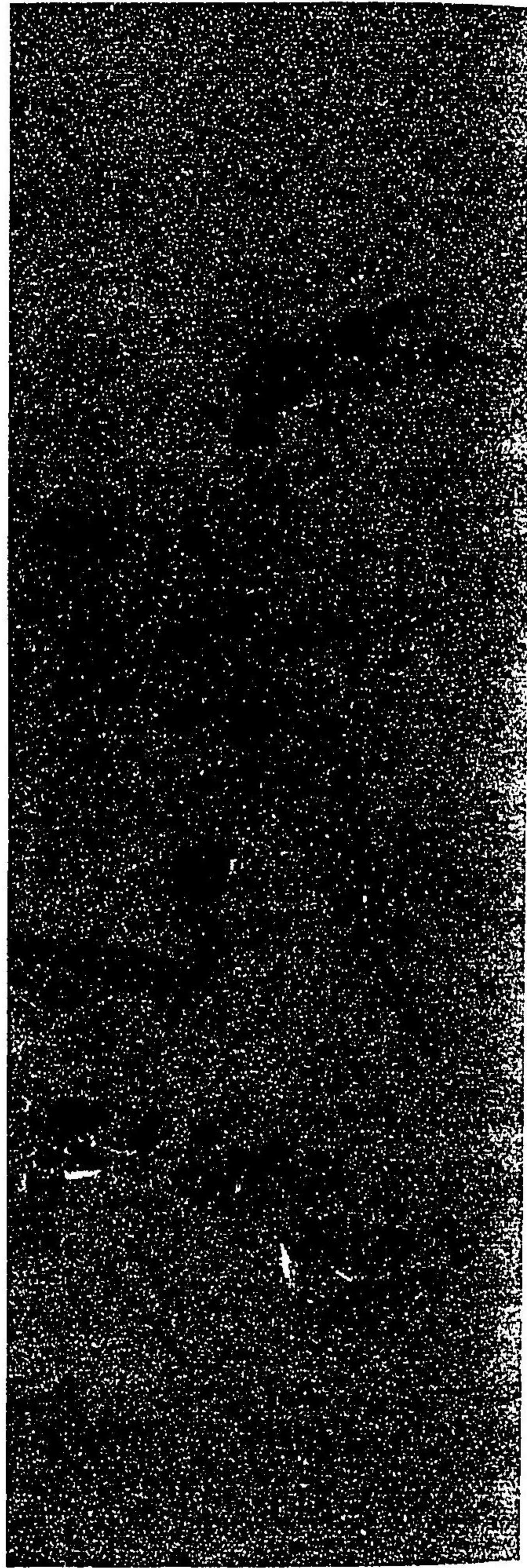
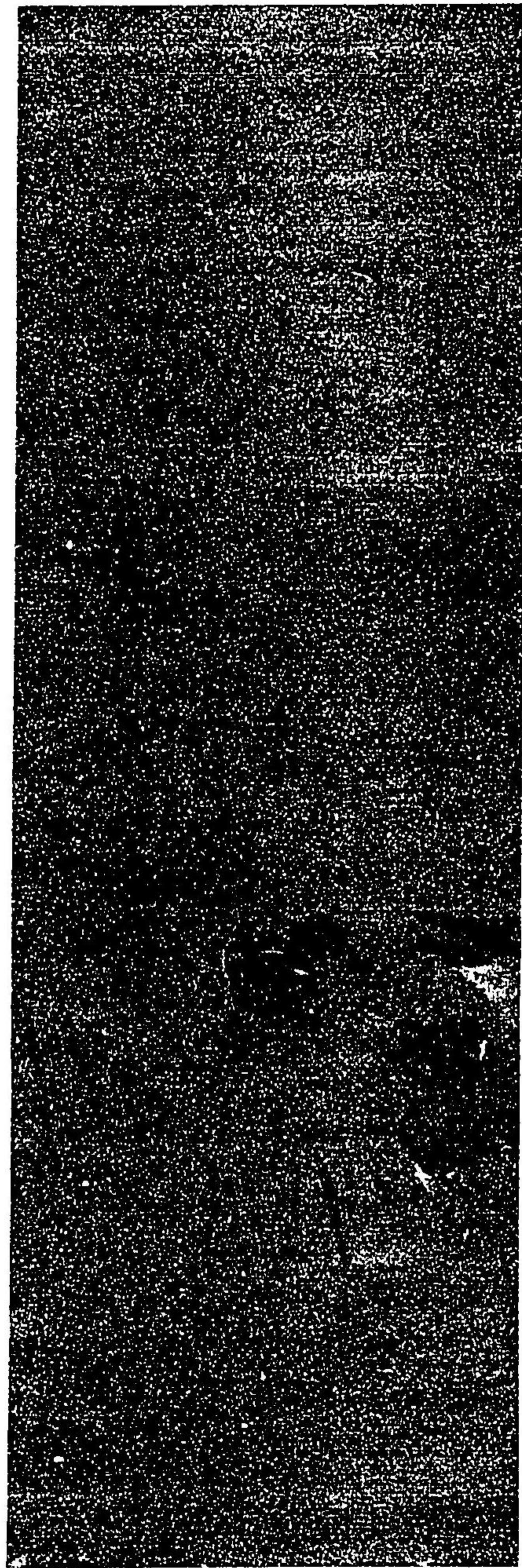
第一〇九號

徑四尺橫一尺六寸八分

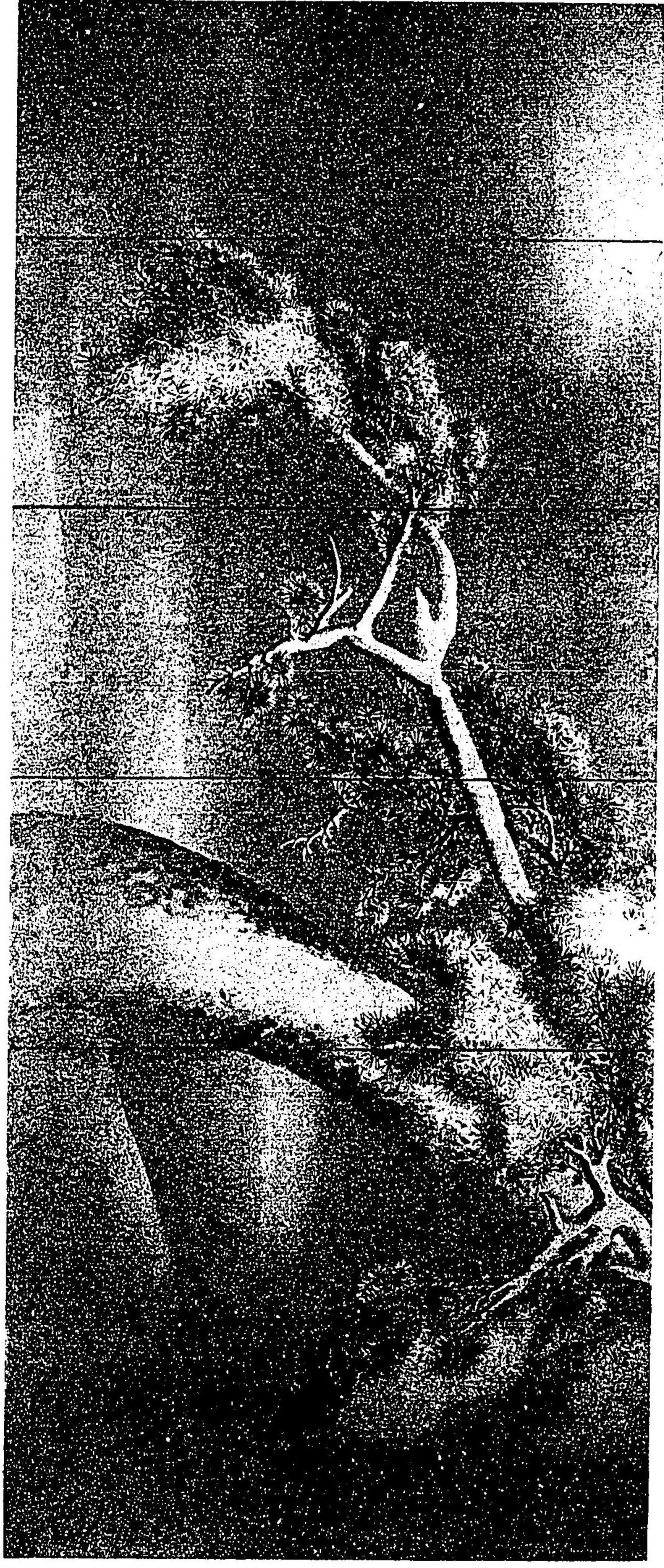


第一一二號十二幅內

豎五尺四寸一分 橫二尺一分



第一二頁十三幅內一寸法圖上



分五尺二横曲一分五寸一尺五厘 内覽一號三一第一